

# はじめに

一宮市博物館は昭和 62 年（1987）11 月の開館以来、郷土の歴史を発掘し、先人の文化遺産を護り、それらを後世に伝える施設として活動を行ってきました。ここに、『一宮市博物館年報(14) 平成 25・26 年度』を刊行し、平成 25・26 年度の事業について報告します。

この間における大きな事業としては、平成 17 年度から検討してきた常設展示リニューアル事業を平成 26 年度に完了し、平成 26 年（2014）10 月 18 日にリニューアルオープンしたことが挙げられます。本事業では、博物館を「市民の憩いの場」にすることをコンセプトのひとつに掲げてきました。このため、常設展示の内容を一新するに止まらず、新しく無料観覧ゾーンとして、「たいけんの森」および 2 階に「ギャラリー」を設置しました。「たいけんの森」では、子どもたちの豊かな博物館体験を支援するため、さまざまな体験キットや講座を実施していく予定です。また、一般貸出に特化した展示スペースを新設したことで、一般の方々の作品発表の場としても利用していただけるようになりました。さらに、来館者の利便性を図るため、乗用エレベーターと喫茶コーナーの新設も行いました。

展覧会事業としては、平成 25 年度には、特別展「縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代」を開催し、市内に所在する愛知県指定史跡「馬見塚遺跡」について、その研究史を振り返り、馬見塚遺跡出土資料がもつ語る尾張平野の縄文時代後晩期から弥生時代の様相を他地域の資料と比較展示することにより紹介しました。また、当館が所蔵する毛織物資料（墨コレクション）のうち明治時代から昭和時代にかけて着用された大礼服や軍服を紹介した企画展「近代の洋装と毛織物」、木曾川流域に広がった阿弥陀信仰について紹介した企画展「阿弥陀信仰と木曾川流域」などを開催しました。平成 26 年度には、常設展示リニューアル開館を記念して、妙興寺に伝えられる文化財を一堂に展示した特別展「妙興寺展」を開催しました。市内小学校との連携による企画展「暮らしの中の民具」も継続して行いました。

このような展覧会事業のみならず、「古文書講座」や博物館講座「尾張平野を語る」などの各種普及事業にも力を入れてきました。文化財保護事業の一環として開催してきた「文化財めぐり」や「民俗芸能公演」など、いずれも多くの皆様のご好評を得ています。

こうしたこれまでの活動を振り返る本年報を刊行することにより皆様のご助言を仰ぎ、博物館活動・文化財保護のさらなる充実に努めたいと存じます。今後とも市民の皆様をはじめ関係各位の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月

一宮市博物館

# 目次

I	博物館事業	
1	常設展示リニューアル事業	3
2	常設展示	4
3	特別展・企画展	
(1)	一宮市博物館	8
(2)	玉堂記念展示室	32
4	教育普及	34
5	利用状況	
(1)	資料貸出	49
(2)	写真等利用	49
(3)	施設利用	50
(4)	入館者統計	51
6	調査研究・資料収集	
(1)	美術工芸資料等購入事業	53
(2)	寄贈資料	53
(3)	寄託資料	54
(4)	受贈図書等	55
II	文化財事業	
1	文化財保護審議会	73
2	文化財保護事業	75
III	組織と運営	
1	博物館運営等指導委員会	87
2	常設展示リニューアル小委員会	87
3	文化財保護審議会	87
4	職員組織	88
5	歳出予算	89
IV	条例・規則	90
V	施設と沿革	96

# I 博物館事業

## 1 常設展示リニューアル事業

平成17年4月の合併により誕生した新一宮市には、一宮市博物館、尾西歴史民俗資料館、木曾川資料館という3つの歴史系展示施設と、三岸節子記念美術館という美術系展示施設が存在することとなった。こうした博物館群を今後有効に活用していくとともに、各施設の常設展示等のリニューアルや収蔵スペースの確保など、各種の整備事業を進めていくため、平成17年度から具体的な検討に入った。

平成17年7月に、一宮市博物館の常設展示の諸問題等を検討するため、「一宮市博物館運営等指導委員会会議・常設展示リニューアル小委員会設置要綱」を制定し、委員の委嘱を行った。この一宮市博物館運営等指導委員会会議・常設展示リニューアル小委員会において、平成19年6月に実施された市政アンケートの結果を踏まえつつ、平成19年度に「一宮市博物館群整備活用基本構想」が答申された。これを受けて、平成20年度に「一宮市博物館常設展示リニューアル設計者選定委員会設置要綱」を制定し、3回の設計者選定委員会を経て、プロポーザル方式により株式会社丹青社を一宮市博物館常設展示リニューアル設計者に選定した。

平成21年5月に株式会社丹青社と基本設計策定業務委託契約を締結、平成22年2月に業務を完了した。平成23年3月に株式会社丹青社と実施設計策定業務委託契約を締結、平成23年12月に業務を完了した。平成25年8月に株式会社丹青社と一宮市博物館常設展示リニューアル業務委託契約を締結し、平成27年3月に業務を完了した。

本事業にともない、平成25年3月11日から平成26年10月17日まで臨時休館した。本事業では、常設展示のリニューアルだけでなく、展示空間の照明器具のLED化、壁面の塗り替え、絨毯の張替等も行った。また、エレベーター棟の増築およびエレベーターの新設、喫茶コーナーの新設を行った。

## 2 常設展示

### 一宮市博物館常設展示リニューアルの基本的な考え方

平成 20 年度策定

一宮市博物館は昭和 62 年 11 月の開館以来、市史編さん事業の中で収集された資料を基盤とし、実物資料の連関を重視した形で一宮市の歴史と文化を表現する常設展示を行ってきた。その中で一宮市の独自性を具現化する切口として、「ひらけゆく尾張平野」「中世の一宮」「ひとびとの生活」「織物のまちへ」の 4 テーマを設定し、通史展示を構成してきた。

開館後 20 年が経ち、一宮市・尾西市・木曽川町の合併によって類似施設が増え、それぞれの役割と分担を明確にする必要性に迫られている。一宮市博物館はそれらの施設の核（コア）であり、一宮市の「一宮の歴史と文化」の入口として全体を見据え総体的に捉える必要がある。そこで、開館以後に発見された新しい歴史的な事実や資料を踏まえて常設展示を再構成することにより、来館者に一宮市の歴史と文化の特徴を体系的に提示するものとする。

#### 展示のコンセプト

##### (1) 常設展示のコンセプト

常設展示では、沖積平野という自然環境や時代によって変化する社会的要因の中で、人々がどのように生活し、文化を育んできたのかに視点を当てる。さらに、他地域との交流や比較という目線を取り入れることにより、当地の地域的特性をさらに明らかにする。

##### (2) 重点化した常設展示

常設展を重点化したものとし、展示替えが可能な空間を増やすことにより、収藏品ギャラリーとして活用する。また、ギャラリーを特別展の展示室として利用することにより、より大規模な特別展の誘致を可能にするとともに、学校教育や地域と連携したテーマを取り上げた小展示を行う。

##### (3) 交流して学ぶ体験型学習室

一宮市博物館は、これまで 17 年間にわたり、小学校 4 年生・6 年生を中心とした学校教育との連携の中で、市民に博物館の意義や役割について伝えてきた。今後は、その意識を持った世代が子どもを育てる際、教育の場として博物館を利用する可能性は高まるはずである。そこで、気軽に歴史や文化を学ぶ場として、より多くのメニューを用意し、「飽きない」「いつ来ても新鮮」な活動を目指す。

##### (4) 資料・情報検索

常設展示を重点化することにより実物資料として見せられなくなった部分は、検索ができるように情報化する。特に、一宮出身でさまざまな分野で活躍した・している人々の情報や、収蔵資料、地域遺産の検索を可能にする。

##### (5) 市民の憩いの場

一宮市の歴史と文化の入口として、市民が日常的に集い学ぶことができる施設を目指す。

##### (6) 一宮市全体がエコミュージアム

市域にある史跡、寺院、神社、祭り、芸能、遺跡、植物など歴史や文化を表象する遺産を大いに活用すべく、「織物散歩道」「古墳散歩道」「木曽川散歩道」「街道散歩道」など数多くの散歩道を提示する。

## 常設展示の構成

展示ホール 一宮市の見どころ案内

真清田神社復元模型 妙興寺復元模型 展示替えコーナー 一宮市博物館収蔵品検索コーナー

### 展示室1 いちのみや歴史絵巻

一宮市の名前は、尾張国の一宮である真清田神社に由来する。この地域に人が住み始めたのは縄文時代中期にさかのぼり、やがて木曾川の雄大な流れのもたらす豊かな水と土壌に支えられ、長い歴史を刻んできた。ここでは、各時代の代表的な資料の展示を歴史絵巻と名付け、その始まりから今日までの一宮市の成り立ちを概観する。

縄文時代 尾張平野のあけぼの

弥生時代 稲作のはじまり 環濠集落（猫島遺跡）

古墳時代 豪族の台頭 前方後方というカタチ（西上免遺跡） 人麿塚・戸塚の七つ石 岩塚古墳・石棺

古代 寺院の建立と文字の普及 護岸施設と祭祀（大毛沖遺跡）

中世 地方武士の活躍 中世の墓制 法圓寺中世墓 一宮市域の城と武将たち 黒田城と仁王胴具足

江戸時代 尾張藩による支配 尾張絵図 北方代官所復元模型

近現代 尾張平野の中核都市として 毛織物産業の発展 濃尾地震と一宮市域 一宮空襲 戦後の復興と発展

### 展示室2-1 自然と暮らす

一宮市の北西に流れる木曾川は、長い歴史の間に何度も洪水を引き起こしながら、この地域に扇状地や自然堤防、後背湿地の組みあつた地形を生み出した。人々は堤防を作り水害と戦う一方で、それぞれの土地の特性にあわせて稲作や棉作、養蚕などを営んできた。また、冬には北西から「伊吹おろし」と呼ばれる冷たく乾いた風が吹き、この風を利用して作られる大根切干はこの地域の名産品となった。ここでは、悠久の流れのもとに暮らしてきた人々のようすを、その自然の成り立ちから紐解く。

妙興寺の森 一宮市の地形と地質 島畑の風景 田畑を耕す 大根切干をつくる

### 展示室2-2 人と暮らし

一宮市域は、古くは鎌倉に向かう鎌倉街道が通り、江戸時代には美濃路や岐阜街道、巡見街道の通る交通の要衝であった。街道沿いの村々には市が立ち、人々は農作物や手工芸品を売り、暮らしに必要なものを買っていた。また、街道だけでなく河川を利用して運ばれる物資や人の流れもあった。ここでは、人々の暮らしを結び目に、街道や水運によるものの流通と、織物をはじめとする手仕事や衣食住を支えた道具を紹介する。

街道と市 街道を歩く 川を往く 筏による運材 川と暮らし 紡ぎ織る 養蚕の仕事

職人のわざと道具 遺跡にみる鍛冶 清郷遺跡・小鍛冶遺構 鍛冶の道具 竹細工の歴史 竹細工の道具

暮らしと道具（展示替えコーナー）

### 展示室2-3 祈りと文化

人々の暮らしのそばには常に祈りがあつた。弥生時代の赤く塗られた優美な土器や、かつて美しい音色を響かせていたであろう銅鐸は、太古の人々の祈りのありようを語る。また、尾張国一宮の真清田神社や、妙興寺、長隆寺などの仏教寺院に伝わる宝物には、幸福や救いを求める人々の願いがこめられている。やがて江戸時代になると、漢詩や南画といった文人文化がこの地域にも花開いた。ここでは、木曾川の豊かな流れに生まれ、尾張平野に広がった祈りと文化の世界を紹介する。

縄文時代の祈りの空間 赤への憧憬 鳴らす銅鐸 青銅器の輝き 水辺の祭祀 真清田神社 仏教の広がり文化

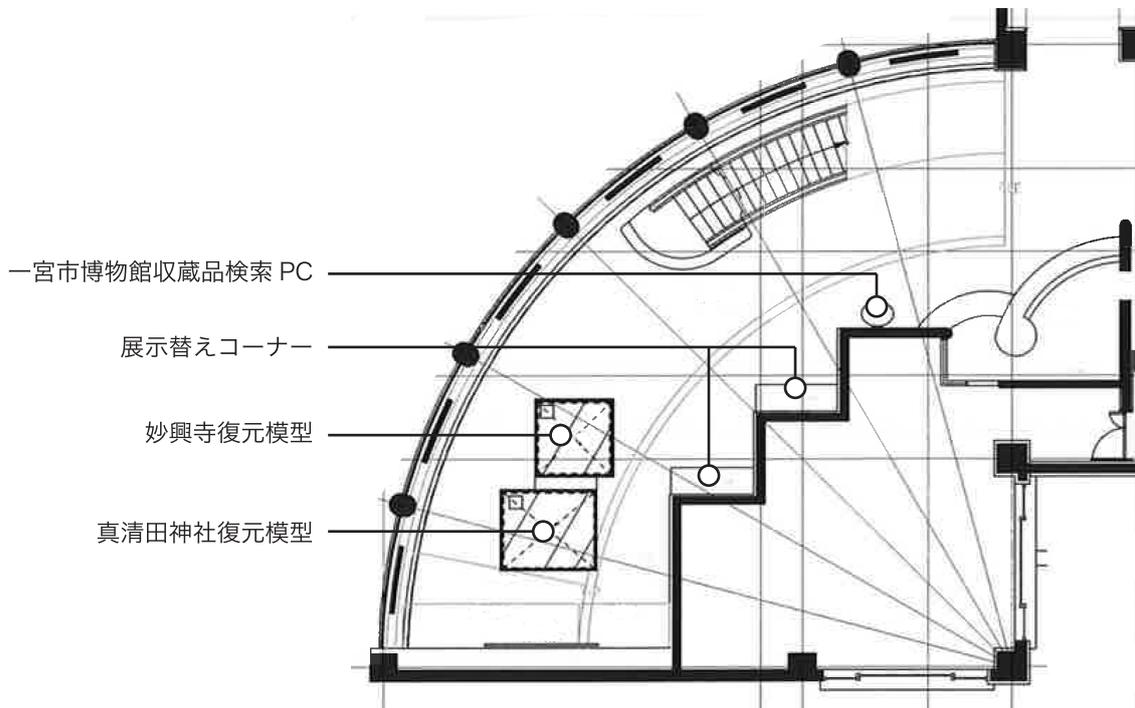
### 学習室 たいけんの森

学校休業日の土・日曜日を中心に、さまざまなテーマを体験ができるものとする。体験を通じて学ぶものとするが、歴史的背景などの教育普及を必ず付加する。さらに、学校教育のカリキュラムに合わせるなどの工夫をし、より利用しやすくする。

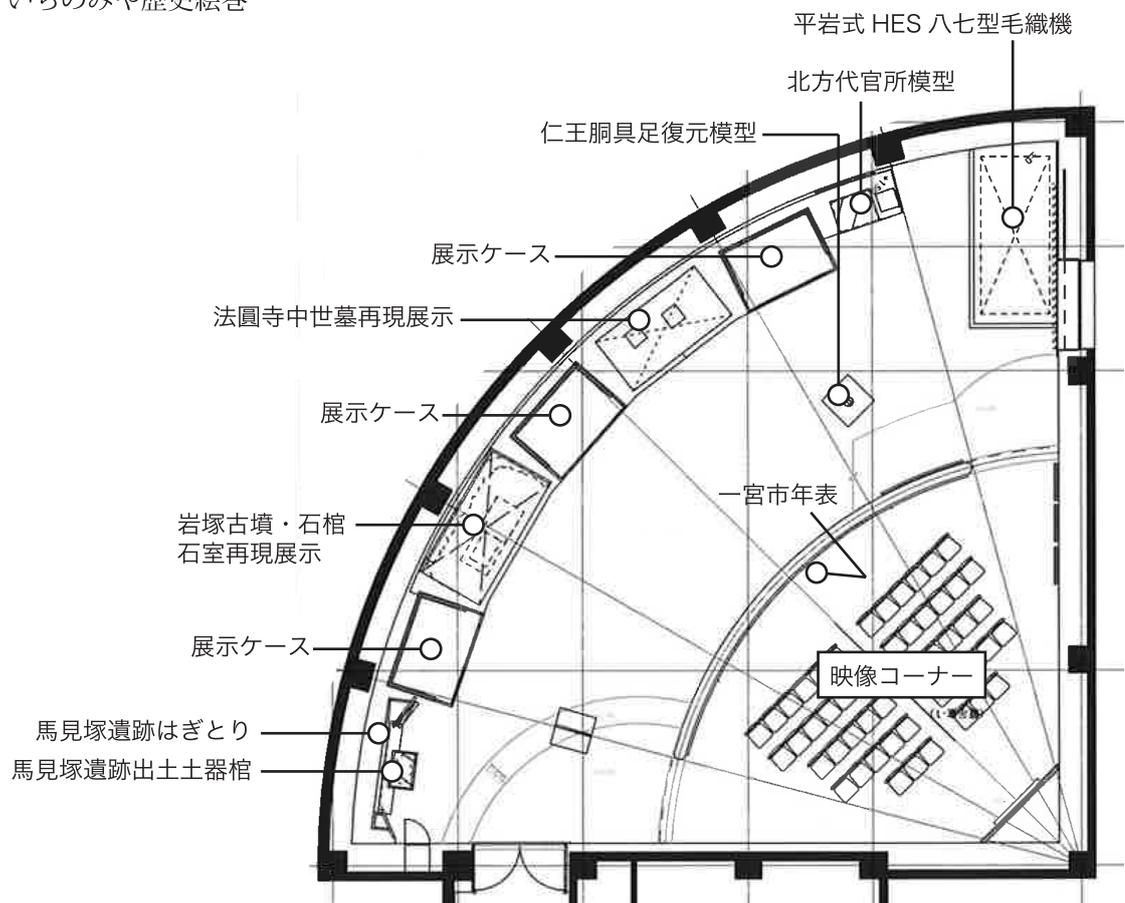
具体的には、自由に利用できる体験キットの設置、土日祝のわくわく体験、尾張もめん伝承会ボランティアによるはたおり・糸つむぎ体験の三本柱で運用を行う。

体験キット 土器パズル（4種類）、一宮市連区パズル、昔の台所キット、ぐいち（お手玉）、わらざうり、洗濯板など

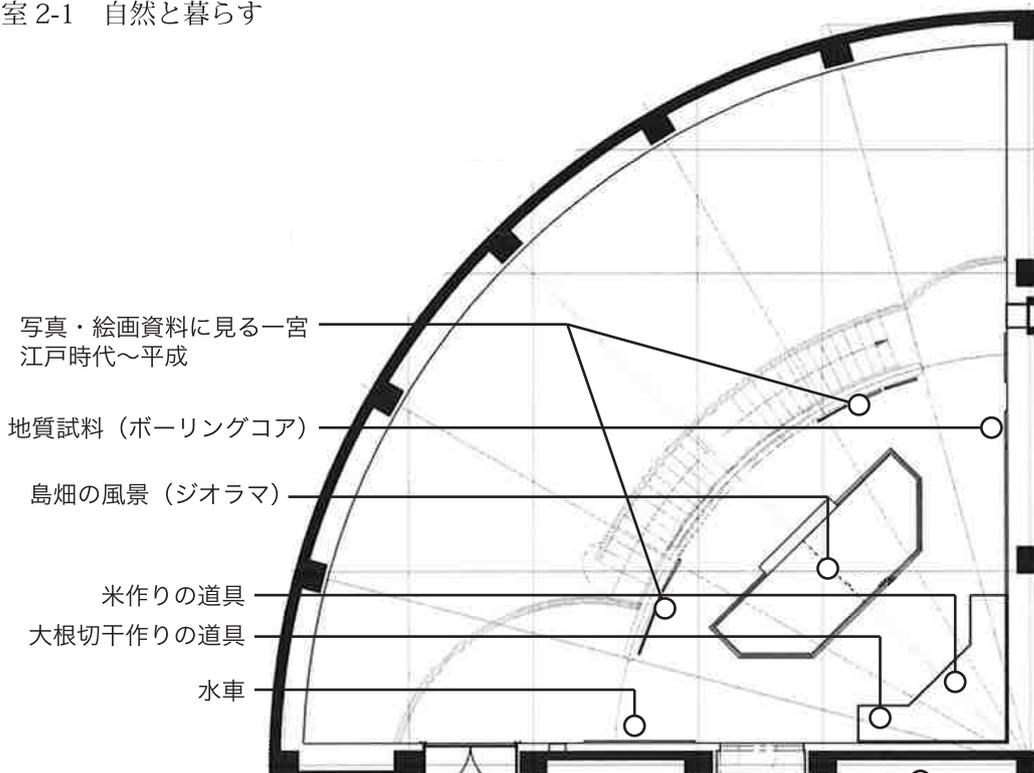
■ 展示ホール 一宮市の見どころ案内



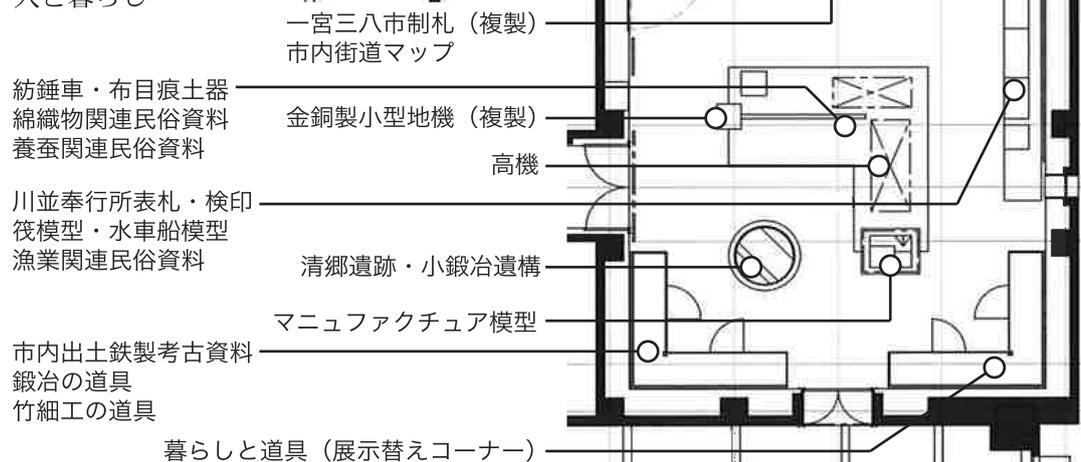
■ 展示室 1 いちのみや歴史絵巻



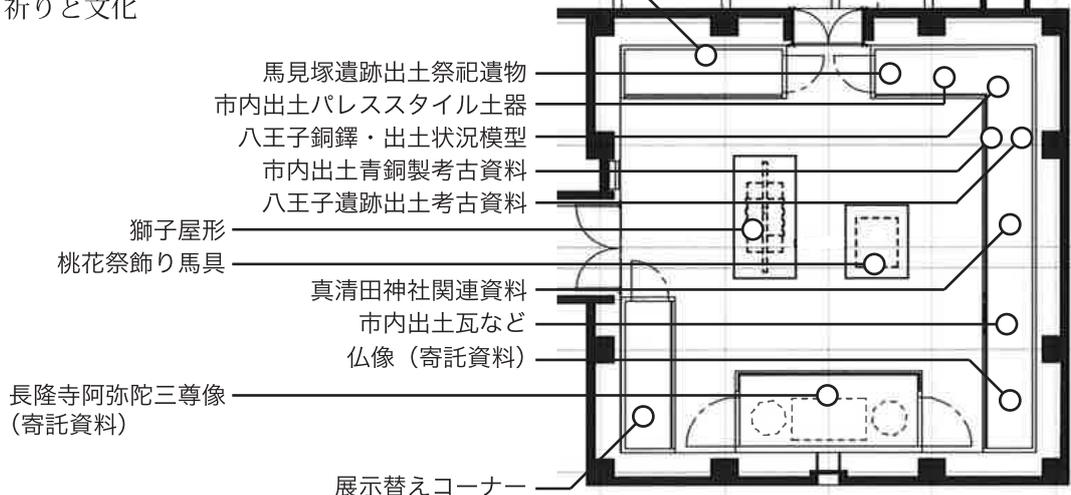
■ 展示室 2-1 自然と暮らす



■ 展示室 2-2 人と暮らし



■ 展示室 2-1 祈りと文化



### 3 特別展・企画展

#### (1) 一宮市博物館

企画展 近代の洋装と毛織物 文明開化のコスチューム  
 会期 平成 25 年 4 月 27 日 (土) ~ 6 月 2 日 (日)  
 展示替え 5 月 13 日 (月)  
 主催 一宮市博物館  
 会場 特別展示室、展示室 4、ラウンジ、1 階ギャラリー  
 印刷物 ポスター (B2) 800 枚  
 リーフレット (A4) 20,000 枚  
 展示解説書 (A4、12 頁) 4,000 部 無料配布  
 観覧券 6,200 枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 32 日間  
 入館者数 2,023 人 (63.2 人 / 1 日)

平成 22 年度に一宮市が購入した墨コレクションは、毛織物コレクションとしては日本有数のものである。その約 530 点にも上るコレクションを紹介する展覧会として 3 回目となる今回は、日本における服装の洋装化の歴史に触れながら、近代の大礼服や軍服を展示した。

#### 展示構成

- ① 服制の洋装化
- ② 女性の宮中礼服
- ③ 陸軍の軍服
- ④ 海軍の軍服
- ⑤ 日本の毛織物史と艶金興業

企画展

# 近代の洋装と毛織物

## 文明開化のコスチューム

平成25年4月27日[土]~6月2日[日]

前期 4月27日(土)~6月12日(日) 後期 6月14日(火)~6月22日(日)  
 観覧時間 / 午前10時30分~午後5時(入館は前売券のみです)  
 休館日 / 4月30日(水)・5月7日(水)・13日(月)・20日(日)・27日(日)

#### 関連イベント

**① 墨展覧**  
 ◎「日本の洋装化」  
 ◎「社会ダンスで文明開化」  
 ◎「墨展覧」  
 ◎「墨展覧」

◎観覧料(常設展も含む)  
 一般200円(160円) 高校・大学生100円(80円) 小・中学生50円(40円)  
 ※ 特別展の入館料は別途  
 ※ 一般入館券・特別展入館券  
 ※ 特別展の入館券は別途販売  
 ※ 特別展の入館券は別途販売

◎観覧券(常設展も含む)  
 一般200円(160円) 高校・大学生100円(80円) 小・中学生50円(40円)  
 ※ 特別展の入館料は別途  
 ※ 一般入館券・特別展入館券  
 ※ 特別展の入館券は別途販売  
 ※ 特別展の入館券は別途販売

一宮市博物館

〒491-0922 一宮市大森町神興寺2390 TEL.0566-46-3215 FAX.0566-46-3216 URL <http://www.scm-jp.com/>  
 交通 / 各線各駅乗換(徒歩)下車約12分徒歩約1分

## 出品目録

No.	資料名	時代	所蔵
1	勅任官大礼服	明治～昭和初期	一宮市博物館
2	勅任官大礼服 岡元卿着用	明治	一宮市博物館
3	宮内官大礼服(勅任) 岡元卿着用	明治～大正	一宮市博物館
4	非役有位大礼服(四位以上) 土岐政夫着用	昭和初期	一宮市博物館
5	非役有位大礼服(五位以下) 大倉喜八郎着用	明治～大正	一宮市博物館
6	有爵者大礼服(男爵) 大倉喜八郎着用	大正	一宮市博物館
7	有爵者大礼服(男爵) 大倉喜八郎着用	大正	一宮市博物館
8	有爵者大礼服(男爵) 大倉喜八郎着用	大正	一宮市博物館
9	有爵者大礼服(伯爵) 橋本実斐着用	大正	一宮市博物館
10	小礼服(燕尾服) 岡元卿着用	明治～大正	一宮市博物館
11	小礼服(燕尾服) 宇佐見毅着用	昭和初期	一宮市博物館
12	フロックコート	大正～昭和初期	一宮市博物館
13	桂袴 公爵夫人宮中儀礼用	明治～昭和初期	一宮市博物館
14	陸軍将校正装(大佐) 西尾寿造着用	昭和初期	一宮市博物館
15	陸軍将校正装(主計中将) 石川半三郎着用	昭和初期	一宮市博物館
16	陸軍下士兵卒正装(騎兵)	昭和初期	一宮市博物館
17	陸軍将校正装(砲兵少佐)	大正～昭和初期	一宮市博物館
18	陸軍軍装(夏服) 石川半三郎着用	昭和初期	一宮市博物館
19	陸軍軍装(冬服) 石川半三郎着用	昭和初期	一宮市博物館
20	陸軍外套・長靴 石川半三郎着用	昭和初期	一宮市博物館
21	海軍正装(少将) 寺田祐次着用	昭和初期	一宮市博物館
22	海軍通常礼装(少将) 寺田祐次着用	昭和初期	一宮市博物館
23	海軍第一種軍装 末次信正着用	昭和初期	一宮市博物館
24	行幸啓扈從文官服(勅任官)	昭和初期	一宮市博物館
25	盾の会制服(夏服)	昭和43年(1968)頃	一宮市博物館
26	盾の会制服(冬服)	昭和43年(1968)頃	一宮市博物館
27	裁判官法衣	明治～昭和初期	一宮市博物館
28	郵便外務員制服(上衣・外套)	大正	一宮市博物館
29	吉田初三郎「尾羊展開 艶金興業五工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
30	吉田初三郎「艶金興業 本社及起工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
31	吉田初三郎「艶金興業 一宮工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
32	吉田初三郎「艶金興業 佐千原工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
33	吉田初三郎「艶金興業 津島工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
34	杉山元輝「昭和天皇来社(艶金本社)」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
35	杉山元輝「昭和皇太子来社(艶金本社)」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵

企画展 阿弥陀信仰と木曾川流域

会期 平成 25 年 6 月 15 日 (土) ~ 7 月 28 日 (日)  
 主催 一宮市博物館  
 会場 特別展示室、展示室 4、ラウンジ、1 階ギャラリー  
 印刷物 ポスター (B2) 800 枚  
 リーフレット (A4) 20,000 枚  
 展示解説書 (A4、16 頁) 4,000 部 無料配布  
 観覧券 6,200 枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 38 日間  
 入館者数 2,562 人 (67.4 人 / 1 日)

平安時代末は、末法思想に加え、天災・疫病の蔓延あるいは政権争いが続いた混沌とした時代であったが、そのような中で人々が見出した希望の光が、来世において極楽浄土へ往生するという浄土教の教えであった。本展では、木曾川流域に広がった阿弥陀信仰について、中世から近世までの流れを紹介した。

展示構成

- ①阿弥陀信仰のひろがり
- ②中世仏教の阿弥陀信仰
- ③浄土真宗の阿弥陀信仰
- ④近世の阿弥陀信仰

出品目録

◎重要文化財、○市町村指定文化財

No.	資料名	数量	時代	所蔵
1	尾濃葉栗見聞集二 (市史資料)	1 冊	昭和	一宮市立中央図書館
2	尾張名所図会後編巻五	1 冊	明治	一宮市博物館
3	木曾川古図 (市史資料)	1 枚	昭和	一宮市立中央図書館
4	往古木曾川流脈之図写 (市史資料)	1 枚	昭和	一宮市立中央図書館
5	善光寺式阿弥陀三尊像	3 軀	不詳	
6	信州座光寺元善光寺縁起	1 冊	江戸	個人
7	信州善光寺如来御絵詞伝	1 枚	明治	個人
8	善光寺如来御詠歌	1 冊	明治	一宮市博物館
9	安養寺阿弥陀鏡 写真	1 枚	大正	個人
10	尾張祖父江本堂上棟式・御本尊開扉記念絵はがき	5 枚	明治	一宮市博物館
11	名古屋港善光寺移築記念絵はがき	2 枚	昭和	一宮市博物館
12	信州善光寺開帳記念絵はがき	3 枚	明治	一宮市博物館
13	浄土三部経			
	阿弥陀経	1 巻	不詳	
	無量寿経	2 巻	不詳	
	観無量寿経	1 巻	不詳	
14	往生要集 (写真パネル)	1 巻	鎌倉	大谷大学図書館
15	栄花物語 第八巻	1 巻	江戸	愛知学院大学図書館情報センター



No.	資料名	数量	時代	所蔵
16	源氏物語 卷第三十七・三十九	2巻	江戸	愛知学院大学図書情報センター
17	平家物語 卷第二・十・十二	3巻	江戸	愛知学院大学図書情報センター
18	絵入徒然草 上巻	1巻	江戸	愛知学院大学図書情報センター
19	◎選択本願念仏集(写真パネル)	1巻	鎌倉	大谷大学図書館
20	選択本願念仏集全集	1巻	江戸	個人
21	○木造阿弥陀如来坐像	1軀	鎌倉	阿弥陀寺(一宮市博物館寄託)
22	○木造阿弥陀如来立像	1軀	室町	極楽寺(一宮市博物館寄託)
23	○絹本著色阿弥陀三尊来迎図	1幅	南北朝	常保寺
24	○絹本著色弥陀・観音・地藏来迎図	1幅	鎌倉	妙興寺
25	紙本著色阿弥陀三尊来迎図	1幅	不詳	
26	六字名号	1幅	不詳	妙興寺
27	木造南無太子像	1軀	室町	妙興寺
28	尾濃葉栗見聞集六(市史資料)	1冊	昭和	一宮市立中央図書館
29	奥村瀬部了泉寺由緒 全(市史資料)	1冊	昭和	一宮市立中央図書館
30	入信上人坐像(写真パネル)	1軀	江戸	茨城県つくば市・常福寺
31	入信上人縁起	1巻	江戸	
32	本願寺聖人親鸞傳絵 上・下	2冊	江戸	一宮市博物館
33	親鸞聖人・入信上人連座御影(写真パネル)	1幅	江戸	茨城県つくば市・常福寺
34	蓮如上人御物語	1冊	江戸	一宮市博物館
35	蓮如上人略伝	1冊	江戸	一宮市博物館
36	御文	1冊	江戸	一宮市博物館
37	親鸞聖人旅姿絵像	1幅	不詳	
38	方便法身尊像(写真パネル)	1幅	不詳	
39	十字名号(写真パネル)	1幅	不詳	
40	金泥十字名号	1幅	不詳	
41	金泥九字名号	1幅	不詳	
42	金泥九字名号 伝親鸞筆	1幅	不詳	妙興寺
43	高僧先徳連座像	1幅	不詳	
44	○光明本尊	1幅	室町	清須市・西方寺
45	○金泥十字名号(写真パネル)	1幅	室町	新潟県佐渡市・本龍寺
46	絹本著色方便法身尊像	1幅	不詳	
47	六字名号 蓮如筆	1幅	不詳	
48	六字名号 伝蓮如筆	1幅	不詳	一宮市博物館
参考	蓮如聖人絵像(写真パネル)	1幅	不詳	
49	紙本著色山越弥陀図(写真パネル)	1幅	不詳	
50	○頂相入六字名号 徳本筆	3幅	江戸	
51	○六字名号 誓阿筆	1幅	江戸	
52	○頂相入六字名号 誓阿筆	1幅	江戸	
53	○刺繍六字名号 誓阿筆	1幅	江戸	
54	○遺品	3点	江戸	
55	誓阿上人念持仏・厨子	1基	江戸	
56	六字名号 播隆筆	1幅	江戸	一宮市博物館
57	六字名号拓本(市史資料)	1幅	江戸	一宮市立中央図書館
58	百万遍講の数珠	1点	江戸	一宮市博物館
59	絵入往生要集	3巻	江戸	一宮市博物館
60	西方極楽路用勘定	1冊	明治	個人

夏休み子ども展示 わたしたちのまち一宮～自然編～

会期 平成 25 年 8 月 3 日 (土) ～ 8 月 25 日 (日)  
 主催 一宮市博物館  
 会場 展示室 4  
 印刷物 妙興寺の森たんけん地図 (A4) 100 枚  
 妙興寺の森たんけんノート (A4) 100 枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 20 日間  
 入館者数 2,525 人 (126.3 人 / 1 日)

「一宮市子ども写生大会作品展」(8 月 8 日～8 月 18 日、学校教育課主催) に合わせ、子どもたちの夏休みの自由研究に関連して、一宮の自然について取り上げた。一宮の自然環境や植物・動物を知ること、一宮がどのような場所・特徴を持っているかを理解し、これからの一宮の自然について考える一助となることを目指した。また、「体験!自由研究の“タネ”～自然編～」というテーマで子ども向け催事を実施し、実際に自然に関わる観察・体験も行った。妙興寺の森たんけん地図およびたんけんノートは、自然を観察する方法を身につけることができるよう、書き込めばそのまま自由研究として提出できるような構成とし、無料で配布した。

展示構成

- ①木曾川を知ろう!
- ②妙興寺の森を探検しよう!
- ③天然記念物を徹底調査!

出品目録

No.	資料名	所蔵
1	『尾張太古図 三河猿投神社蔵』(木版摺)	一宮市博物館
2	往古木曾川流脈之図写 (市史資料)	一宮市立中央図書館
3	木曾川分流之図写 (市史資料)	一宮市立中央図書館
4	木曾川上流の丸石	一宮市博物館
5	奈良県二上山のサヌカイト	一宮市博物館
6	長野県和田峠の黒曜石	一宮市博物館
7	イタセンバラ オス (写真パネル)	写真提供: 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
8	イタセンバラ メス (写真パネル)	写真提供: 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
9	イタセンバラ 稚魚 (写真パネル)	写真提供: 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
10	タイリクバラタナゴ (写真パネル)	写真提供: 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
11	イシガイ (写真パネル)	写真提供: 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
12	木曾川堤 (サクラ) (写真パネル)	愛知県
13	地蔵寺のイチイガシ (写真パネル)	本町通・地蔵寺
14	島村のクロガネモチ (写真パネル)	個人
15	蓮浄寺のクスノキ (写真パネル)	佐千原・蓮浄寺

なつやす こ てんじ  
 夏休み子ども展示  
 わたしたちのまち一宮  
 しぜんへん  
 ～自然編～  
 平成 25 年 8 月 3 日 土 → 8 月 25 日 日  
 開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は 4 時 30 分まで)  
 水曾川を知ろう!  
 妙興寺の森を探検しよう!  
 天然記念物を徹底調査!  
 自然観察会「妙興寺の森たんけん!」  
 博物館のとなりにある妙興寺の森をたんけんしながら、森のヒミツを発見しよう!  
 8 月 9 日 (金)・18 日 (日)・23 日 (金)  
 午前 10 時～12 時 筆記用具持参  
 ※雨天の場合は屋内レクチャー  
 「挑戦!自由研究のタネ～自然編～」  
 自然のナゾにせまる、工作やクイズに挑戦しよう!  
 8 月 11 日 (日)・25 日 (日)  
 午前の部 午前 10 時～12 時 午後の部 午後 1 時～3 時  
 ☆すべて参加無料 当日受付☆  
 休館日 8 月 5 日 (月)・12 日 (月)・19 日 (月)  
 常設観覧料 大人 200 円、小学生・高校生 100 円、小・中学生 50 円 市内小・中学生は無料  
 一宮市博物館  
 〒491-0822 一宮市大和町外蔵寺 2390  
 TEL 0586-46-3215 FAX 0586-46-3216

No.	資料名	所蔵
16	常保寺のイチョウ (写真パネル)	浅野・常保寺
17	宅美神社のヒトツバタゴ (写真パネル)	西大海道・宅美神社
18	重吉のケヤキ (写真パネル)	個人
19	九日市場のシャシャンボ (写真パネル)	丹陽町九日市場・白山社
20	あずらのクスノキ (写真パネル)	個人
21	河端のドウダン群 (写真パネル)	個人
22	小塞神社社叢 (写真パネル)	浅井町尾関・小塞神社
23	長誓寺のカイズカイクキ (写真パネル)	浅井町東浅井・長誓寺
24	長誓寺のシダレザクラ (写真パネル)	浅井町東浅井・長誓寺
25	長誓寺のヤマガキ (写真パネル)	浅井町東浅井・長誓寺
26	東浅井のトチノキ (写真パネル)	個人
27	菊安賀のムクノキ (写真パネル)	個人
28	妙興寺のスダジイ (写真パネル)	大和町・妙興寺
29	野見神社のスダジイ (写真パネル)	今伊勢町宮後・野見神社
30	萩原緑地のサイカチ (写真パネル)	一宮市
31	慶圓寺のカイズカイクキ (写真パネル)	千秋町佐野・慶圓寺
32	加納馬場のムクロジ (写真パネル)	千秋町加納馬場・日吉社
33	起のイブキ (写真パネル)	個人
34	起の大イチョウ (写真パネル)	起・大明神社
35	起のヤマガキ (写真パネル)	起・大明神社
36	光願寺のコウヤマキ (写真パネル)	玉野・光願寺
37	西萩原のクロガネモチ (写真パネル)	西萩原のクロガネモチ
38	玉野のシラカシ (写真パネル)	玉野のシラカシ
39	玉野のクロガネモチ群 (写真パネル)	玉野・八劔神社
40	鞆江のイチョウ (写真パネル)	明地・鞆江神社
41	鞆江神社の参道 黒松の並木共 (写真パネル)	明地・鞆江神社
42	若宮のクロガネモチ (写真パネル)	東五城字若宮・神明社
43	出先のムクノキ (写真パネル)	東五城字出先・神明社
44	三位のイチョウ (写真パネル)	小信中島・堤治神社
45	起宿披本陣のイブキ (写真パネル)	個人
46	法信寺のタブノキ (写真パネル)	北今・法信寺
47	富田一里塚 (写真パネル)	富田・神明社
48	妙興寺境内地 (写真パネル)	大和町・妙興寺

企画展 2013 一宮美術作家協会展

会期 平成 25 年 8 月 31 日（土）～ 9 月 16 日（月・祝）  
 主催 一宮市博物館・一宮美術作家協会  
 会場 特別展示室、講座室、展示室 4、ラウンジ、1 階ギャラリー  
 印刷物 案内はがき（220×110mm） 3,500 枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 15 日間  
 入館者数 1,890 人（126 人／1 日）

一宮美術作家協会会員による、最新の発想でイメージの試作を展開した作品展。美術作家の清新な制作活動の発表の場として、当地の新たな美術文化の進展に資することを目的とするもので、平成 14 年度からの継続事業である。平成 25 年度は、59 名の会員が出展し、うち 2 名による特別展示を行った。第 63 回一宮市芸術祭参加事業。

出品者・出品作品

部門名、出品者名、作品名（部門別、50 音順）

日本画	大島 奈知子	蓮池冬韻	加島 昌子	ピサの街
	河村 明美	紹興旧市街	高橋 弘子	片蔭（中国）
	丹羽 桃慶	ホイアンの路地	本多 功	想
	松岡 彩子	向日葵		
洋画	伊藤 眞巳	雑木林が見える	井上 悟	裸婦
	井上 雅夫	絶望と希望の間	岩田 哲夫	春宵 No.5
	江村 亨	安堵の時	大島 辰子	春の憧憬
	大島 信人	On The Terrace	大塚 将司	MIZU の風景
	小笠原 千鶴	5 W 1 H	小倉 照江	残像
	小倉 義夫	眼のある風景	梶浦 寿布	通り過ぎて行く風景
	鬼頭 厚生	バリ島の風	木村 満幸	星座を往くポストマン
	後藤 一三	時 I	後藤 泰洋	火モマタ涼シ
	櫻井 幹郎	作品（或いは想）	左合 英明	浮遊
	佐藤 典子	おもちゃ箱（まんだら）2013	すぎもと 和	パラソルと子供たち
	関野 敦	後鳥羽上皇像 1	高森 和子	時の流れ
	高山 悟	フルート・アンサンブル	田島 幸子	作品 H13-25 広
	寺西 洋二	犬山城遠望	富田 信子	よこたわる
	野原 三義	Dream	橋本 進	登り窯
	堀尾 一郎	アルハンブラ宮殿の春	前野 恒	大江川水門
	増田 和臣	W・A・R 13-8-1	三輪 修	Garnet
	三輪 清弘	躍動	村上 佳久子	異国の人々
	森 義朗	午後、夏の日	山崎 澄	エビ網の繕い
	吉田 まさこ	メモリー II	若月 陽子	in the yard
	彫塑	川原 孝文	エレンヌ	長谷川厚一郎
真下 賢一		Inner Vision		
デザイン	岡崎 美穂	絆 世界遺産登録	森 昭夫	SPACE AND SPASE

工芸	石田 元子	スライスした土	鵜飼 辰郎	宙
	澤田 進治	幻影	永瀬 歳子	秋麗
	林 節子	わたしのおうち	夫馬 信行	DIGGIN'
	松岡 孝司	吉兆 II		

#### 特別展示

滝野 弘次〔洋画〕	平林 幸子〔洋画〕
想	お・ん・な「桃子」
浸	ジムの女「歩」
感もよう I	ing woman S 子
回生	ジムの女「華子」
蓮空共生	マザーズ chair
辞海	マザーズ tree
感もよう II	
華	

#### 企画展 一宮写真協会選抜写真展

会期 平成 25 年 9 月 19 日（木）～9 月 29 日（日）  
 主催 一宮市博物館・一宮写真協会  
 会場 特別展示室、講座室、ラウンジ  
 印刷物 案内はがき（150 × 100mm） 3,000 枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 10 日間  
 入館者数 1,369 人（136.9 人／1 日）

一宮写真協会会員のうち 33 名による、感性に裏打ちされた表現力で熱い思いを込めた写真展。平成 14 年度からの継続事業であり、平成 25 年度のテーマは「今 この時を 撮る。」であった。第 63 回一宮市芸術祭参加事業。

#### 出品者

---

青木 尚子	安藤 浩仁	市川 勝朗	伊藤 繁雄	今井 要
上津 福三	大矢 真理子	岡田 忠夫	小川 照秋	小原 勇二
笠野 俊彦	加藤 紀子	加藤 泰子	金森 光紀	木村 克彦
木村 晴子	木村 龍雄	桜井 悦子	佐野 ルミ子	千田 陞末
所 由紀子	中村 薫	橋本 秀子	長谷川 隆光	長谷川 蔦江
林 三平	林 孝弘	林 都美子	夫馬 勲	古館 正芳
水谷 嘉男	宮崎 久仁子	脇田 和彦		(50 音順)

特別展 縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代

会期 平成25年10月12日(土)～11月17日(日)  
開会式 10月12日(土) 午前9時30分～

主催 一宮市博物館

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1階ギャラリー

印刷物  
ポスター (B2) 900枚  
リーフレット (A4) 55,000枚  
展示図録 (A4、76頁) 1,000部  
観覧券 9,000枚  
開会式案内状・封筒 600部

観覧料 一般400円、高・大生200円、小・中生100円

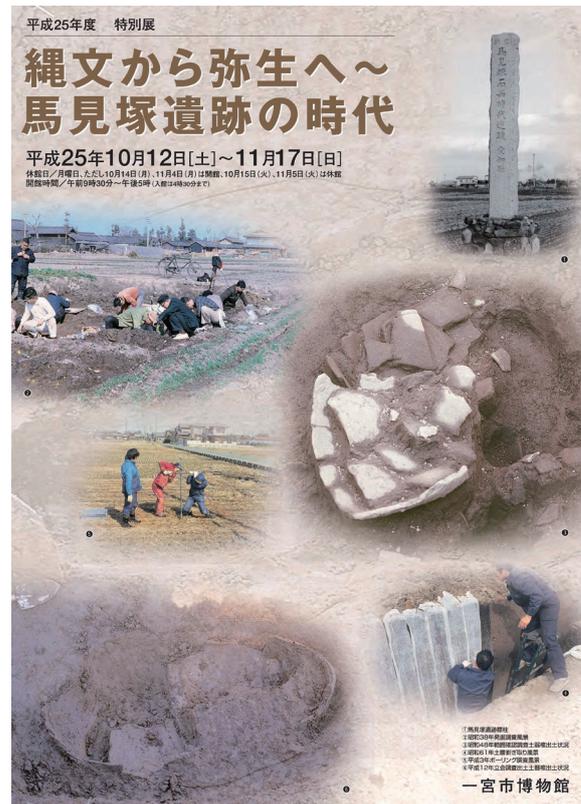
開催日数 32日間

入館者数 1,775人 (55.5人/1日)

一宮市西成連区に位置する馬見塚遺跡は、日本の考古学において重要な遺跡である。かつて尾張平野には縄文時代遺跡が存在しないと考えられていたため、大正15年に発見され学会へ報告された馬見塚遺跡出土土器は、当時の考古学会に大きなインパクトを与えた。以後、多くの人々による発掘調査や学術調査、遺物採集等が行われてきた。本展では、平成25年に馬見塚遺跡の発見から90年を迎えるにあたり、馬見塚遺跡の研究史を振り返るとともに、馬見塚遺跡出土資料を他地域の資料と比較しながら、尾張平野の縄文時代後晩期から弥生時代の様相を明らかにした。

展示構成

- ①一宮市の自然環境
- ②馬見塚遺跡の発見と調査の歴史
- ③祈りと墓制
- ④縄文時代の暮らし
- ⑤縄文から弥生へ～縄文土器と弥生土器



## 出品目録

No.	資料名	数量	所蔵
1	ボーリング調査資料	1	一宮市博物館
2	『馬見塚・二子出土物略図』	1	一宮市立中央図書館
3	『馬見塚石器時代甕棺発表集』	1	一宮市立中央図書館
4	『馬見塚石器時代遺跡案内』	1	一宮市立中央図書館
5	『浅野の史蹟』	1	岩野 見司
6	『東海の史蹟 尾張編』	1	岩野 見司
7	『愛知縣の石器時代』	1	岩野 見司
8	『考古学』5	1	岩野 見司
9	『東海先史文化の諸段階（資料編Ⅱ）』	一括	岩野 見司
10	馬見塚遺跡出土石器	12	馬見塚遺跡保存会
11	馬見塚遺跡 H 地点出土土器	13	設楽 博己
12	山田正夫氏採集馬見塚遺跡出土土器	1	名古屋市見晴台考古資料館
13	馬見塚遺跡出土御物石器	1	一宮市博物館
14	平井稲荷山貝塚出土御物石器	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
15	杉沢遺跡出土御物石器	1	滋賀県立琵琶湖文化館
16	伊川津貝塚出土叉状研歯頭骨（複製）	2	田原市教育委員会
17	馬見塚遺跡出土土偶	2	一宮市博物館
18	麻生田大橋遺跡 SK124 出土土偶	5	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
19	麻生田大橋遺跡出土土偶	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
29	馬見塚遺跡 H 地点出土土偶脚部	8	設楽 博己
30	北裏遺跡出土土偶	1	可児市教育委員会
31	伊川津貝塚出土有髯土偶（複製）	1	田原市教育委員会（原資料：東京大学）
32	玉ノ井遺跡第3次調査出土土偶	1	名古屋市見晴台考古資料館
33	麻生田大橋遺跡出土土偶	1	愛知県埋蔵文化財センター
34	馬見塚遺跡出土異形石器	5	設楽 博己
35	馬見塚遺跡出土石冠	2	一宮市博物館
36	北裏遺跡出土石冠	1	可児市教育委員会
37	馬見塚遺跡出土石冠	3	設楽 博己
38	麻生田大橋遺跡出土石冠	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
39	伊川津貝塚出土石冠	1	田原市教育委員会
40	馬見塚遺跡出土石剣破片	1	設楽 博己
41	北裏遺跡出土石刀	一括	可児市教育委員会
42	馬見塚遺跡出土石棒	2	馬見塚遺跡保存会
43	北裏遺跡出土石棒	1	可児市教育委員会
44	馬見塚遺跡出土石棒	5	荒木集成館
45	麻生田大橋遺跡出土石棒	3	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
46	伊川津貝塚出土石棒	1	田原市教育委員会
47	杉沢遺跡出土石棒	1	米原市教育委員会
48	麻生田大橋遺跡出土石棒	1	愛知県埋蔵文化財調査センター
49	麻生田大橋遺跡出土石製品	1	愛知県埋蔵文化財調査センター
50	牛牧遺跡出土石棒	2	愛知県埋蔵文化財調査センター
51	馬見塚遺跡出土合わせ口土器棺	2組	馬見塚遺跡保存会

No.	資料名	数量	所蔵
52	馬見塚遺跡出土土器棺	1	馬見塚遺跡保存会
53	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (1 号棺)	1	一宮市博物館蔵
54	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (2 号棺)	1 組	一宮市博物館蔵
55	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (3 号棺)	1	一宮市博物館蔵
56	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (4 号棺)	1	一宮市博物館蔵
57	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (5 号棺)	1	一宮市博物館蔵
58	馬見塚遺跡平成元年出土土器	一括	一宮市博物館蔵
59	馬見塚遺跡平成 12 年調査出土土器棺	1 組	一宮市博物館蔵
60	馬見塚遺跡 土器片	一括	國學院大學栃木学園参考館
61	北裏遺跡出土土器棺	6	可児市教育委員会
62	名古屋市千種区東明町 土器棺	1	荒木集成館
63	麻生田大橋遺跡出土土器棺	7	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
64	伊川津貝塚出土土器棺	3	田原市教育委員会
65	馬見塚遺跡出土土器棺	4	名古屋市見晴台考古資料館
66	玉ノ井遺跡第 3 次調査出土土器棺	1	名古屋市見晴台考古資料館
67	玉ノ井遺跡第 4 次調査出土土器棺	1	名古屋市見晴台考古資料館
68	玉ノ井遺跡第 5 次調査出土土器棺	1	名古屋市見晴台考古資料館
69	玉ノ井遺跡第 6 次調査出土土器棺	1	名古屋市見晴台考古資料館
70	玉ノ井遺跡第 3 次調査土器棺墓 3 出土人骨	1	名古屋市見晴台考古資料館
71	玉ノ井遺跡第 3 次調査土壙墓 10 出土人骨	1	名古屋市見晴台考古資料館
72	麻生田大橋遺跡出土土器棺	6	愛知県埋蔵文化財センター
73	滋賀里遺跡出土土器	3	滋賀県立安土城考古博物館
74	土田遺跡出土土器棺 (3 号棺)	1 組	多賀町教育委員会
75	土田遺跡出土土器棺 (7 号棺)	1 組	多賀町教育委員会
76	土田遺跡出土土器棺 (11 号棺)	1 組	多賀町教育委員会
77	土田遺跡出土土器棺 (12 号棺)	1	多賀町教育委員会
78	土田遺跡出土人の歯	3	多賀町教育委員会
79	土田遺跡出土顔料付着の埋土	1	多賀町教育委員会
80	杉沢遺跡出土土器棺 (1 号棺)	1 組	長浜市教育委員会
81	杉沢遺跡出土土器棺 (9 号棺)	1 組	米原市教育委員会
82	杉沢遺跡出土土器棺 (10 号棺)	1 組	米原市教育委員会
83	杉沢遺跡出土土器棺 (11 号棺)	1	米原市教育委員会
84	杉沢遺跡出土土器棺 (10 号棺) 出土状況模型	1	米原市教育委員会
85	杉沢遺跡発掘風景写真	2	米原市教育委員会
86	牛牧遺跡出土土器棺	4	愛知県埋蔵文化財センター
87	馬見塚遺跡ハッカ地点出土土器	1	一宮市博物館
88	神明社貝塚出土土器	2	南知多町教育委員会
89	麻生田大橋遺跡出土磨製石斧	3	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
90	馬見塚遺跡出土磨製石斧	一括	一宮市博物館
91	馬見塚遺跡出土磨製石斧	一括	馬見塚遺跡保存会
92	馬見塚遺跡出土磨製石斧	1	名古屋市見晴台考古資料館
93	馬見塚遺跡 H 地出土打製石斧	1	設楽 博己
94	馬見塚遺跡ハッカ地点出土打製石斧	1	一宮市博物館
95	麻生田大橋遺跡出土打製石斧装着例	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム

No.	資料名	数量	所蔵
96	馬見塚遺跡出土打製石斧	1	名古屋市見晴台考古資料館
97	馬見塚遺跡F地点出土打製石斧	1	一宮市博物館
98	馬見塚遺跡出土石錐	7	名古屋市見晴台考古資料館
99	馬見塚遺跡出土石鏃	一括	馬見塚遺跡保存会
100	馬見塚遺跡出土部分磨製石鏃	1	一宮市博物館
101	馬見塚遺跡出土石鏃	22	名古屋市見晴台考古資料館
102	馬見塚遺跡ハッカ地点出土下呂石剥片	一括	一宮市博物館
103	馬見塚遺跡出土骨鏃	1	一宮市博物館
104	馬見塚遺跡遺跡出土土器	一括	一宮市博物館 (増子康真寄贈資料)
105	馬見塚遺跡ハッカ地点出土凹線文土器 (東海系)	一括	一宮市博物館
106	馬見塚遺跡ハッカ地点出土凹線文土器 (中部高知系)	一括	一宮市博物館
107	馬見塚遺跡ハッカ地点出土凹線文土器 (近畿系)	一括	一宮市博物館
108	伊川津貝塚出土凹線文土器	1	田原市教育委員会
109	神明社貝塚出土凹線文土器	2	南知多町教育委員会
110	天白遺跡出土凹線文土器	4	三重県埋蔵文化財センター
111	中村中平遺跡出土土器	13	飯田市教育委員会
112	馬見塚遺跡出土土器 (半歳竹管文)	一括	一宮市博物館
113	馬見塚遺跡出土土器 (櫃原文様)	一括	一宮市博物館
114	馬見塚遺跡出土土器 (浮線網状文)	一括	一宮市博物館
115	神明社貝塚出土浮線網状文土器	1	南知多町教育委員会
116	氷遺跡 縄文土器 (深鉢)	2	國學院大學栃木学園参考館
117	氷遺跡 縄文土器 (浅鉢)	1	國學院大學栃木学園参考館
118	氷遺跡 縄文土器 (壺形土器)	2	國學院大學栃木学園参考館
119	氷遺跡 縄文土器 (甕形土器)	2	國學院大學栃木学園参考館
120	北裏遺跡出土土器 (大洞系)	1	可児市教育委員会
121	馬見塚遺跡出土土器 (大洞系)	一括	一宮市博物館
122	麻生田大橋遺跡出土浅鉢	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
123	麻生田大橋遺跡出土台付鉢	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
124	馬見塚遺跡F地点出土壺形土器	一括	一宮市博物館
125	馬見塚遺跡出土壺形土器	一括	一宮市博物館
126	馬見塚遺跡出土突帯文土器	一括	一宮市博物館
127	馬見塚遺跡出土浅鉢	1	名古屋市見晴台考古資料館
128	馬見塚遺跡出土浅鉢	一括	一宮市博物館
129	馬見塚遺跡出土土器 (条痕文)	一括	一宮市博物館
130	三ツ井遺跡出土土器	一括	一宮市博物館
131	山中遺跡出土土器	1	一宮市博物館
132	猫島遺跡出土土器	1	一宮市博物館
133	八王子遺跡出土土器	一括	一宮市博物館
134	八王子遺跡出土遠賀川系土器壺	1	一宮市博物館
135	八王子遺跡出土遠賀川系土器甕	1	一宮市博物館

企画展 2013一宮市現代作家美術秀選展

会期 平成25年11月30日(土)～12月15日(日)  
 開会式 11月30日(土) 午前9時30分～  
 主催 一宮市博物館  
 監修 一宮美術作家協会、一宮書道協会、一宮写真協会  
 会場 特別展示室、講座室、展示室4、ラウンジ、  
 1階ギャラリー  
 印刷物 ポスター(B2) 700枚  
 リーフレット(A4) 10,000枚  
 観覧券 4,400枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 14日間  
 入館者数 2,333人(166.6人/1日)

美術を愛好する市民に美術作品の精華の再認識を促し、市民による一層の美術振興に資することを目的として、平成13年度から継続して開催している展覧会。春に行われた2013一宮総合美術展や秋の第71回一宮市美術展などの成果を受けて、一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会推薦者75名の作品、および一宮市美術展市長賞受賞作品を展示した。ポスター掲載作品は川原孝文《邂逅》。



出品者・出品作品

日本画

大島 奈知子 豊穰の行方  
 河村 明美 菊径村集落(婺源)  
 本多 功 視る

河出 幸之助 牡丹  
 名倉 勝三 赤い迷い道  
 松岡 彩子 霜降(Ⅱ)

洋画

伊藤 常男 スペースタイム  
 岩田 哲夫 春宵 No.4  
 大島 信人 カルム  
 小倉 義夫 格差社会「交差点」  
 櫻井 幹郎 作品(或いは想)  
 すぎもと 和 こいのぼりとその仲間たち  
 高森 和子 時の流れ  
 仲山 瑛子 大楠(オオクス)  
 増田 和臣 N・O・W 13-B  
 三輪 清弘 異国の石彫刻  
 若月 陽子 - in the pond -

井上 雅夫 グッゲンハイムの光  
 大島 辰子 春の譜  
 大塚 将司 Untitled  
 後藤 泰洋 カミイマス  
 左合 英明 虹のかけはし  
 関野 敦 F.  
 高山 悟 演奏前  
 堀尾 一郎 ヒビリアの冬  
 三輪 修 Paradiso  
 山崎 澄 碎石場残雪

彫刻・立体

川原 孝文 邂逅  
 長谷川 厚一郎 生きる

櫻井 真理 ほほえみ  
 真下 賢一 プレイ・ペープメント

工芸

鵜飼 辰郎 central - station 澤田 進治 KUON  
林 節子 大きくなあれ

デザイン

鵜飼 のはら 未来 岡崎 美穂 Love Planets すばらしき世界  
森 昭夫 SPACE AND SPACE

書

安藤 蘇道 俳句一句 伊藤 玄圃 書画作品  
岩田 潤流 悠悠 牛田 五龍 王維詩  
加藤 松翠 唐詩 蘇東坡詩 亀山 雪峰 春桜秋菊  
河合 瑤舟 七言二句 川浦 碧涛 于武陵詩  
木戸 竹葉 良寛詩 近藤 芳玉 錢起詩  
佐々 清香 良寛詩 佐野 桃子 六言一句  
高木 曾水 瓦當文三首 武山 翠屋 七言二句  
田代 春苑 揚峴 富田 栄楽 旅人と我が名呼ばれむ初時雨（芭蕉）  
中村 曾南 柳駕風搖 則武 穹 刻字 山溜穿石  
林 如華 白楽天詩 林 大樹 一楽慰人  
夫馬 千石 「礼記」詩 村上 堯紅 花いばら  
村田 光終 于謙詩 森 隆城 おもてなし  
山田 杏華 蘇東坡詩（和孔周翰二絶） 依田 鶴歩 三字対語

写真

青木 尚子 若年労働者 安藤 治仁 命をつなぐ  
磯村 文男 ブルーインパルス 伊藤 繁雄 叫び  
桜井 悦子 千手 中村 薫 発車5分前  
橋本 秀子 水遊び 林 三平 追憶  
夫馬 勲 天竺の人 光田 せいすけ 初秋に舞う  
山口 峰子 私のペット

市長賞

日本画 藤塚 章 秋声  
洋画 内藤 圭介 異次元の箱  
水野 潔 アコーディオンのある静物  
吉村 理華 生命の樹  
彫刻・立体 伊藤 毅 現代バベルの塔（聖書から）  
工芸 丹慶 哲宏 浮遊（フユウ）  
デザイン 柘植 雅一 冬の交響詩※  
書 小松 月泉 米芾  
古川 白萩 倪元璐詩  
牧 恵清 紅葉  
写真 長谷川 蔦江 満載

※出品辞退

部門名、出品者名、作品名（部門別、50音順）

企画展 暮らしの中の民具～観察する～

会期 平成26年1月11日(土)～3月9日(日)  
 主催 一宮市博物館  
 会場 特別展示室、展示室4、ラウンジ、1階ギャラリー  
 印刷物 ポスター(B2) 600枚  
 リーフレット(A4) 50,000枚  
 展示解説書(A5、36頁) 6,000部 無料配布  
 観覧券 5,000枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 49日間  
 入館者数 6,132人(125.1人/1日)

社会科単元「古い道具と昔の暮らし」において、博物館を見学する小学校3年生を対象に、民具を通して昔の暮らしを紹介する展覧会であり、平成3年度からの継続事業である。

暮らしの中で使われる道具は、人々がさまざまな工夫を凝らしたもので、材料や形、大きさなど、道具を観察することにより、人々の知恵の深さや工夫を知ることができる。本展では、道具を使うことの意義、道具の流通や変遷などを紹介し、機械化する以前の道具を観察することによって、道具から見た「歴史を学ぶ」ことの意味を明らかにすることを目指した。

展示構成

- ①衣と道具
- ②食と道具
- ③住と道具
- ④一宮の祭

企画展  
**暮らしの中の民具**  
 ～観察する～  
 平成26年1月11日(土)～3月9日(日)

ふる  
ら  
し  
の  
な  
か  
の  
み  
な  
ぐ  
と

ひ  
と  
の  
ち  
え

①1月12日(日) **おりとあみのひみつ**  
 おり、あみの道具を観覧し、アンゲン編みでコースターをつくりまわす。

②1月19日(日) **うずのいろいろ**  
 うずでいたたり、ついたり、昔の道具を使って、もろつきをします。

③1月26日(日) **大根切干のつくりかた**  
 昔ながらの大根切干づくりを体験します。

3月9日(日) **民俗芸能公演**  
 市域に伝わり、現在でも運動を続け継承されている舞踊(民俗)文化財の公演です。

①鳥文楽 午後1時30分より  
 ②ぼしよう踊 午後1時30分より  
 ③宮後住吉踊 午後2時30分より

観覧料100円(先着順)  
 (伊加賀)1200円、②③無料(別途、観覧料が必要)

一宮市博物館  
 〒191-0922 一宮市人形町砂野2300  
 TEL.0526-46-3215 FAX.0526-46-3216  
 URL: http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/museum/

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)  
 休館日 1月14日(水)・20日(月)・27日(月)、2月3日(月)・10日(月)・12日(水)・17日(月)・24日(月)、3月3日(月)

観覧料 (単位:円) 一般200円(160円)、高校・大学生100円(80円)、小・中学生50円(40円)  
 ※19歳以下(小学生以下)は保護者同伴で、19歳以下(小学生以下)は、当日午後6時の入館を以て、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書を提出し、当日午後6時以降は入館できません。

※身体障害者等の手帳を所持の方(付添い人1人を含む)は無料。

## 出品目録

No.	資料名	No.	資料名	No.	資料名
1	がんどう（金属製）	41	台唐	81	ちょうだい
2	がんどう（木製桶型）	42	立白・杵	82	しょうじき
3	蠅取瓶	43	唐箕	83	こめびつ
4	蚊いぶし	44	金通	84	いっとます
5	型板（提灯製作用具）	45	とおし	85	とかき
6	高下駄	46	箕	86	かます
7	炬燵	47	長着	87	たる
8	箱膳	48	わらぞうり	88	せいろ
9	茶碗	49	ぞうりつくりだい	89	しるおけ
10	タキモン	50	下駄	90	しるびしゃく
11	大火鉢	51	高下駄	91	すしばこ
12	風呂籠	52	くけだい	92	まめいり
13	タワシ	53	わたくりろくろ	93	いかき
14	荒神箒	54	糸車	94	こねばち
15	藁草履	55	高機（復元）	95	すりばち
16	蠅叩き	56	運搬車	96	せんば
17	伸子張り・杵	57	しんどかご（4点）	97	酒徳利
18	棹秤	58	大八車	98	かつおぶしけずり
19	割り干し	59	鳥籠	99	くど
20	綿の実	60	手桶	100	たきもん
21	水縄（間縄）	61	水漉籠（はんどがめ）	101	釜
22	横槌	62	柄杓	102	茶釜
23	石臼	63	井戸	103	鍋
24	臼台	64	棹釣瓶	104	七輪
25	棹秤	65	はんぞ	105	荒神箒
26	鍬	66	洗濯板	106	火消壺
27	備中	67	盥	107	こしがめ
28	手備中	68	張板	108	はんぞ
29	田おこし	69	伸子張り	109	ながし
30	犁	70	張手	110	たわし
31	田ならし	71	風呂桶	111	まないた
32	田すり	72	風呂籠	112	はいとこぬか
33	苗籠	73	箱膳	113	猫火鉢
34	天秤棒	74	ちゃぶだい		
35	田舟	75	電気釜		すべて一宮市博物館蔵
36	千歯こき	76	保温ジャー		
37	足踏み脱穀機	77	いずみ		
38	籾ならし	78	おひつ		
39	土臼	79	しゃもじ		
40	石臼・臼台	80	めしかご		

特別展 妙興寺展

会期 平成26年10月18日(土)～11月16日(日)  
 展示替え 11月4日(火)  
 開会式・内覧会 10月17日(金) 午前10時～

主催 一宮市博物館  
 特別協力 妙興寺

会場 特別展示室、講座室、小展示室、ラウンジ、  
 1階ギャラリー

印刷物  
 ポスター(B2) 800枚  
 リーフレット(A4) 3,500枚  
 学校用リーフレット(A4) 50,000枚  
 展示図録(A4、76頁) 1,000部  
 観覧券 15,000枚  
 開会式案内状・封筒 600枚

観覧料 一般500円、高・大生200円、小・中生100円  
 開催日数 26日間  
 入館者数 4,919人(189.2人/1日)

一宮市博物館に隣接する長嶋山妙興報恩禪寺は、貞和4年(1348)の創建以来、尾張の臨済宗の中心寺院として発展してきた。その歴史は、妙興寺およびその塔頭寺院に伝わる多数の古文書や美術工芸品などからも知ることができる。本展では、博物館の常設展示リニューアルオープンにあわせて、新たに重要文化財指定を受けた袈裟二領を含む国指定の重要文化財や愛知県指定文化財、一宮市指定文化財などを紹介した。

展示構成

- ①妙興寺の歴史
- ②妙興寺ゆかりの名宝
- ③妙興寺の仏たち

出品目録

No.	資料名	数量	時代	所蔵
1	○軒丸瓦	2点	奈良	妙興寺
2	博仏断片	1点	奈良	妙興寺
3	妙興寺境内各所出土瓦	一括	奈良	妙興寺・来薰院
4	法堂跡出土瓦	一括	奈良	妙興寺
5	妙興寺境内各所出土土器	一括	奈良～室町	妙興寺
6	◎滅宗宗興行状記 無隠徳吾筆	1巻	享徳2年(1453)	妙興寺
7	◎妙興寺由来記 無隠徳吾筆	1巻	享徳2年(1453)	妙興寺
8	◎荒尾宗顕売券	1枚	貞和2年(1346)	妙興寺
9	◎妙興寺領坪付注文	1巻	文和2年(1353)	妙興寺
10	◎滅宗宗興寄進状	1幅	永和5年(1379)	妙興寺
11	●南浦紹明塔銘牌	1基	享徳2年(1453)	妙興寺
12	◎南浦紹明坐像	1軀	鎌倉	妙興寺

平成26年  
 10月18日(土)～11月16日(日) 美術館1階(特展室)  
 前期・10月18日(土)～11月3日(月) 後期・11月5日(水)～11月16日(日)  
 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 休館日 毎週月曜日(11月4日・11月11日) 11月3日(月)は開館  
 主催 一宮市博物館  
 特別協力 妙興寺

常設展示リニューアル記念特別展  
**妙興寺展**

◎観覧券  
 ① 一般(中学生以上) 500円  
 ② 高・大生 200円  
 ③ 小・中生 100円  
 ◎ 観覧券は当日現金でのみ販売。  
 ◎ 観覧券は入館時に提示し、入館後有効。  
 ◎ 観覧券は入館時に提示し、入館後有効。  
 ◎ 観覧券は入館時に提示し、入館後有効。

◎ 休館日  
 ① 10月18日(土)～11月3日(月)  
 ② 11月5日(水)～11月16日(日)  
 ◎ 休館日は入館できません。  
 ◎ 休館日は入館できません。

◎ 学芸員による展示解説  
 ① 10月25日(土)  
 ② 10月31日(金)  
 ③ 11月3日(日)  
 ④ 11月7日(木)  
 ⑤ 11月15日(土)  
 ◎ 学芸員による展示解説は、入館料が別途必要です。  
 ◎ 学芸員による展示解説は、入館料が別途必要です。

一宮市博物館  
 Ichimiyashi City Museum  
 〒491-0022 一宮市大島町妙興寺2-1-1  
 TEL.0566-46-3215 FAX.0566-46-3216  
 URL: http://www.icm.jp/

No.	資料名	数量	時代	所蔵
13	○滅宗宗興坐像	1 軀	南北朝	妙興寺
14	◎足利義教像 瑞溪周鳳賛	1 幅	室町	妙興寺
15	●豊臣秀吉像 南化玄興賛	1 幅	慶長 5 年 (1600) 賛	妙興寺
16	○南化玄興像 自賛	1 幅	安土桃山	妙興寺
17	◎足利尊氏寄進状	1 枚	文和 3 年 (1354)	妙興寺
18	◎足利義詮寄進状	1 枚	文和 2 年 (1353)	妙興寺
19	◎後光厳天皇繪旨	1 枚	延文元年 (1356) 頃	妙興寺
20	◎足利義詮御教書	1 枚	貞治 3 年 (1364)	妙興寺
21	◎豊臣秀吉朱印状 (写)	1 枚	文禄 4 年 (1595)	妙興寺
22	◎松平忠吉朱印状	1 枚	慶長 6 年 (1601)	妙興寺
23	◎嶋宮村檢地帳	3 冊のうち 2 冊	慶長 13 年 (1608)	妙興寺
24	●神農図 神前松徳筆 蘭叟紹秀賛	1 幅	江戸初期	妙興寺
25	●達磨図 神前松徳筆 蘭叟紹秀賛	1 幅	江戸初期	妙興寺
26	○釈迦三尊像	3 幅	室町	妙興寺
27	○不動明王像 龍湫周澤筆 自賛	1 幅	嘉慶元年 (1387) 賛	妙興寺
28	○蓬萊寿老人像 万里集九賛	1 幅	明応 4 年 (1495) 賛	妙興寺
29	●竹雉子図 足利義継筆	1 幅	室町	妙興寺
30	●鷹図 万里集九賛	1 幅	明応 2 年 (1493) 賛	妙興寺
31	○柳牛図 毛倫筆	1 幅	中国・元	妙興寺
32	○五位鷺図	1 幅	室町	妙興寺
33	○墨梅図 (白梅図)	1 幅	中国・明	妙興寺
34	○墨梅図 (紅梅図) 雪崖筆	1 幅	室町	妙興寺
35	○山水図 雪閑筆	1 幅	室町	妙興寺
36	○蓮池水禽図 雪洞筆	2 幅	室町	妙興寺
37	◎十六羅漢図	16 幅	中国・元	妙興寺
38	白衣観音図・龍虎図	3 幅	室町	妙興寺
39	◎道仏二教諸尊図	4 幅	中国・南宋～元	妙興寺
40	◎白衣観音図 良全筆 乾峰土曇賛	1 幅	鎌倉～南北朝	妙興寺
41	◎文殊菩薩像 空谷明応賛	1 幅	応永 7 年 (1400) 賛	妙興寺
42	◎九条袈裟 南浦紹明所用	1 領	中国・南宋～元	妙興寺
43	◎九条袈裟 滅宗宗興所用	1 領	南北朝	妙興寺
44	御深井焼浮牡丹文香炉	1 口	江戸	妙興寺
45	●彫根来大香合 南化玄興所用	1 合	室町～安土桃山	妙興寺
46	○喚鐘	1 口	享徳 2 年 (1453)	妙興寺
47	○手水鉢	1 口	江戸	妙興寺
48	仙蓋瓶	1 対	江戸	妙興寺
49	織部獅子大香炉	1 口	江戸	妙興寺
50	阿古陀鐘子	1 口	室町	妙興寺
51	能面 (尉)	1 面	室町	妙興寺
52	○朱漆沈金膳	3 客	室町～安土桃山	妙興寺
53	湖州鏡 付朱漆塗鏡筥	1 面・1 合	中国・宋	妙興寺
54	布袋坐像 (南浦紹明所用)	1 軀	中国・宋	妙興寺
55	木額「天祥庵」 可庵円慧筆	1 枚	南北朝	妙興寺
56	木額「上堂」 文微明筆	1 枚	中国・明	妙興寺
57	木額「坐禅」「放参」 伝無準師範筆	1 枚	中国・南宋	妙興寺
58	聖観音菩薩坐像	1 軀	平安	来薰院
59	○不動明王立像	1 軀	平安	耕雲院
60	達磨大師坐像	1 軀	室町	妙興寺
61	大権修理菩薩椅坐像	1 軀	応永 19 年 (1412)	妙興寺
62	伽藍神椅坐像	1 軀	室町	妙興寺
63	○天部立像	1 軀	平安	妙興寺
64	○天部立像	1 軀	平安	妙興寺
65	○釈迦三尊坐像	3 軀	南北朝	妙興寺

企画展 2014 一宮市現代作家美術秀選展  
 会期 平成 26 年 11 月 29 日 (土) ~ 12 月 14 日 (日)  
 開会式 11 月 29 日 (土) 午前 9 時 30 分 ~  
 主催 一宮市博物館  
 監修 一宮美術作家協会、一宮書道協会、一宮写真協会  
 会場 特別展示室、講座室、小展示室、ラウンジ、  
 1 階ギャラリー  
 印刷物 ポスター (B2) 700 枚  
 リーフレット (A4) 10,000 枚  
 観覧券 4,400 枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 14 日間  
 入館者数 2,149 人 (153.5 人 / 1 日)

美術を愛好する市民に美術作品の精華の再認識を促し、市民による一層の美術振興に資することを目的として、平成 13 年度から継続して開催している展覧会。春に行われた 2014 一宮総合美術展や秋の第 72 回一宮市美術展などの成果を受けて、一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会推薦者 73 名の作品、および一宮市美術展市長賞受賞作品を展示した。ポスター掲載作品は岡崎美穂《彩》。



2014 一宮市現代作家美術秀選展  
 第 72 回一宮市美術展市長賞受賞作品を展示します  
 一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会に属する現代作家の選りすぐりの作品

平成 26 年 11 月 29 日 (土) ~ 12 月 14 日 (日)  
 開館時間 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 (入館は 4 時 30 分まで) ※観覧券持主は 4 時 30 分までです  
 休館日 12 月 1 日 (月)・8 日 (月)

一宮市博物館  
 〒481-0022 一宮市大宮町南 2-2-1  
 TEL 0565-825111 FAX 0565-825114  
 URL http://www.ikoma.jp

★観覧料 一般 200円 (160円)、高校・大学生 100円 (80円)、小・中学生 50円 (40円)  
 (常設展を含む) ※1 日以内は前売および 20 人以上以上の団体。  
 ※団体料金・中学生以下は無料。  
 ※市内在住の高校生以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書を提示された方は無料。  
 ※身体障害者等の手帳を所持の方(付添い人を含む)は無料。  
 ★前売券のご案内 11 月 1 日 (土) ~ 11 月 28 日 (金) の間、一宮市政務推進学習課、一宮市博物館、一宮市三輪地区公民館、一宮市歴史民俗資料館にて販売  
 ★主催 一宮市博物館  
 ★監修 一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会



## 出品者・出品作品

### 日本画

大島 奈知子	回帰	河出 幸之助	寒牡丹
河村 明美	居庸関長城	名倉 勝三	上津橋 (中国・蘇州)
松岡 彩子	咲いた		

### 洋画

井上 雅夫	アーチのかたち	岩田 哲夫	春宵 No.6
江村 亨	追憶	大島 辰子	春いくたびか
大島 信人	On The Terrace	大塚 将司	After image
小倉 義夫	漂流 107 日	後藤 泰洋	9.27
櫻井 幹郎	作品 (或いはマンダラ)	左合 英明	青いマルシェ
すぎもと 和	生命の樹とその仲間たち	関野 敦	無題
高森 和子	内なる記憶	高山 悟	治水の人々
寺西 洋二	落陽・木曾川 河畔	野原 三義	合奏
堀尾 一郎	トレビーズ・青春の輝き	増田 和臣	どこへいくか
松本 幹永	不識	三輪 修	Garnet II
三輪 清弘	家族	山崎 澄	秋の装い
若月 陽子	草むら・考		

### 彫刻・立体

川原 孝文	エスキース	櫻井 真理	新たな道
長谷川 厚一郎	ANOITO	真下 賢一	プレイ・スカルプチャー

工芸

足立 重喜	白釉茶盃	鵜飼 辰郎	A・B U・K U
澤田 進治	刻・紋	林 節子	いちじくのうた
松岡 孝司	跳		

デザイン

鵜飼 のはら	cloth textile	岡崎 美穂	習 世界遺産登録
森 昭夫	SPACE AND SPACE		

書

安藤 蘇道		伊藤 暁嶺	
伊藤 玄圃		岩田 澗流	
加藤 松翠		亀山 雪峰	
河合 瑤舟		川浦 碧涛	
木戸 竹葉		近藤 芳玉	
佐々 清香		佐野 桃子	
高木 曾水		武山 翠屋	
田代 春苑		富田 栄楽	
中村 曾南		則武 穹	
林 如華		林 大樹	
夫馬 千石		村上 堯紅	
村田 光終		森 隆城	
山田 杏華			

写真

青木 尚子	ハト使い	安藤 治仁	水彩
伊藤 繁雄	終焉	桜井 悦子	男
中村 薫	ゴジラ現れる	橋本 秀子	追憶
林 三平	番人	夫馬 勲	ガンジス賛歌

市長賞

日本画	青藍 蒼	※
洋画	香川 絹代	船屋
	加藤 栄子	収穫
	水野 種富	自画像
彫刻・立体	松本 崇宏	untitled
工芸	田中 彰子	青イラボ
デザイン	山岸 克也	BE SURPRISED (驚き・驚愕)
書	鵜飼 秀麗	王維詩
	可児 長望	七言二句
	谷本 義仙	巖維詩
写真	中村 薫	昭和の風貌

※出品辞退

部門名、出品者名、作品名(部門別、50音順)

企画展 暮らしの中の民具 “ちえ”と“くふう”

会期 平成27年1月10日(土)～3月8日(日)  
 主催 一宮市博物館  
 会場 特別展示室、小展示室、ラウンジ、1階ギャラリー  
 印刷物 ポスター(B2) 600枚  
 リーフレット(A4) 50,000枚  
 展示解説書(A5、36頁) 6,000部 無料配布  
 観覧券 5,500枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 49日間  
 入館者数 6,864人(140.0人/1日)

社会科単元「古い道具と昔の暮らし」において、博物館を見学する小学校3年生を対象に、民具を通して昔の暮らしを紹介する展覧会であり、平成3年度からの継続事業である。平成26年度は「ちえとくふう」をテーマに、古い道具には先人の創意工夫が込められていることへの気づきを促すことを目的とした。

展示構成

- ①衣服と道具
- ②住まいの道具
- ③食生活の道具
- ④一宮市のまつりと民俗芸能

**むかしの道具の、  
ナイショのハナシ。**



たえば、せんたくいのおハナシ。じつは、ヨーロッパ生まれのこのワタシ。ギザギザはせんたくものよこれをとおしやすいように。まあいくほみは、せつけんおきば。なつの日もさむいふゆの日も、せんたくはワタシのだいじなおシゴトよ。いつも井戸ばたはワタシの居場所だったのに、ある日おとうさんがせんたくを買ってきて…。

でも今は博物館がワタシの居場所。道具のレキシをつたるおシゴトをしています。ワタシの声はともちっちゃいけれど、ゆっくり耳をかたむけてくれるあなたを、博物館でまっています。

企画展

# 暮らしの中の民具

**ちえとくふう** 市内小中学生は観覧無料

平成27年1月10日(土)～3月8日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)  
 休館日：1月13日(水)・19日(月)・26日(月)・  
 2月2日(月)・9日(月)・12日(水)・16日(月)・23日(月)・3月2日(月)

**暮らしの体験講座**

- ①もちつき大会 1月16日(日) 午後1時30分～3時
- ②民具衣装でファッションショー 1月22日(日) 午後1時30分～3時
- ③むかしのおやつせんぼやき 2月11日(水) 午後1時30分～3時

**民俗芸能公演**

- ①島文楽 2月1日(日) 午後2時～3時
- ②茶楼楽 2月8日(日) 午後2時～3時
- ③ぼんばり 2月15日(日) 午後2時～3時

**たけのこまつり**

- ①はたおり・まつりむぎ体験 毎週土・日曜日 午後1時30分～3時
- ②ミニ餅つき 開催期間：1月10日～3月28日

観覧料	一般	小学生	中学生	高校生	大学生	高齢者
観覧券	200円	160円	80円	400円	2,000円	無料
入館料	100円	80円	40円	200円	1,000円	無料
小中学生	0円	0円	0円	0円	0円	0円

はくふつかんであそぼう！  
**一宮市博物館**

〒491-0922 一宮市大和町砂原2390番地  
 TEL.0586-46-3215 FAX.0586-46-3216  
 URL: <http://www.city.ikoma.lg.jp>

交通 / 名鉄北濃大塚駅(徒歩) 徒歩15分  
 二宮駅(徒歩) 徒歩25分



- 28 -

## 出品目録

No.	資料名	No.	資料名	No.	資料名
1	がんどう（金属製）	31	ぞうりつくりだい	61	とかき
2	がんどう（木製桶型）	32	下駄	62	かます
3	提灯	33	高下駄	63	たる
4	石油ランプ	34	くけだい	64	せいろ
5	炬燵	35	運搬車	65	しるおけ
6	猫火鉢	36	しんどかご（4点）	66	しるびしゃく
7	湯たんぼ	37	大八車	67	すしばこ
8	大火鉢	39	鳥籠	68	まめいり
9	凧	39	手桶	69	いかき
10	羽子板	40	水漉甕（はんどがめ）	70	こねばち
11	ぐいち（お手玉）	41	柄杓	71	すりばち
12	手毬	42	井戸	72	せんば
13	かるた	43	棹釣瓶	73	酒徳利
14	しょうや（めんこ）	44	はんぞ	74	かつおぶしけずり
15	百人一首	45	洗濯板	75	くど
16	風呂桶	46	盥	76	たきもん
17	風呂籠	47	張板	77	釜
18	横槌	48	伸子張り	78	茶釜
19	蠅叩き	49	張手	79	鍋
20	箒	50	ちゃぶだい	80	七輪
21	箱膳	51	電気釜	81	荒神箒
22	茶碗	52	保温ジャー	82	火消壺
23	石臼	53	いずみ	83	こしがめ
24	臼台	54	おひつ	84	はんぞ
25	長着	55	しゃもじ	85	ながし
26	二重回し	56	めしかご	86	たわし
27	国民服	57	ちょうだい	87	まないた
28	簡単服	58	しょうじき	88	はいとこぬか
29	陣羽織	59	こめびつ	89	氷冷蔵庫
30	わらぞうり	60	いっとます	90	柳行李

すべて一宮市博物館蔵

企画展 一宮美術作家協会展

会期 平成 27 年 3 月 14 日（土）～ 3 月 22 日（日）  
 主催 一宮市博物館・一宮美術作家協会  
 会場 特別展示室、講座室、小展示室、ラウンジ、1 階ギャラリー  
 印刷物 案内はがき（220×110mm） 3,500 枚  
 観覧料 常設観覧料  
 開催日数 8 日間  
 入館者数 1,432 人（179 人／1 日）

一宮美術作家協会会員による、最新の発想でイメージの試作を展開した作品展。美術作家の清新な制作活動の発表の場として、当地の新たな美術文化の進展に資することを目的とするもので、平成 14 年度からの継続事業である。平成 26 年度は、66 名の会員が出展し、うち 2 名による特別展示を行った。

出品者・出品作品

部門名、出品者名、作品名（部門別、50 音順）

日本画	加島 昌子	紹興古鎮	河村 明美	汐風
	高橋 弘子	懸空寺	丹羽 桃慶	V i e t n a m の街
	松岡 彩子	炭売り		
洋画	伊藤 眞巳	郷の娘	井上 雅夫	r o o m
	岩田 哲夫	白炎	江村 亨	回転木馬で遊ぶ
	大島 辰子	春 行き交う	大島 信人	t r a n s p a r l e n c y
	大塚 将司	無題	岡崎 喜代子	時の止まった発電所
	小倉 照江	黒のシンフォニー	小倉 義夫	知識は眠る
	梶浦 寿布	壊の跡	鬼頭 厚生	ハトシェプストの神殿
	久保田 正信	春よ、来い	小出 きよ子	楽園 B
	後藤 一三	時 IV	後藤 泰洋	冬眠から
	櫻井 幹郎	作品 あるいは マンダラ	左合 英明	シルエット
	佐藤 典子	まんだら. 2015. 春	すぎもと 和	さかなとその仲間たち
	関野 敦	お出かけですか？	高森 和子	内なる記憶
	高山 悟	演奏	滝野 弘次	浄感
	田島 幸子	作品ハート	寺西 洋二	白川郷残雪
	野原 三義	夕暮れのひととき	橋本 進	安曇野秋色
	平林 幸子	ing woman B 子	平松 幸雄	鉄橋の下の道
	堀尾 一郎	ミコノスの春	前野 恒	百々樋門
	増田 和臣	また 遠ざかる	松本 耀子	ファラオの想い
	三輪 修	道	三輪 清弘	花と実
	村上 佳久子	すべて委ねて	山崎 澄	波濤
	山田 光代	あいたくて	吉川 忠史	復興 B
吉田 まさ子	graffiti blue	若月 陽子	in the yard	
彫刻・立体	川原 孝文	宙	長谷川厚一郎	らの展開
	真下 賢一	インナー・ヴィジョン		
デザイン・工芸	石井 佳代子	感性の壊れ切った太陽	石田 元子	春のけはい
	鶴飼 辰郎	S P A C E	鶴飼 のはら	3 1 1
	岡崎 美穂	Creative of Life	澤田 進治	刻・紋
	土屋 保徳	椅子 0 2	百々 佳美	イライラ解消！ Business Solution Fair
	林 節子	どこへ行く？	夫馬 信行	R O C K S（伊賀花生）
	松岡 孝司	跳動Ⅲ	森 昭夫	SPACE AND SPACE

## 特別展示

小笠原 千鶴〔洋画〕

5 W 1 H - I

5 W 1 H - II

Who are you ? - I

Where are you going ? - I

Where are you going ? - II

Where are you going ? - III

Where are you going ? - IV

Where are you going ? - V

木村 満幸〔洋画〕

蝕

震災のポストマン

冬の星座

黄色の風景

竹の秋

義仲寺にて

サーカスの夜

銭湯

うどんを食べる老人

## 企画展 一宮写真協会選抜写真展

会期 平成 27 年 3 月 25 日 (水) ~ 3 月 31 日 (火)

主催 一宮市博物館・一宮写真協会

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ

印刷物 案内はがき (150 × 100mm) 3,000 枚

観覧料 常設観覧料

開催日数 6 日間

入館者数 1,122 人 (187 人 / 1 日)

一宮写真協会会員のうち 32 名による、感性に裏打ちされた表現力で熱い思いを込めた写真展。平成 14 年度からの継続事業であり、平成 26 年度のテーマは「明日のため 今を 伝えたい。」であった。

## 出品者

---

青木 尚子

今井 要

尾関 君代

木村 龍雄

千田 陸末

長谷川 蔦江

水谷 嘉男

安藤 浩仁

上津 福三

笠野 俊彦

桑原 なほみ

所 由紀子

林 三平

脇田 和彦

安藤 雅彦

大矢 真理子

加藤 紀子

小島 高子

中村 薫

林 孝弘

市川 勝朗

岡田 忠夫

金森 光紀

櫻井 悦子

橋本 秀子

林 都美子

伊藤 繁雄

小川 照秋

木村 晴子

櫻井 慶子

長谷川 隆光

夫馬 勲

(50 音順)

## (2) 玉堂記念展示室 一宮市立玉堂記念木曾川図書館 3階

平成 25 年度

川合玉堂生誕 140 周年記念特別展 ふるさとの風景

会期 平成 25 年 10 月 11 日 (金) ~ 11 月 13 日 (水)  
 主催 一宮市・一宮市教育委員会  
 会場 玉堂記念展示室、一般展示室  
 印刷物 ポスター (B2) 700 枚  
 リーフレット (A4) 15,000 枚  
 観覧料 無料  
 開催日数 29 日間  
 入館者数 2,579 人 (88.9 人/人)

川合玉堂生誕から 140 年の節目を迎えるにあたり、玉堂の代名詞ともいえる風景画に焦点を当て、その魅力を伝えるために、大松美術館と駿府美術館の協力のもと、玉堂の風景画 14 点に加え、玉堂の師である橋本雅邦の「林間残照図」(駿府博物館蔵)を展示し、玉堂の画風に与えた影響を紹介した。

生誕 140 周年記念特別展  
**川合玉堂**  
 ふるさとの風景

平成 25 年  
**10月11日(金) ▶ 11月13日(水)**  
 観覧時間 午前10時~午後5時  
 休 日 10月15日(木)・21日(月)・28日(月)・11月5日(水)・11日(月) **入場無料**  
 主催・企画 一宮市・一宮市教育委員会  
 協賛 カノナ大松美術館・駿府博物館

関連イベント  
 ● 記念講演  
 10月11日(金) 13時30分~14時30分(15分休憩) 大松美術館講堂  
 11月13日(水) 10時~11時30分(15分休憩) 駿府博物館講堂  
 ● 特別展示  
 10月11日(金) 13時30分~14時30分(15分休憩) 大松美術館講堂  
 11月13日(水) 10時~11時30分(15分休憩) 駿府博物館講堂

〒493-0007 愛知県一宮市木曾川(川合)川合町(木曾川図書館) TEL.0566-94-2346 FAX.0566-85-0480

## 出品目録

No.	作家名	作品名	時代	所蔵
1	川合玉堂	奔泉紅葉	昭和 13 年頃 (1938)	駿府博物館
2	川合玉堂	溪村春信	昭和 19 年 (1944)	駿府博物館
3	川合玉堂	空山帰樵	昭和 24 年頃 (1949)	駿府博物館
4	川合玉堂	溪村浅春	昭和 28 年 (1953)	駿府博物館
5	川合玉堂	湖畔驟雨	大正 15 年 (1926)	大松美術館
6	川合玉堂	高嶺之春	昭和 11 年 (1936)	大松美術館
7	川合玉堂	溪村春色	昭和 20 年 (1945)	大松美術館
8	川合玉堂	春峡	昭和 23 年 (1948)	大松美術館
9	川合玉堂	山村雪霽	昭和 26 年 (1951)	大松美術館
10	川合玉堂	柳下野馬図	明治 23 年 (1948)	一宮市立玉堂記念木曾川図書館
11	川合玉堂	奔瀑遊猿図	明治 30 年 (1897)	一宮市立玉堂記念木曾川図書館
12	川合玉堂	五月雨	昭和 24 年頃 (1949)	一宮市立玉堂記念木曾川図書館
13	川合玉堂	高嶺残雪	昭和 24 年 (1949)	一宮市立玉堂記念木曾川図書館
14	川合玉堂	写生帖	昭和 30 年 (1955) 頃	一宮市立玉堂記念木曾川図書館
15	橋本雅邦	林間残照図	明治 36 年 (1903)	駿府博物館

平成 26 年度

特別展 北原白秋と「雀のお宿」

同時開催 川合玉堂展

会期 平成 26 年 10 月 15 日 (木) ~ 11 月 12 日 (水)

主催 一宮市・一宮市教育委員会

会場 玉堂記念展示室、一般展示室

印刷物 リーフレット (A4) 3,000 枚

観覧料 無料

開催日数 29 日間

現在の北方町宝江・木曾川町里小牧の木曾川畔にあった病児教育施設「雀のお宿」は、大正 10 年、大和町宮地花池出身の野田素峰 (1892-1947) によって創設された。まだ、特別支援教育が一般的ではなかった時代、その革新的な試みを支援したのは、北原白秋や野口雨情といった文化人たちであった。本展では、野田素峰の遺族や里小牧の雀のお宿研究会の協力の元、「雀のお宿」関連資料や写真パネルなどでその概要を紹介した。また、同時に、俳句や和歌に親しんだ川合玉堂の所蔵品展も開催した。

## 出品目録

### 一般展示室

No.	資料名	数量	時代	所蔵
1	北原白秋自筆原稿「童ヶ丘の事業に就いて」	5 枚	昭和 9 年 (1934)	個人蔵
2	良寛像 野田素峰旧蔵	1 体		個人蔵
3	良寛さまお供米袋	2 枚		個人蔵
4	「雀のお宿」印章 箱入り	17 点		個人蔵
5	「雀のお宿」支援者芳名録	5 冊		個人蔵
6	「円相」松岡寛慶筆	1 幅		一宮市博物館
7	「三界唯一心」松岡寛慶筆	1 幅		一宮市博物館
8	『一宮名勝図絵』『木曾川風景』名取春仙画	1 点		一宮市博物館
9	《雪に雀》名取春仙筆	1 幅		個人蔵
10	色紙 柳原白蓮筆	1 枚		個人蔵
11	色紙 阪本牙城筆	4 枚		個人蔵
12	「雀のお宿」パンフレット (写真パネル)	1 枚	昭和 3 年 (1888)	個人蔵
13	「雀のお宿」パンフレット (写真パネル)	1 枚	昭和 15 年 (1939)	個人蔵
14	「雀のお宿」写真パネル	15 枚		

### 玉堂記念展示室

1	白礪 (習作)	昭和 5 年 (1930)	2	鶺鴒	昭和 29 年 (1954)
3	長閑	昭和 15 年 (1940) 頃	4	草紅葉	昭和 26 年 (1951)
5	背戸の秋	昭和 30 年 (1955)	6	炉端 吉右衛門合作	昭和 24 年 (1949) 頃
7	ふきのと (画賛)	大正頃	8	泉 (画賛)	昭和 30 年 (1955) 頃
9	早春 (画賛)	昭和 24 年 (1949) 頃			

作品名、時代 (すべて川合玉堂作、一宮市立玉堂記念木曾川図書館蔵)

玉堂記念木曾川図書館 特別展  
北原白秋と  
「雀のお宿」  
世原白秋  
「雀のお宿」  
わづらのある宿

大正から昭和初期にかけて、まだ特別支援教育が一般的ではなかった時代、木曾川畔に営まれた病児教育施設「雀のお宿」設立者・野田素峰と詩人・北原白秋の交流を中心に、地域に眠る歴史を紹介する特別展です。

野田素峰 (昭和 9 年) と北原白秋 (昭和 3 年) 昭和 11 年 北原白秋自筆原稿「童ヶ丘の事業に就いて」 (部分) 昭和 9 年 すべて個人蔵

10月15日(木) → 入館無料  
11月12日(水)

●開館時間 午前 10 時～午後 6 時  
●休館日 10 月 20 日 (月)・27 日 (月)・11 月 4 日 (火)・10 日 (月)  
●学芸員による展示解説 各回午後 2 時より 申込不要  
10 月 15 日 (水)・22 日 (水)・29 日 (水)・11 月 5 日 (水)・12 日 (水)

一宮市立玉堂記念木曾川図書館  
〒463-0017 愛知県一宮市宝江 1-1-1 木曾川町里小牧  
TEL.0566-84-2346 FAX.0566-85-0480

川合玉堂展  
同時開催  
川合玉堂 (昭和 10 年) 所蔵

## 4 教育普及

### (1) 古文書講座

ひろく郷土一宮の歴史に対する理解を広める一環として、平成4年度から古文書講座を開講している。本講座では、一宮市博物館に保管されている市内の近世文書をテキストに使用し、古文書の読解力を養うとともに、江戸時代の民衆生活に関する研究の進展に寄与することを目的とする。

講師 小川 一朗（一宮市文化財保護審議会委員）  
会場 博物館講座室・妙興寺公民館  
開講日 毎月第2土曜日午後2時より。5月～2月の全10回。  
対象 市内在住・在勤の16歳以上。  
定員 42名。3か年の修了で修了証を授与。  
受講料 テキスト代1,000円。

#### 平成25年度

テキスト 一宮村「浅井家文書」  
受講者 1回生17人、2回生8人、3回生14人

#### 日程

第1講	5月11日	博物館講座室	開講式・オリエンテーション「一宮村庄屋浅井家の由緒と勤功(1)」
第2講	6月8日	博物館講座室	「一宮村庄屋浅井家の由緒と勤功(2)」
第3講	7月13日	博物館講座室	「綿作凶作に付検見願」
第4講	8月10日	妙興寺公民館	「村方百姓一統連々困窮に付御救いの願」
第5講	9月14日	妙興寺公民館	「商人宿跡式相続願」、「御鮎継立延着一件」
第6講	10月12日	妙興寺公民館	「地藏寺附地紛争一件(1)」
第7講	11月9日	妙興寺公民館	「地藏寺附地紛争一件(2)」
第8講	12月14日	妙興寺公民館	「金談出入一件(1)」
第9講	1月11日	博物館講座室	「金談出入一件(2)」
第10講	2月8日	博物館講座室	まとめ

#### 平成26年度

テキスト 玉ノ井村「墨家文書」のうち「記録」  
受講者 1回生18人、2回生10人、3回生6人

#### 日程

第1回	5月10日	妙興寺公民館	開講式・オリエンテーション、①「天保2年卯4月22日木曾川河畔の旋風」
第2回	6月14日	妙興寺公民館	②「天保3年石塔磨きの風説」
第3回	7月12日	妙興寺公民館	③「天保2年卯11月中島郡朝宮村兼帯庄屋を命じられる」 ④「天保2年卯中島郡苅安賀新田兼帯庄屋を命じられる」 ⑤「天保3年辰9月中島郡奥村西宝寺争論熟済みにつき寺社方より金一封」 ⑥「天保3年辰9月奥村百姓跡式出入和塾につき勘定方より金一封」 ⑦「天保4年12月御用向き精出につき北方陣屋より褒賞金」
第4回	8月9日	妙興寺公民館	⑧「天保4年近来稀成凶作につき世上とかく騒がしき」 ⑨「天保5年窮民へ施物につき褒美」
第5回	9月13日	妙興寺公民館	⑩「天保7年申3月濃州羽栗郡柳津村兼帯庄屋を命じられる」 ⑪「天保9年中島郡馬引村庄屋後見役を命じられる」
第6回	10月11日	妙興寺公民館	⑫「天保9年北方陣屋百姓願達場修繕」 ⑬「天保11年子正月名披露御目見仰せ付けられる」
第7回	11月8日	妙興寺公民館	⑭「天保11年2月徳川斉荘初入国につきお出迎え初入国の藩主斉荘に御目見」
第8回	12月13日	妙興寺公民館	⑮「天保13年仙右衛門方の門扉につき頭百姓と平百姓争論」
第9回	1月10日	博物館講座室	⑯「天保14年9月藩主徳川斉荘岐阜御成」
第10回	2月14日	博物館講座室	⑰「弘化3年3年頭御目見・宗門自分一札・苗字帯刀継目の家に仰せ付け」

## (2) 博物館キッズクラブ

市内の小学校4年生～6年生を主な対象として、博物館の豊富な資料やネットワークを活用し、さまざまな体験講座を通して、郷土の歴史について学ぶとともに、自主的な思考力・判断力・表現力を培うことを目的として実施した。この活動により、将来の博物館活動支援が可能となる次世代を継続的に育てることも副次的な目標である。平成18年度からの継続事業。

平成25年度

受講者 小学生11人、中学生・高校生13人

講座内容

第1回「一宮市名誉市民 市川房枝を知ろう！」

日時 平成25年6月23日(日) 午前10時～11時30分

会場 一宮市尾西歴史民俗資料館

講師 神田 年浩(当館学芸員)

第2回「木曾川の源流を体感しよう！」

日時 平成25年9月23日(月・祝) 午前8時～午後6時

会場 長野県木曾郡木祖村 水木沢天然林・木祖村郷土資料館・木工文化センター

第3回「馬見塚遺跡調査からみた発掘技術の進歩と縄文・弥生時代」

日時 平成25年10月19日(土) 午前10時～11時30分

会場 博物館学習室および特別展会場

講師 松本 彩(当館学芸員)

第4回「木曾川の生物を知ろう！」

日時 平成25年12月1日(日) 午前10時～11時30分

会場 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ

平成26年度

受講者 小学生7人、中学生・高校生8人

講座内容

第1回「日本の絵をたのしむ」

日時 平成26年6月22日(日) 午後2時～3時30分

会場 一宮市立玉堂記念木曾川図書館 視聴覚室・玉堂記念展示室

講師 成河 端子(当館学芸員)

第2回「新聞の作り方を調べよう！」

日時 平成26年7月23日(水) 午前10時～12時

会場 朝日新聞社名古屋本社

第3回「吉良で塩づくり体験！」

日時 平成26年9月6日(土) 午前9時～午後5時

会場 西尾市吉良歴史民俗資料館・金蓮寺

第4回「ほとけさまのファッション」

日時 平成26年11月15日(土) 午後2時～3時30分

会場 博物館たいけんの森および特別展会場

講師 成河 端子(当館学芸員)

### (3) 講演会

平成 25 年度

企画展「近代の洋装と毛織物」関連催事

「日本の洋装化」

講師 百々 徹（神戸ファッション美術館 学芸員）  
日時 平成 25 年 5 月 5 日（日・祝） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 21 人

企画展「阿弥陀信仰と木曾川流域」関連催事

「阿弥陀信仰の展開」

講師 安藤 弥（同朋大学文学部 准教授）  
日時 平成 25 年 6 月 23 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 83 人

「一宮の浄土真宗の展開」

講師 小島 恵昭（同朋大学仏教文化研究所 所長）  
日時 平成 25 年 7 月 7 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 90 人

「愛知の仏教美術」

講師 熊田 由美子（愛知県立芸術大学 教授／愛知県文化財保護審議会 委員）  
日時 平成 25 年 7 月 15 日（月・祝） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 63 人

「絵解き 善光寺如来絵伝」

講師 林 麻子（善光寺東別院）  
日時 平成 25 年 7 月 21 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 96 人

特別展「縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代」関連催事

「馬見塚遺跡から広がった話～濃尾地震と島畑」

講師 能登 健（群馬大学 講師）  
日時 平成 25 年 10 月 20 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 妙興寺公民館  
聴講者 28 人

「馬見塚遺跡H地点の発掘調査～農耕のはじまりを求めて」

講師 設楽 博己（東京大学大学院人文社会系研究科 教授）  
日時 平成 25 年 11 月 3 日（日・祝） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 妙興寺公民館  
聴講者 53 人

考古学シンポジウム「尾張低地の縄文時代～馬見塚遺跡とその周辺～」

共催 考古学フォーラム  
日時 平成 25 年 11 月 16 日（土）午後 1 時 30 分～4 時 30 分  
平成 25 年 11 月 17 日（日）午前 9 時 30 分～午後 3 時  
会場 妙興寺公民館  
聴講者 16 日：93 人、17 日：65 人

「川合玉堂生誕 140 周年記念特別展 ふるさとの風景」関連催事

記念講演会「川合玉堂の風景画の展開」

講師 吉田 俊英（豊田市美術館館長）  
日時 平成 25 年 11 月 13 日（水）午後 2 時～3 時 30 分  
会場 一宮市立玉堂記念木曾川図書館 2 階 視聴覚室  
聴講者 83 人

尾張平野を語る 18「仁王胴具足の謎に迫る」

一宮市の位置する濃尾平野―特に尾張平野の歴史や文化、自然環境について考えることを目的に、各分野の専門研究者を招いて連続講演会を行うもので、平成 8 年度からの継続事業である。

平成 25 年度は、一宮市木曾川町黒田・大畑町内会に伝わる仁王胴具足を取り上げた。一宮市博物館では、平成 25 年度から東京文化財研究所との共同研究として、仁王胴具足について調査・研究を行った。また、その研究成果を元に、常設展示リニューアルの一環として、仁王胴具足の復元することになった。今回の連続講演会では、東京文化財研究所との共同研究による成果のうち、特に化学分析を中心とした研究結果を元に、製法や製作年代を考察した。

「仁王胴具足の構造調査から見えてくるもの～桃山文化期の技術革新～」

講師 北野 信彦（東京文化財研究所保存修復科学センター伝統技術研究室 室長）  
犬塚 将英（東京文化財研究所保存修復科学センター 主任研究員）  
日時 平成 26 年 2 月 2 日（日）午後 1 時 30 分～3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 48 人

「文化財染織品の化学分析から分かること～仁王胴具足を含む種々の染織品を例にして～」

講師 佐々木 良子（京都工芸繊維大学美術工芸資料館 研究員）  
日時 平成 26 年 2 月 9 日（日）午後 1 時 30 分～3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 41 人

「甲冑史からみた仁王胴具足」

講師 池田 宏（東京国立博物館学芸研究部付日本工芸研究担当 上席研究員）  
日時 平成 26 年 2 月 16 日（日）午後 1 時 30 分～3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 57 人

「戦国時代の変わり兜と仁王胴具足の製作背景」

講師 小池 富雄（鶴見大学文学部文化財学科 教授）  
日時 平成 26 年 2 月 23 日（日）午後 1 時 30 分～3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 57 人

「桃山時代の仁王胴具足を復元する」

講師 寺本 靖（寺本文化財工芸社 甲冑師）  
日時 平成 26 年 3 月 2 日（日）午後 1 時 30 分～3 時  
会場 博物館講座室  
聴講者 44 人

平成 26 年度

特別展「妙興寺展」関連催事

特別講演「妙興寺の今昔」

講師 稲垣 宗久（妙興寺 住職）  
日時 平成 26 年 10 月 19 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 妙興寺客殿  
聴講者 120 人

「妙興寺の仏像・肖像彫刻をめぐる」

講師 山岸 公基（奈良教育大学 教授）  
日時 平成 26 年 11 月 9 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 妙興寺公民館  
聴講者 70 人

「妙興寺の絵画について」

講師 伊藤 大輔（名古屋大学大学院 教授）  
日時 11 月 16 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 妙興寺公民館  
聴講者 46 人

尾張平野を語る 19 「歴史的建造物の保存と活用・再生」

平成 26 年度は、一宮市にもいくつか残る歴史的建造物を取り上げ、建造物の専門研究者による各分野の諸問題についての講演を行い、今後の保存や活用を市民とともに考える機会とした。

「建造物とインテリアデザイン」

講師 内井 乃生（文化学園大学 名誉教授）  
日時 平成 27 年 2 月 15 日（日）  
会場 博物館講座室  
聴講者 37 人

「文化財建造物の価値と改修」

講師 富永 善啓（㈱文化財構造計画 代表取締役）  
日時 平成 27 年 2 月 22 日（日）  
会場 博物館講座室  
聴講者 26 人

「歴史的建造物の保存と再生」

講師 是澤 紀子（名古屋工業大学大学院 准教授）  
日時 平成 27 年 3 月 1 日（日）  
会場 博物館講座室  
聴講者 36 人

## (4) 体験講座

平成 25 年度

企画展「近代の洋装と毛織物」関連催事

「社交ダンスで文明開化♪」

講師 山崎 雅則（財団法人 J B D F 中部総局プロラテン A 級）  
日時 平成 25 年 5 月 19 日（日） 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分  
会場 博物館講座室  
対象 子どもから大人まで、中学生以下は保護者同伴、定員 20 名（事前申し込み）  
参加費 無料（別途観覧料が必要）  
参加者 4 人

夏休み子ども展示「わたしたちのまち一宮～自然編～」関連催事

自然観察会「妙興寺の森たんけん！」

講師 近藤 修（一宮市文化財保護審議会 委員）  
日時 平成 25 年 8 月 9 日（金）・18 日（日）・23 日（金） 各回午前 10 時～12 時  
会場 妙興寺境内地  
対象 小学生とその保護者  
参加費 無料  
参加者 9 日：20 人、18 日：19 人、23 日：5 人

「挑戦！自由研究の“タネ”～自然編～」

講師 近藤 修（一宮市文化財保護審議会 委員）  
日時 平成 25 年 8 月 11 日（日）・25 日（日） 午前の部：午前 10 時～12 時 午後の部：午後 1 時～3 時  
会場 博物館学習室  
対象 小学生とその保護者  
参加費 無料  
参加者 11 日：43 人、25 日：15 人

特別展「縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代」関連催事

「縄文のアクセサリー・勾玉をつくろう！」

日時 平成 25 年 10 月 26 日（土） 午前 10 時～正午、午後 1 時～3 時  
会場 博物館学習室  
参加費 材料費 200 円（別途観覧料が必要）  
定員 なし（当日受付）  
参加者 47 人

「アンギン編みでコースターをつくろう！」

日時 平成 25 年 11 月 9 日（土） 午前 10 時～正午、午後 1 時～3 時  
会場 博物館学習室  
参加費 材料費 200 円（別途観覧料が必要）  
定員 なし（当日受付）  
参加者 13 人

企画展「暮らしの中の民具～観察する～」関連催事

くらし体験講座「おりとあみのひみつ」(アンギン編み)

日時 平成26年1月12日(日) 午後1時30分～3時  
会場 博物館講座室  
対象 小中学生とその保護者  
参加費 材料費200円(別途観覧料が必要)  
参加者 22人

くらし体験講座「うすのいろいろ」(もちつき)

日時 平成26年1月19日(日) 午後1時30分～3時  
会場 博物館中庭  
対象 小中学生とその保護者  
参加費 無料(別途観覧料が必要)  
参加者数 37人

くらし体験講座「大根切干のつくりかた」

日時 平成26年1月26日(日) 午後1時30分～3時  
会場 博物館講座室、中庭  
対象 小中学生とその保護者  
参加費 無料(別途観覧料が必要)  
参加者 34人

平成 26 年度

特別展「妙興寺展」関連催事

「妙興寺で禅体験！」

指導 中山 義法（妙興寺知客寮）  
日時 平成 26 年 10 月 26 日（日） 午後 1 時 30 分～ 4 時  
会場 博物館および妙興寺  
対象 小中学生とその保護者、定員 10 組（事前申し込み）  
参加費 無料（別途観覧料が必要）  
参加者 6 組 15 人

「妙興寺の森で遊ぼう！」

講師 近藤 修（一宮市文化財保護審議会 委員）  
日時 平成 26 年 11 月 2 日（日） 午後 1 時 30 分～ 4 時  
会場 博物館および妙興寺境内地  
参加費 無料（別途観覧料が必要）  
参加者 31 人

企画展「暮らしの中の民具 “ちえ”と“くふう”」関連催事

くらし体験講座「もちつき大会」

日時 平成 27 年 1 月 18 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 博物館中庭  
参加費 無料（別途観覧料が必要）  
参加者 120 人

くらし体験講座「民族衣装でファッションショー！」

日時 平成 27 年 1 月 25 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 博物館講座室  
参加費 無料（別途観覧料が必要）  
参加者 23 人

くらし体験講座「むかしのおやつ・せんばやき」

日時 平成 27 年 2 月 11 日（水・祝） 午後 1 時 30 分～ 3 時  
会場 博物館中庭  
参加費 無料（別途観覧料が必要）  
参加者 161 人

## (5) 展示解説

平成 25 年度

企画展「近代の洋装と毛織物」関連催事

日時 平成 25 年 5 月 1 日 (水)・8 日 (水)・11 日 (土)・15 日 (水)・22 日 (水)・25 日 (土)・29 日 (水)、  
6 月 1 日 (土) 各回午後 1 時 30 分～

担当者 成河 端子 (当館学芸員)

参加者 のべ 130 人 (平均 16.2 人 / 1 回)

企画展「阿弥陀信仰と木曾川流域」関連催事

日時 平成 25 年 6 月 29 日 (土)、7 月 11 日 (木)・27 日 (土) 各回午後 1 時 30 分～

担当者 石黒 智教 (当館学芸員)

参加者 6 月 29 日 : 31 人、7 月 11 日 : 28 人、27 日 : 34 人

特別展「縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代」関連催事

日時 平成 25 年 10 月 19 日 (土)、11 月 10 日 (日) 各回午後 1 時 30 分～

担当者 松本 彩 (当館学芸員)

参加者 10 月 19 日 : 13 人、11 月 10 日 : 25 人

平成 26 年度

「川合玉堂生誕 140 周年記念特別展 ふるさとの風景」関連催事

日時 平成 25 年 10 月 12 日 (土)・16 日 (水)・19 日 (土)・23 日 (水)・27 日 (日)・30 日 (水)、  
11 月 2 日 (土)・6 日 (水)・10 日 (日) 各回午後 2 時～

担当者 成河 端子 (当館学芸員)

参加者 のべ 193 人 (平均 21.4 人 / 1 回)

特別展「妙興寺展」関連催事

日時 平成 26 年 10 月 25 日 (土)・31 日 (金)、11 月 3 日 (月・祝)・7 日 (金)・15 日 (土) 各回午後 1 時 30 分～

担当者 石黒 智教・成河 端子 (当館学芸員)

参加者 のべ 192 人 (平均 38.4 人 / 1 回)

特別展「北原白秋と『雀のお宿』」関連催事

日時 平成 26 年 10 月 15 日 (水)・22 日 (水)・29 日 (水)、11 月 5 日 (水)・12 日 (水) 各回午後 2 時～

担当者 成河 端子 (当館学芸員)

参加者 のべ 46 人 (平均 9.2 人 / 1 回)

企画展「暮らしの中の民具」市内小学校向け解説

平成 25 年度（平成 26 年）

平成 26 年度（平成 27 年）

月日	時間	学校名	児童数	教員数	月日	時間	学校名	児童数	教員数
1月15日(水)	午前	浅野小学校	88人	6人	1月14日(水)	午前	浅野小学校	85人	4人
1月16日(木)	午前	奥小学校	156人	4人	1月15日(木)	午前	起小学校	73人	6人
1月17日(金)	午前	葉栗小学校	106人	5人	1月16日(金)	午前	黒田小学校	90人	4人
1月17日(金)	午後	丹陽小学校	73人	4人	1月16日(金)	午後	富士小学校	94人	4人
1月21日(火)	午前	浅井南小学校	79人	4人	1月20日(火)	午前	瀬部小学校	90人	3人
1月21日(火)	午後	西成小学校	53人	3人	1月20日(火)	午後	末広小学校	80人	4人
1月22日(水)	午前	中島小学校	64人	4人	1月21日(水)	午前	千秋小学校	66人	4人
1月22日(水)	午後	神山小学校	178人	7人	1月21日(水)	午後	赤見小学校	48人	3人
1月23日(木)	午前	木曾川西小学校	140人	4人	1月22日(木)	午前	木曾川東小学校	90人	6人
1月24日(金)	午前	葉栗北小学校	81人	3人	1月23日(金)	午前	朝日西小学校	25人	2人
1月24日(金)	午後	千秋南小学校	57人	4人	1月23日(金)	午後	大和西小学校	71人	3人
1月28日(火)	午前	西成東小学校	72人	4人	1月27日(火)	午前	浅井中小学校	68人	3人
1月28日(火)	午後	萩原小学校	84人	5人	1月27日(火)	午後	今伊勢西小学校	150人	6人
1月29日(水)	午前	小信中島小学校	107人	4人	1月28日(水)	午前	三条小学校	115人	6人
1月29日(水)	午後	宮西小学校	122人	6人	1月28日(水)	午後	丹陽西小学校	132人	5人
1月30日(木)	午前	大徳小学校	67人	3人	1月30日(金)	午前	葉栗小学校	94人	4人
1月31日(金)	午前	北方小学校	77人	4人	1月30日(金)	午後	丹陽小学校	76人	4人
1月31日(金)	午後	千秋小学校	56人	4人	2月3日(火)	午後	大志小学校	40人	3人
2月4日(火)	午前	大和東小学校	61人	4人	2月4日(水)	午前	浅井南小学校	60人	5人
2月4日(火)	午後	富士小学校	93人	5人	2月5日(木)	午前	西成東小学校	59人	3人
2月5日(水)	午前	丹陽南小学校	83人	4人	2月6日(金)	午前	今伊勢小学校	65人	3人
2月5日(水)	午後	向山小学校	103人	4人	2月6日(金)	午後	貴船小学校	115人	5人
2月6日(木)	午前	浅井北小学校	54人	4人	2月10日(火)	午前	大和南小学校	55人	3人
2月7日(金)	午前	黒田小学校	114人	4人	2月10日(火)	午後	西成小学校	40人	4人
2月7日(金)	午後	大志小学校	41人	4人	2月13日(金)	午前	小信中島小学校	106人	4人
2月13日(木)	午前	開明小学校	84人	3人	2月13日(金)	午後	神山小学校	167人	8人
2月14日(金)	午前	千秋東小学校	44人	3人	2月17日(火)	午前	大徳小学校	72人	4人
2月14日(金)	午後	末広小学校	71人	4人	2月17日(火)	午後	萩原小学校	89人	4人
2月18日(火)	午前	起小学校	81人	4人	2月18日(水)	午前	中島小学校	49人	4人
2月18日(火)	午後	大和西小学校	93人	4人	2月18日(水)	午後	奥小学校	145人	6人
2月19日(水)	午前	今伊勢小学校	155人	5人	2月19日(木)	午前	葉栗北小学校	78人	3人
2月19日(水)	午後	赤見小学校	50人	3人	2月20日(金)	午前	大和東小学校	110人	4人
2月20日(木)	午前	大和南小学校	45人	5人	2月20日(金)	午後	千秋南小学校	62人	3人
2月21日(金)	午前	貴船小学校	114人	5人	2月24日(火)	午前	丹陽南小学校	91人	5人
2月21日(金)	午後	今伊勢西小学校	61人	3人	2月24日(火)	午後	向山小学校	89人	4人
2月25日(火)	午前	瀬部小学校	89人	5人	2月25日(水)	午前	北方小学校	84人	4人
2月26日(水)	午前	三条小学校	151人	5人	2月25日(水)	午後	宮西小学校	100人	5人
2月27日(木)	午前	朝日西小学校	34人	2人	2月26日(木)	午前	開明小学校	71人	3人
2月28日(金)	午前	浅井中小学校	79人	2人	2月27日(金)	午前	浅井北小学校	46人	3人
3月4日(火)	午前	木曾川東小学校	89人	3人	3月3日(火)	午前	千秋東小学校	42人	3人
3月5日(水)	午前	朝日東小学校	62人	5人	3月4日(水)	午前	朝日東小学校	61人	3人
3月5日(水)	午後	丹陽西小学校	142人	5人	3月4日(水)	午後	木曾川西小学校	129人	5人

団体向け解説

平成 25 年度

年月日	聴講者数	申し込み団体
平成 25 年 4 月 25 日 (木)	21 人	北方長寿会
平成 25 年 5 月 8 日 (水)	15 人	NHK 文化教室名古屋
平成 25 年 5 月 14 日 (火)	46 人	名古屋デザイナー学院
平成 25 年 5 月 31 日 (金)	30 人	修文大学短期大学部
平成 25 年 6 月 27 日 (木)	23 人	垂井町宮代公民館
平成 25 年 6 月 27 日 (木)	13 人	大府市立森岡公民館
平成 25 年 7 月 11 日 (木)	20 人	愛西市川淵コミュニティ
平成 25 年 7 月 12 日 (金)	25 人	一宮円空会
平成 25 年 7 月 30 日 (火)	42 人	中学校新任教員研修 (学校教育課)
平成 25 年 7 月 31 日 (水)	64 人	小学校新任教員研修 (学校教育課)
平成 25 年 10 月 4 日 (金)	57 人	稲沢市立千代田小学校 3 年生
平成 25 年 10 月 23 日 (水)	26 人	稲沢市立長岡小学校 3 年生
平成 25 年 10 月 24 日 (木)	32 人	稲沢市大里地区民生・児童委員協議会
平成 25 年 10 月 29 日 (火)	20 人	愛知県立一宮聾学校
平成 25 年 11 月 14 日 (木)	23 人	一宮ロータリークラブ
平成 25 年 11 月 20 日 (水)	20 人	一宮市民生・児童委員高齢者・障害者福祉部会
平成 26 年 1 月 15 日 (水)	56 人	稲沢市立稲沢北小学校 3 年生
平成 26 年 2 月 21 日 (金)	29 人	一宮市貴船連区資源回収推進協議会

平成 26 年度

年月日	聴講者数	申し込み団体
平成 26 年 10 月 19 日 (日)	9 人	愛知歴史談話会
平成 26 年 10 月 23 日 (木)	2 人	犬山市立城東中学校
平成 26 年 10 月 23 日 (木)	8 人	半田市文化財専門委員会
平成 26 年 10 月 25 日 (土)	43 人	岐阜西教区第 11 部第 1 ブロック花園会
平成 26 年 10 月 26 日 (日)	17 人	生命学園日曜学校
平成 26 年 10 月 29 日 (水)	20 人	稲沢市立長岡小学校 3 年生
平成 26 年 10 月 31 日 (金)	29 人	地理歴史部会
平成 26 年 11 月 11 日 (火)	35 人	一宮防犯協会貴船支部
平成 26 年 11 月 11 日 (火)	6 人	三菱電機(株)稲沢製作所
平成 26 年 11 月 14 日 (金)	8 人	東郷町文化財保護審議会
平成 26 年 11 月 15 日 (土)	15 人	あじさい会
平成 26 年 12 月 10 日 (水)	14 人	愛西市文化協会八開地区歌謡クラブ・習字クラブ
平成 26 年 12 月 16 日 (火)	118 人	一宮市立大和東小学校 3 年生
平成 27 年 1 月 14 日 (水)	47 人	稲沢市立稲沢北小学校 3 年生
平成 27 年 1 月 16 日 (金)	13 人	新日本婦人の会歴史散歩サークル
平成 27 年 1 月 18 日 (日)	19 人	朝日旅行
平成 27 年 1 月 22 日 (木)	27 人	西町こがね会
平成 27 年 2 月 1 日 (日)	12 人	この会
平成 27 年 3 月 24 日 (火)	31 人	西尾市岩瀬文庫ボランティア

## (6) たいけんの森

平成 26 年度常設展示リニューアルにより設置。

ミニ凧づくり

実施時期 平成 27 年 1 月 10 日～ 3 月 31 日 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

はたおり・糸つむぎ体験

実施時期 毎週土・日曜日 午前 10 時～ 11 時 30 分、午後 1 時 30 分～午後 3 時

協力 尾張もめん伝承会ボランティアのみなさん

参加者数

年月日	ミニ凧づくり	はたおり・糸つむぎ体験
平成 27 年 1 月 10 日 (土)	19	10
平成 27 年 1 月 11 日 (土)	26	25
平成 27 年 1 月 12 日 (月・祝)	31	
平成 27 年 1 月 17 日 (土)	18	20
平成 27 年 1 月 18 日 (日)	80	38
平成 27 年 1 月 24 日 (土)	16	13
平成 27 年 1 月 25 日 (日)	47	21
平成 27 年 1 月 31 日 (土)	49	36
平成 27 年 2 月 1 日 (日)	38	30
平成 27 年 2 月 4 日 (水)	1	
平成 27 年 2 月 7 日 (土)	25	26
平成 27 年 2 月 8 日 (日)	65	25
平成 27 年 2 月 11 日 (水・祝)	101	
平成 27 年 2 月 14 日 (土)	19	22
平成 27 年 2 月 15 日 (日)	37	19
平成 27 年 2 月 21 日 (土)	26	10
平成 27 年 2 月 22 日 (日)	39	39
平成 27 年 2 月 26 日 (木)	6	
平成 27 年 2 月 28 日 (土)	41	28
平成 27 年 3 月 1 日 (日)	29	36
平成 27 年 3 月 3 日 (火)	3	
平成 27 年 3 月 7 日 (土)	17	19
平成 27 年 3 月 8 日 (日)	35	31
平成 27 年 3 月 14 日 (土)	12	16
平成 27 年 3 月 15 日 (日)	35	31
平成 27 年 3 月 21 日 (土・祝)	8	10
平成 27 年 3 月 22 日 (日)	12	10
平成 27 年 3 月 28 日 (土)	8	14
平成 27 年 3 月 29 日 (日)	2	8
合計	822	511

## (7) 生涯学習出前講座

平成 25・26 年度

日時	聴講者数	開催場所／申込団体	講師
<b>遺跡から見たあなたのまちの歴史</b>			
平成 25 年 4 月 11 日 (木)	69	一宮商工会議所／一宮北ロータリークラブ	松本彩
平成 25 年 4 月 25 日 (木)	65	一宮市浅井町 (浅井古墳群) / 浅井南小学校	松本彩
平成 25 年 7 月 8 日 (月)	14	赤見小学校 / 赤見チャレンジ探検隊	松本彩
平成 25 年 11 月 21 日 (木)	10	文光堂 / 一宮歴史民俗研究会	松本彩
平成 25 年 12 月 9 日 (月)	100	尾西南部生涯学習センター / 朝日支部	松本彩
平成 26 年 3 月 9 日 (日)	50	馬見塚いこいの家 / 馬見塚老壮会	松本彩
平成 26 年 3 月 15 日 (土)	15	ファッションデザインセンター / 尾張一宮観光ガイドボランティア	松本彩
平成 26 年 4 月 14 日 (月)	40	一宮市浅井町 (浅井古墳群) / ケアハウスユーハウスいわと	松本彩
平成 26 年 4 月 24 日 (木)	72	一宮市浅井町 (浅井古墳群) / 浅井南小学校	松本彩
平成 26 年 5 月 11 日 (日)	19	馬見塚いこいの家 / 馬見塚子ども会	松本彩
平成 26 年 9 月 22 日 (月)	149	浅井町公民館 / 浅井支部	松本彩
平成 26 年 10 月 7 日 (火)	74	丹羽公民館 / 西成連区町会長協議会	松本彩
平成 26 年 10 月 30 日 (木)	58	向山公民館 / 向山連区	松本彩
平成 26 年 11 月 13 日 (木)	84	尾西庁舎 / 大徳支部	松本彩
平成 27 年 1 月 30 日 (金)	28	商工会議所 / 一宮北ロータリークラブ	松本彩
平成 27 年 2 月 26 日 (木)	90	一宮警察署 / 同	松本彩
平成 27 年 1 月 22 日 (木)	28	ケアハウス ユーハウスいわと / 同	藤井雅大
<b>あなたのまちの江戸時代</b>			
平成 25 年 5 月 17 日 (金)	40	馬引公民館 / 馬引老人クラブ 明友会	石黒智教
平成 25 年 7 月 27 日 (土)	45	大日靈社 / 大日町内会	石黒智教
平成 25 年 8 月 22 日 (木)	85	尾西庁舎 / 大徳支部	石黒智教
平成 25 年 9 月 6 日 (金)	127	東時之島公民館 / 瀬部校区	石黒智教
平成 25 年 10 月 9 日 (水)	8	喫茶 47 / しろうと会	石黒智教
平成 25 年 10 月 15 日 (火)	22	大志公民館 / 同	石黒智教
平成 26 年 3 月 17 日 (月)	47	西成公民館 / 赤見校下長寿会	石黒智教
平成 26 年 8 月 23 日 (土)	98	真清田神社参集殿 / 大志連区児童育成協議会 (大志子ども会)	石黒智教
平成 26 年 9 月 4 日 (木)	50	奥公民館 / 奥公民館成人高齢者学習事業	伊藤和彦
平成 26 年 9 月 8 日 (月)	40	向山公民館 / 向山公民館成人高齢者学習事業	神田年浩
平成 26 年 10 月 21 日 (火)	98	萩原公民館 / 萩原支部	石黒智教
平成 26 年 10 月 23 日 (木)	70	浅野・野口公民館 / 西成連区浅野校区長	石黒智教
平成 26 年 11 月 7 日 (金)	69	木曾川体育館 / 木曾川町支部	石黒智教
平成 26 年 11 月 29 日 (土)	15	石原枝好園 / 中小路発展会 (親睦会)	石黒智教
<b>川合玉堂の作品と生涯 (平成 26 年度新設)</b>			
平成 26 年 7 月 24 日 (木)	9	エムズシティ一宮 / エムズシティ一宮大志会	成河端子
平成 26 年 10 月 20 日 (月)	60	一宮市立中央図書館 / (株) 図書館流通センター	成河端子
平成 26 年 11 月 28 日 (金)	38	一宮商工会議所 / 一宮北ロータリークラブ	成河端子

## (8) 小学校 6 年生対象

### 博物館学芸員による歴史の授業～モノが語る人々の歴史～

常設展示リニューアルのため、平成 25 年度より休止。

## (9) 博物館実習

平成 25 年度

期間 7 月 4 日～8 月（6～7 日間） 参加者 4 大学 5 人（民俗 2 人、歴史・美術工芸 3 人）

内容 考古・民俗・歴史の 3 分野に分かれ、受付・資料整理・普及活動などを実習。

平成 26 年度

常設展示リニューアルのため実施せず。

## (10) インターンシップ

平成 25 年度

期間 8 月 20 日～8 月 25 日（6 日間） 参加者 2 大学 2 人

内容 博物館業務全般を実習。

平成 26 年度

常設展示リニューアルのため実施せず。

## (11) 中学生職場体験学習

平成 25 年度

期間 7 月・8 月・10 月・11 月（のべ 7 日間） 参加者 5 校 10 人

内容 受付・監視、資料の整理や催事の補助などを体験。

平成 26 年度

常設展示リニューアルのため実施せず。

## (12) 一宮市博物館収蔵品管理システム

平成 12 年度より、一宮市博物館が収蔵する資料を考古・民俗・歴史・美術工芸・行政文書の 5 分野に分け、画像とともにデータベース化している。平成 21 年度よりシステムを再構築し、一宮市尾西歴史民俗資料館のデータベースと一元化した。

また、平成 26 年 10 月からのリニューアルオープン後は、来館者用の検索システムを一新し、当館のすべての収蔵品をほぼ閲覧できるようにした。従来通り、「一宮の文化財」と祭礼等の映像資料の閲覧も可能である。

### (13) 刊行物

#### 展示図録・解説書等

企画展「近代の洋装と毛織物」解説書	平成25年4月27日発行	4,000部	無料
企画展「阿弥陀信仰と木曾川流域」解説書	平成25年6月15日発行	4,000部	無料
特別展「縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代」図録	平成25年10月12日発行	1,000部	900円
企画展「暮らしの中の民具～観察する～」解説書	平成26年1月11日発行	6,000部	無料
特別展「妙興寺展」図録	平成26年10月17日発行	1,000部	1,500円
企画展「暮らしの中の民具」解説書	平成27年1月9日発行	6,000部	無料

#### 所蔵品目録・調査報告書等

「一宮市博物館年報(13) 平成23・24年度事業報告」	平成26年3月31日発行	600部	無料
「一宮市博物館資料調査報告書1 仁王胴具足調査報告書」	平成26年3月31日発行	1,000部	1,000円
「一宮市博物館所蔵品目録 墨コレクションⅢ 洋装編」	平成26年3月31日発行	500部	1,600円
「一宮市博物館常設展示案内」	平成26年10月17日発行	2,000部	300円
「一宮市立玉堂記念木曾川図書館所蔵 川合玉堂作品目録」	平成26年10月31日発行	500部	1,700円
「一宮市博物館所蔵品目録 墨コレクションⅣ 袋物・裂編」	平成27年3月31日発行	500部	1,200円

#### 博物館だより

No.52	平成25年10月5日発行	2,000部
No.53	平成26年3月31日発行	2,000部
No.54	平成26年10月1日発行	2,000部
No.55	平成27年3月31日発行	2,000部

#### 市内小中学校向け情報紙「こみみ通信」

第74号	平成25年5月1日
第75号	平成25年7月1日
第76号	平成25年9月1日
第77号	平成25年11月1日
第78号	平成26年1月1日
第79号	平成26年4月1日
第80号	平成26年5月1日
第81号	平成26年7月1日
第82号	平成26年9月1日
第83号	平成26年11月1日
第84号	平成27年2月1日

## 5 利用状況

### (1) 資料貸出

平成 25 年度

門間沼遺跡出土赤彩広口壺 1 点、大毛池田遺跡出土緑釉椀 1 点

愛知県陶磁資料館常設展「世界やきものの旅」(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

市川房枝原稿「私の生き方、考え方」(豊田コレクション) 1 点

一宮市歴史民俗資料館「生誕 120 年記念特別展 市川房枝」(平成 25 年 5 月 25 日～7 月 7 日)

鳥形木製品(八王子遺跡) 1 点

弥富市歴史民俗資料館企画展「あいち考古学楽市 2013 いきもの考古楽展」(平成 25 年 7 月 10 日～9 月 8 日)

荻須高德「宮殿(カ・ドーロ)」、藤井外喜雄「ベニスの夕日」

一宮市三岸節子記念美術館特別展「ヴェネチア展」(平成 25 年 10 月 5 日(土)～11 月 24 日)

墨コレクション毛織物資料 26 件

神戸ファッション美術館特別展示『日本の男服—メンズ・ファッションの源泉』(平成 25 年 10 月 11 日～平成 26 年 1 月 7 日)

インドのサリーなど 33 点、中国チャイナドレス 2 点

一宮市立起小学校学習発表会(平成 25 年 11 月 6 日～11 月 10 日)

平成 26 年度

門間沼遺跡出土赤彩広口壺 1 点、大毛池田遺跡出土緑釉椀 1 点

愛知県陶磁資料館常設展「世界やきものの旅」(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

観音菩薩像 円空作 稲沢市板葺町・阿弥陀堂蔵(寄託品)

大黒天像 円空作 個人蔵(寄託品)

展覧会「円空・木喰展」

そごう美術館(平成 27 年 2 月 7 日～3 月 22 日)、山梨県立博物館(3 月 28 日～5 月 18 日)、

松坂屋美術館(6 月 13 日～7 月 12 日)、岡山県立美術館(7 月 17 日～8 月 23 日)

伊藤廉《A.E. 氏の肖像》油彩/カンヴァス 1928 年

碧南市藤井達吉現代美術館企画展「もうひとつの『絵の話』伊藤廉」(平成 26 年 11 月 1 日～平成 27 年 1 月 12 日)

川合玉堂《奔瀑遊猿》絹本彩色軸装 明治 30 年(1897) ※玉堂記念木曾川図書館所蔵

奥田元宋・小由女美術館「開館 10 周年記念 川合玉堂展—日本の自然美を見つめて—」(平成 27 年 4 月 21 日～6 月 7 日)

### (2) 写真等利用許可

平成 25 年度 18 件

平成 26 年度 8 件

### (3) 施設利用

平成 25 年度

日時	期間	施設	申請者	目的
6月1日(土)	1日	和室	おもてなしの会	美術セミナー
6月1日(土)午後	0.5日	講座室	おもてなしの会	美術セミナー
6月23日(日)午後	0.5日	和室	この会	会議
6月29日(土)午前	0.5日	講座室	子ども文化広場図書館	児童文化教室
7月30日(火)午後	0.5日	講座室	学校教育課	新任教員研修
7月31日(水)午後	0.5日	講座室	学校教育課	新任教員研修
8月7日(水)～20日(火)午前	11.5日	特別展示室・講座室	学校教育課	第62回一宮市子ども写生大会作品展
1月12日(日)	1日	和室	水野いくみ	初釜
2月8日(土)午後～2月9日(日)	1.5日	和室	萌木会	研究会
2月15日(土)～2月16日(日)	2日	和室	美を食をすすめる会	日本文化
2月23日(日)	1日	和室	益心会	茶会

平成 26 年度

日時	期間	施設	申請者	目的
1月11日(日)	1日	和室	清真会	茶道
1月24日(土)午後～1月25日(日)	1.5日	和室	萌木会	御茶の会
2月26日(木)午後	0.5日	和室	如月の会	俳句会
3月10日(火)	1日	講座室	一宮東ライオンズクラブ	研修会

#### (4) 入館者統計

##### 一宮市博物館

平成 25 年度

	開館日数	個人			団体			減免			未就学児	招待	無料利用	団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中					
4月	25	206	9	7	23	0	0	196	0	53	15	95	0	1	604
5月	27	617	29	9	29	69	0	595	1	44	12	246	0	3	1,651
6月	26	507	25	5	37	0	0	360	1	81	32	332	0	2	1,380
7月	26	496	33	18	52	0	0	605	0	96	15	451	0	3	1,766
8月	27	434	133	34	0	0	0	276	2	705	211	890	0	0	2,685
9月	25	1,913	27	8	22	0	1	787	0	59	26	351	0	1	3,194
10月	27	251	11	3	34	0	0	298	0	173	16	219	0	1	1,005
11月	26	406	24	11	52	0	0	286	1	71	24	336	0	2	1,211
12月	23	1,012	13	3	146	0	2	643	0	66	24	388	0	1	2,297
1月	23	262	5	36	0	0	0	236	0	1,864	55	166	0	0	2,624
2月	23	365	11	12	44	0	0	413	0	1,856	43	122	0	2	2,866
3月	8	130	5	12	0	0	0	135	0	355	14	126	0	0	777
合計	286	6,599	325	158	439	69	3	4,830	5	5,423	487	3,722	0	16	22,060

平成 26 年度

	開館日数	個人			団体			減免			未就学児	招待	無料利用	団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中					
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	13	692	14	1	30	0	0	791	0	87	26	549	29	1	2,219
11月	26	948	37	2	7	0	0	1,068	0	120	51	1,001	74	1	3,308
12月	22	985	8	3	0	0	0	577	0	176	22	372	56	0	2,199
1月	23	461	18	49	47	0	0	380	0	1,709	85	254	100	2	3,103
2月	23	463	12	34	0	0	0	504	0	2,107	144	93	66	0	3,423
3月	26	1,634	18	11	58	0	0	841	0	368	89	358	80	3	3,457
合計	133	5,183	107	100	142	0	0	4,161	0	4,567	417	2,627	405	7	17,709

木曾川資料館

平成 25 年度

	開館日数	個人			団体			団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中		
4月	26	306	0	0	5	0	87	1	398
5月	27	298	0	1	34	0	0	2	333
6月	26	491	0	6	0	0	0	1	497
7月	26	335	0	5	0	0	0	0	340
8月	27	297	0	35	19	0	0	0	351
9月	25	373	0	31	54	0	0	0	458
10月	26	459	0	7	9	0	0	0	475
11月	26	470	0	7	35	0	26	0	538
12月	23	352	0	14	0	0	0	0	366
1月	23	296	0	12	0	0	0	0	308
2月	23	292	0	12	0	0	116	0	420
3月	26	350	0	8	0	0	0	0	358
合計	304	4,319	0	138	156	0	229	4	4,842

平成 26 年度

	開館日数	個人			団体			団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中		
4月	25	272	0	14	102	0	0	3	388
5月	27	351	0	13	0	0	172	2	536
6月	25	301	0	13	31	0	0	2	345
7月	27	460	0	9	0	0	30	1	499
8月	27	374	0	17	71	0	0	7	462
9月	24	378	0	9	0	0	0	0	387
10月	27	351	0	3	114	0	90	4	558
11月	26	382	0	17	0	0	0	0	399
12月	22	216	0	4	0	0	0	0	220
1月	23	232	0	9	0	0	92	1	333
2月	23	283	0	16	0	0	0	0	299
3月	26	284	0	4	220	0	0	1	508
合計	302	3,884	0	128	538	0	384	21	4,934

## 6 調査研究・収集

### (1) 美術工芸資料等購入事業

平成 25 年度 なし

平成 26 年度 なし

### (2) 寄贈資料

平成 25 年度

一宮市馬見塚遺跡出土品 一括

一宮市馬見塚遺跡発掘調査写真、遺物写真 一括

絵葉書 117 件 240 点

火鉢 1 対、渦紋火鉢 1 対

勝海舟筆一行書「一鶚秋空飛鳥雀徒啾々」

百万遍数珠

通知表及び教科書等 15 点

書簡等 205 点

蓄音機 2 台、SP レコード 25 枚、LP レコード 113 枚（木曾川資料館）

墨八百八関連資料 1,214 点

方便法身尊像（阿弥陀如来絵像）1 幅

一宮市成人式記念品ネクタイピン 2 個

馬見塚石器時代 遺跡案内 1 部

『木曾川風物紀要 河畔の里 きたがた』など書籍 3 冊、地籍図 3 枚

「中央相互銀行一宮南支店新設開店広告」2 枚

安藤来丈関係資料一括 204 点

ヴィクトローラ・クレデンザ蓄音機 1 台（木曾川資料館）

新町割新町名図コピー 1 部、浮世絵名品展ポスター 1 部、一宮市市制 50 周年記念「尾張平野のあけぼの展」ポスター 5 部

七宝焼ペンダント（成人式記念品）など 9 件 13 点

茶白など 5 件 5 点

筆筒他 12 件 16 点

女物裕長着他 15 件 43 点

木魚製作道具 16 件 194 点

ヒゴコキ他 5 件 7 点

領収書・日記 2 件 6 点

竹ノコギリ他 3 件 3 点

カンナ他 6 件 8 点

竹細工製作道具等一括 16 件 54 点

竹細工製作道具等一括 16 件 30 点

まわり燈籠（七夕飾り）1 対 2 個、プレート 3 枚

手回し蓄音機（箱入）1 台、SP レコード（4 箱入）124 枚（木曾川資料館）

前掛 1 点、書類 1 枚、書籍 1 冊

鉢巻 1 点、書籍 2 冊

リヤカー標識「一宮市 7337」1 点

笥忠治「自画像」（絶筆）

佐分眞作品 13 点

玉僊（森高雅）「名古屋名所囃団扇絵 屏風」

大澤鉦一郎作品 18 点、佐分眞作品 3 点、藤島奨作品 6 点、宮脇綾子作品 8 点、宮脇晴作品 10 点

藤井外喜雄作品 54 点

鶴城繁作品 10 点

森馨之助「若き日の父」

横井礼以「安藤秋三郎氏肖像」「安藤夫人肖像」

絵画 40 点 秘書広報課より保管転換

平成 26 年度

末次信正海軍大将肖像写真 1 枚

森春濤「絶句」、森春濤「漁篋七絶」、森春濤「紅窓妙枝絲雨残梅」、森春濤「婦地焚香煮石泉」、永坂石埭「春櫻之詩」、松本奎堂「入仙源之詩」、服部擔風「天平誰修五鳳樓」、服部擔風「吉野懷古」、鷺津毅堂「論太公」（短冊）、梁川星巖「七絶」、光斎「嵐山清流」萩原町の文化財（萩原町教育委員会）、萩原町忠魂碑建設費寄附芳名録（昭和 12 年・帝国在郷軍人会萩原町分会）、昭和 34 年萩原町発展祭祝辞（一宮市商工会議所副会頭五藤百太郎）、昭和 34 年萩原町発展祭祝辞（一宮市議会議長生田千代春）、御大典記念忠の巻（大正 4 年）新愛知新聞等の断簡

織物工場写真帳 1 冊（写真 39 枚）

『満州と満鉄 2596 年版』1 冊、南満州鉄道株式会社株券 23 枚、南満州鉄道株式会社株金領収証 6 枚、南満州鉄道株式会社社債券 6 枚、「紀元二千六百年 支那事变国債」の袋 1 枚、日本徴兵保険株式会社封筒入 1 式、「夕刊 報知新聞」昭和 8 年 4 月 18 日付 第 20,216 号 1 部、軍人印刷資料など 4 枚、愛知県母性補導委員委嘱状 1 式、愛知県知事時任為基から日清戦争軍資に 2 円 78 銭献納感謝状 1 枚

『愛知県葉栗郡木曾川町土地寶典』1 冊

SP レコード 136 枚

『和洋建築新雛形』卷之一～卷之六 6 冊、『新撰大匠雛形大全』卷之四 1 冊、『実用的小住宅間取百種』（中央工学会、昭和 3 年）1 冊、『良くわかる和洋規矩術』（昭和 2 年）1 冊

シャコガイ（昭和 9 年 6 月名鉄木曾川鉄橋橋脚工事中河底約 15 m の地中から出土）1 点

禅宗関係墨蹟 318 点

獅子頭（大 1 点・小 1 点、付属品とも）、法被（子供用 11 着、帯・鉢巻とも）、幟「明治通二丁目」1 本 ※真清田神社桃花祭の子供獅子で使用

ハネクリ備中 1 点

チロリ（錫製）1 点

島文楽、島文楽人形写真 126 枚

西御堂町内会史編纂委員会『村の歩み 尾張国 西御堂』（平成 11 年発行）1 冊

### (3) 寄託資料

平成 25 年度

重要文化財「論語集解」4 卷

島文楽小道具 一括

平成 26 年度

短刀 保昌五郎銘 1 点

蓮照寺関係資料 128 点

#### (4) 受贈図書等

都道府県の配列順（寄贈者の配列は都道府県別の中の50音順とした）

01 北海道	03 岩手県	04 宮城県	05 秋田県	07 福島県	08 茨城県	09 栃木県	10 群馬県
11 埼玉県	12 千葉県	13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県	17 石川県	18 福井県
19 山梨県	20 長野県	21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県	25 滋賀県	26 京都府
27 大阪府	28 兵庫県	29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県	33 岡山県	34 広島県
35 山口県	36 徳島県	37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県	41 佐賀県	42 長崎県
43 熊本県	44 大分県	47 沖縄県					

平成25・26年度

No.	受入先	書名
01	アイヌ文化振興研究推進機構	ロシアが見たアイヌ文化ロシア科学アカデミーピョートル大帝記念人類学民族学博物館のコレクションより アイヌの工芸-東北のコレクションを中心に アイヌの昔話カムイを射止めた男の子 イソイタク1 アイヌの昔話 フキノトウになった女の子 助成事業案内-平成26・27年度版 紀要第26～28号 館報第10号 たよりNo.62 「ニューズレター」No.1 紀要第25・26号 「くるまいし」No.28・29 平成25年度文化庁地域と共働した美術館歴史博物館創造活動支援事業北海道の地域住民と博物館をつなぐミュージアムエージェント（世話人）育成事業実施報告書 年報25～27 特別展「極北の島グリーンランド-氷海のハンター、エスキモー」 「船、橇、かんじき、北方の移動手段と道具」 資料目録9・10 研究紀要第22・23号 年報24・25 たよりNo.88～90・92～95 研究報告第32号 たよりNo.137～144
	小樽市総合博物館 苫小牧市博物館 苫小牧市美術博物館 根室市歴史と自然の資料館 北海道開拓記念館	
	北海道埋蔵文化財センター 北海道立北方民族博物館	
03	岩手県立博物館 岩手大学平泉文化研究センター 北上市教育委員会 高野長英記念館	年報[第2集]2014 埋蔵文化財調査報告第105～112集 埋蔵文化財年報2011,2011年度 企画展「シーボルトと高野長英」 年報第40号 歴ネットNo.6 特別展「釣りの文化と技術」「餅・モチ～ハレの食」 企画展「なつかし仙台3～いつか見た街・人・暮らし」 「戦争と庶民の暮らし4」 年報2013,2014 調査報告書第31,32集 資料集第11,12冊 たよりNo.45,46 研究紀要第19,20号 所蔵古文書目録第9集資料群目録4 たよりNo.28,29 研究報告第38号 年報平成25,26年度 ニュースNo.156～159
05	秋田県公文書館 秋田県立博物館	
07	福島県文化財センター 福島市教育委員会	「まほろん通信」vol.48～54 埋蔵文化財報告書第218～223集
08	茨城県立歴史館 鹿嶋市文化スポーツ振興事業団(鹿嶋市教育委員会) 小美玉市史料館 日立市郷土博物館	特別展「常陸南北朝史-そして、動乱の中世へ」 鹿嶋市の文化財第144～150集 館報第7号 「市民と博物館」第103,104,107～110号
09	佐野市郷土博物館 栃木県立文書館	企画展「田中正造と共に～嶋田宗三家文書からたどる」 研究紀要第17,18号 たより第53～56号
10	伊勢崎市教育委員会	分譲住宅造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書川上遺跡7 建売分譲住宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書清音古墳群2 清音遺跡・清音古墳群の調査 今井北原遺跡9倉庫建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 分譲住宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-群馬県伊勢崎市下諏訪町遺跡

	野間遺跡 - 分譲住宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 文化財調査報告書第 106 ~ 110,112,123 集 研究紀要 31 ~ 33 「埋文群馬」 No.59 収蔵文書目録 31 双文第 30 号 たより No.50 号 企画展「ふたつの製糸工場～富岡製糸場と碓氷社」 紀要第 34,35 号 元総社蒼海遺跡群 26,32,33,38 ~ 55,57 ~ 59,60,66 ~ 68 朝倉工業団地遺跡群 No. 2,4 ~ 7 上野国府等範囲内容確認調査報告書 I, II 内堀遺跡Ⅷ,Ⅸ 南部拠点地区遺跡群 No. 7 ~ 11 上佐鳥中原前Ⅲ遺跡 安通・洞 No. 2 遺跡 朝倉伊勢西 No. 2 遺跡 前箱田村西Ⅲ遺跡 元総社早道乙遺跡 五代深掘遺跡 I 遺跡 No. 2 元総社落合遺跡 根室田中遺跡 No.2 西新井遺跡第 4 地点 柳久保遺跡群Ⅷ (62E・60 ~ 61) 六供遺跡群 No.8 川曲阿弥陀西遺跡 No. 2 前橋市遺跡分布地図 年報第 43,44 集 群馬の古墳時代はここから始まった朝倉・広瀬古墳群 資料集赤城山麓の歴史地震 - 弘仁九年に発生した地震とその災害 たより第 68 ~ 73 号 紀要 13 号 「かわはく」 No.45 ~ 47 第 7 次専門研究委員会報告書 - 地域史料の防災対策 紀要第 26 号 租税史料叢書第 6,7 巻 東日本大震災臨時委員会活動報告書 「会報」 No.94・95 第 40 回福岡大会特集号 記録と史料第 23・24 号 たより第 45 ~ 48 号 特別展「将軍家の鷹場～戸田筋」 たより Vol.41 ~ 43 研究紀要第 23,24 号 企画展「彩湖・道満の生きものたちの声」 「とだっこのおもちゃ箱」 特別展「地形とくらしのつながり」 「資料館通信」 第 66・67 号 特別展「子どもの学び - 寺子屋から戦後の学校まで」 企画展「遺跡を読む！発掘調査報告書を 10 倍楽しむ方法 発掘調査報告書第 315 ~ 337 集 第 17,18 回遺跡発表会発表要旨 年報 28,29 「フィールドブック」 vol.35・36 企画展示「時代を作った技 - 中世の生産革命」 「大ニセモノ博覧会 - 贋造と模倣の文化史 -」 「中世の古文書 - 機能と形」 「弥生ってなに?!」 「歴史にみる震災」 「文字がつなぐ古代の日本列島と朝鮮半島」 「東日本大震災と気仙沼の生活文化」 国立歴史民俗博物館三十年史 資料図録 9 ~ 11 研究報告 177 ~ 187,189,190,192,193 集 年報 8,9 埋蔵文化財調査報告書第 3 集 平成 23 ~ 25 年度館報 館報第 39,40 号 企画展「洋風建築にみる明治の千葉県」 「文書館ってすごい! II」 収蔵文書目録第 27,28 集 千葉県の文書館第 19・20 号 研究紀要第 19,20 号 民俗調査報告書 5 東邦考古第 37,38 号 史跡長柄横穴群保存整備報告書 平成 24,25 年度野田市内遺跡発掘調査報告 特別展「野田の絵馬 - ならわし・なりわい・わざわい・たすけあい」 「野田で生まれた漫画たち」 年報・紀要第 5,6 号 平成 24 年度年報 たより第 100 号 「みゅーじあむ・船橋」 Vol.1・2 特別展「松戸の発掘 60 年史～市内の歴史を再検討～」 企画展「Plastic?/Plastic! 高度経済成長とプラスチック」 文化財調査報告第 53 ~ 56 集 調査報告書 5 下水遺跡第 8 地点発掘調査報告書 牧之内遺跡第 1-6 地点発掘調査報告書 紀要第 20,21 号 年報第 20,21 号 「まつどミュージアム」 No. 21・22 年報 No. 16 青山史学第 31,32 号 週刊朝日百科 24 週刊新発見! 博物館実習報告第 29,30 号 鹿児島県指宿市敷領遺跡 (十町地点・下原地点) の調査 - 文部科学省科学研究費補助 金基盤研究 (B) 「古代の村落における土地利用形態の研究」
群馬県埋蔵文化財調査事業団	
群馬県立文書館	
群馬県立歴史博物館	
前橋市教育委員会	
能登健	
11 川越市立博物館	
埼玉県立川の博物館	
埼玉県地域史料保存活用連絡協議会	
埼玉県立文書館	
税務大学校税務情報租税史料室	
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	
遠山記念館	
戸田市立郷土博物館	
ふじみ野市立大井郷土資料館	
ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館	
12 印幡群市文化財センター	
国立歴史民俗博物館	
芝山町教育委員会	
市立市川考古博物館	
千葉県文書館	
千葉県立郷土博物館	
東邦考古学研究会	
長柄町教育委員会	
野田市教育委員会	
野田市郷土博物館	
船橋市郷土資料館	
松戸市教育委員会	
山武考古学研究所	
13 青山学院大学史学研究室	
朝日新聞社	
お茶の水女子大学	
お茶の水女子大学博物館学研究室	

学習院大学  
 学習院大学大学院  
 葛飾区教育委員会  
 葛飾区郷土と天文の博物館  
 株式会社金の星社  
 株式会社吉川弘文堂  
 慶応義塾大学附属研究所  
 慶應義塾大学文学部  
 國學院大學  
 國學院大學  
 國學院大学考古学資料館  
  
 品川区立品川歴史館  
  
 昭和館  
 女子美術大学  
  
 杉並区立郷土博物館  
  
 生活の友社  
 世田谷区立郷土資料館  
  
 大成エンジニアリング株式会社

「ミュージアム・レター」第22～27号  
 年報第2,3号  
 平成24,25年度埋蔵文化財調査年報  
 特別展「東京低地災害地地震、雷、家事?…教訓!」 たより2013年夏号  
 NHK歴史秘話ヒストリア歴史にかくされた知らせざる物語第2章1弥生時代～鎌倉時代編  
 日本歴史学会編集日本歴史第785,797号  
 【DVD】論語 TIFF1,2,3,JPEG  
 慶應義塾大学日吉キャンパス一帯の戦争遺跡の研究2011～2013年度科学研究費補助金研究成果報告書  
 「院友学芸員」第6～8号  
 学術資料センター研究報告第30輯 博物館學紀要第38,39輯  
 学術資料館考古学資料館紀要第29輯  
 博物館學紀要第37輯 文学部考古学実習報告第47～50集  
 特別展「大井の大仏がやってきた!一養玉院如来寺の歴史と寺宝一」  
 「品川から世界へサムライ海を渡る-幕末明治の日本と外交使節団」  
 今井金吾コレクション目録 紀要第28,29号  
 昭和のくらし研究第11,12号 館報第14,15号  
 収蔵作品展「四季をめぐる」  
 「In other eyes～それぞれのまなざしのまなざし」  
 「Input→Output 溝田コレクション×光島貴之」  
 「北欧の夢ニューヨークの洗練日本の情緒脇坂克二テキストスタイル  
 デザインの世界-女子美コレクションを中心に」  
 「KIMONO-小袖にみる華・デザインの世界」 「アジアの華-美の環流」  
 「村木忍・村木与四郎・黒澤明-映画美術の世界」  
 「具象と抽象のはざま展」 「絵になる瞬間-相模原市在住作家展」  
 収蔵品目録インドネシア染織品 女子美の歴史 Vol. II  
 特別展「甲州道中へのいざない-行き交う人・モノ」  
 有吉佐和子歿後30年記念特別展「いのちの証～書くこと、家族、杉並」  
 企画展「1964東京オリンピックと杉並」～パンフレット  
 月刊アートコレクターズNo.50,52,54～63 美術の窓No.356～358,360～369  
 特別展「1955～64写真で見る高度成長期の世田谷」  
 「大館蔵品展」 世田谷叢書第七,八集 たよりNo.58～61  
 茨城県東海村向塚越遺跡荒工遺跡 茨城県那珂郡東海村堀米A遺跡(第2次調査)  
 桐ヶ谷横穴群発掘調査報告書 神奈川県伊勢原市岡崎・天神下遺跡  
 下平間・大原遺跡 下平間・大原遺跡第2次調査 横浜市港北区宿根東遺跡  
 相模原市緑区大島下台遺跡第4地点  
 静岡市埋蔵文化財発掘調査報告一丁田遺跡(4区)  
 仙台市文化財調査報告第368集沼向遺跡第36次調査  
 太宰府市の文化財第82集 朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第24,25集  
 東京都荒川区町屋四丁目実揚遺跡 渋谷区桜丘遺跡  
 渋谷区青山学院構内遺跡第2,3地点埋蔵文化財発掘調査報告書  
 渋谷区鶯谷遺跡 新宿区～崇源寺・正見寺跡埋蔵文化財発掘調査報告書  
 新宿区牛込城址II 新宿区四谷一丁目南遺跡II 新宿区四谷四丁目遺跡III  
 新宿区市谷加賀町二丁目遺跡 新宿区市谷甲良町遺跡III  
 新宿区市谷砂土原町三丁目遺跡II 新宿区市谷砂土原町三丁目遺跡III  
 新宿区信濃町南遺跡 新宿区神楽坂四丁目遺跡 新宿区西方寺跡II  
 新宿区馬場下町遺跡 新宿区柏木成子町遺跡 新宿区弘方町遺跡II  
 新宿区法正寺遺跡 新宿区落合遺跡V 千代田区紀尾井町遺跡II  
 千代田区二番町遺跡 台東区三好町遺跡蔵前二丁目16番地地点  
 板橋区前野田向遺跡第9地点発掘調査報告書 文京区龍岡町遺跡第2,3地点  
 文京区駕籠町遺跡第3地点 文京区小石川三丁目遺跡  
 文京区千駄木一丁目遺跡 文京区千駄木貝塚第4地点  
 文京区大塚三丁目遺跡第2地点 文京区本郷五丁目西遺跡  
 文京区本郷台遺跡第1地点 文京区弥生町遺跡群第2地点  
 文京区龍岡町遺跡第5地点 北区御殿前遺跡 北区中里峡上遺跡  
 墨田区太平一丁目遺跡 品川区埋蔵文化財調査報告書第27集  
 豊島区遺跡調査会調査報告9伝中・上富士前IV 町田市木曾町木曾森野遺跡  
 府中市埋蔵文化財調査報告第58集 武蔵国府関連遺跡調査報告

大東文化大学博物館学講座 たばこと塩の博物館	たより第6号 「いっぶくを彩った工芸品たばこをとりまく脇役たち」 「嗅ぎたばこ入れ」 年報第28,29号
調布市教育委員会 調布市郷土博物館 伝統文化活性化国民協会 東京国立博物館 東京大学史料編纂所画像史料解析センター 東京都江戸東京博物館 東京都埋蔵文化財センター 徳川林政史研究所 日本博物館協会	埋蔵文化財発掘調査報告書入間町城山遺跡・第34地点(NIT東日本研修センターグランド部)の調査 「橘屋一家のモノ語り」 たよりNo.73～75 「伝統文化」No.47・49・50 ニュース第718～729号 研究成果報告2013 「センター通信」第61～68号 調査報告書第27集 紀要第3号 「NEWS」vol.81～185・187・188 年報32,33 研究紀要第47,48号 子どもとミュージアム-学校で使えるミュージアム活用ガイド 大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト安定化处理 「博物館研究」第538～544,546～559,561号
日本文化財保護協会 日本ユネスコ協会 八王子市	埋蔵文化財調査要覧平成25,26年度 平成25・26年会報「飛天」 世界遺産年報No.19,20 八王子市史研究第3号 八王子市史叢書2 新八王子市史資料編I原始・古代,資料編3近世1,資料編6-近現代2,自然編
美術出版社 府中市郷土の森博物館 文化環境研究所 文化庁文化財部記念物課	美術出版ライブラリー歴史編日本美術史 紀要第26～28号 「あるむぜお」No.103～111 文環研レポート第42,43 CultiveNo.42,43 「記念物・文化的景観」マネジメント支援事業史跡、名勝、天然記念物及び重要 文化的景観の保存・活用に関する調査報告書
法政考古学会 丸井隆人 港区教育委員会 港区立港郷土資料館	法政考古学第39,40集 いまあざやかに丸井金猥展 港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告54,56 所蔵後久洋家具店製作家具図面集 平成24,25年度港区指定文化財 研究紀要15,16 年報10～12 館報30～32 たよりNo.71～74 「港郷土資料館へ行ってみよう!」第10,11号
武蔵野美術大学	民俗資料室ギャラリー展示17 デザインの原像としての民具I「竹を編んだかたち」、 同展示18 デザインの原像としての民具II「竹が生み出すかたち-竹の多様性と民具」
明治大学	アンケート調査に基づく歴史系地域博物館展示・設備の実践的研究平成24年度～平成26年度 文部科学省研究費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書研究課題番号24501271)
明治大学学芸員養成課程 明治大学校内遺跡調査団 明治大学博物館	紀要24,25 年報28,29 研究報告書1～4 年報6～9 2014年度特別展「藩領と江戸藩邸～内藤家文書の描く磐城平、延岡、江戸」 研究報告第18,19号 年報2012,2013年度
文部科学省	室町時代古鈔本「論語集解」の研究 科研費NEWS2012年度vol4,2013年度vol1,3,4,2014年度vol3
14 大磯町郷土資料館	企画展「大磯の災害-かつてこの地で起きたこと」 「風景写真から見る大磯の移り変わり」 年報平成22～25年度 文化財調査報告書49集 「Report」No.32～35 研究報告No.49,50
小田原市郷土文化館 神奈川大学日本常民文化研究所	神奈川大学日本常民文化研究所2013,2014 論集-歴史と民俗29,30 「民具マンスリー」第45巻11・12号, 同第46巻1・2・4～12号、同第47巻1・2・4～12号
神奈川県立歴史博物館 川崎市市民ミュージアム	研究報告人文科学第39,40号 たより第18号No.3,第19号No.1～3 市制90周年記念「近代川崎人物伝-川崎の礎を築いた偉人たち」 開館25周年記念教育普及事業柴川敏之/2000年後の今に触れる☆プロジェクト /PLANET-TACTILE 紀要第25,26集
寒川文書館 三溪園 東海大学 秦野市教育委員会	調査報告書19 特別展「今村紫紅展-横浜の色」 学園史ニュースNo9・特別号 七十五年史編纂だより第1号 文化財調査報告書11,12,13 太岳院遺跡2006-02地点,平沢司明遺跡(2004-04地点・2004-05地点)発掘調査報告書 太岳院遺跡・尾尻尾崎遺跡・水神遺跡・今泉西堀遺跡・神堂坂遺跡・寺山遺跡・

	寺山金目原遺跡・平沢同明遺跡
平塚市博物館	特別展「水と生きる里-金目の風土とその魅力」 「平塚の石仏 3058 の祈りと願い」 研究報告自然と文化第 36,37 号 年報第 35 ～ 37 号
藤沢市文書館	藤沢山日鑑別巻近侍者記録三(最終巻) 紀要第 33 号
大和市	大和市史資料叢書 14 大和市史研究第 38,39 号
横浜市歴史博物館	特別展「島山重忠-横浜・二俣川に散った武蔵武士」 「N. G. ロマンズカーと日本考古学-横浜を掘った英国人学者」 企画展「水へのいのり-古代東国の川辺と井戸のまつり」 「横浜市大学コレクション古地図の世界-地球のかたちと万国の大地」 「昔のくらしと年中行事-ちょっとむかしのよこはま」 「読んで・調べて・記録する-春夏秋冬くらしの行事を調べてみよう」 「佐久間象山と横浜-海防、開港そして人間・象山」 「千歯抜き倉吉・若狭・横浜」 「生麦事件と横浜の村々」 「横浜市大学コレクション古地図の世界-地球のかたちと万国の大地」 「絵巻でみる事件～百姓一揆絵巻・火事絵巻」 「ハマの東海道」 博物館ってなあ～に? 保土ヶ谷宿脇本陣藤屋資料集 紀要第 17,18 号 調査研究報告第 9,10 号 資料目録第 21,22 集 NEWS34 ～ 37 「学校内歴史資料室を活用した博物館デビュー支援事業」年報
横浜みなと博物館	企画展「横浜港と関東大震災-震災からの復興」 「船の旅と横浜港秘蔵コレクション」 「横浜港ゆかりの船」 「報道写真が映す戦後の横浜港神奈川新聞社創業 125 周年記念」 神奈川県茅ヶ崎市西久保大屋敷 B 遺跡-西久保大屋敷 B 遺跡第 10 次調査報告 「ビジュアル縄文博物館-縄文人の衣食住、そして土器-」 「縄文前期のムラ赤羽根遺跡-火焰型土器の出現前夜」 「松代の石仏-里山の祈りと信仰」 常設展示ガイド 埋蔵文化財発掘調査報告書第 46 ～ 48 集 企画展「弥生時代のいがた時代がかわるとき」 「奇跡の新幹線-開業、震災、そして 30 年」 「黄金の国々-甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山」 割山をめぐる自然資源の利用と管理 年報第 13,14 号 収蔵資料目録考古学 I, II 研究紀要第 14,15 号
四門	
15 十日町市博物館	特別展「大新潟展」 企画展「新潟の漆器」 「報じられなかった写真昭和 30 年代-写真家・小林新一の 820 カット」 「新潟地震展-体験・記録・復興の 50 年」 研究紀要第 9,10 号 「帆檣成林」 vol.28 ～ 133 10 周年記念号 縄文時代の越飛を結ぶムラ布尻遺跡 砺波平野の縄文時代中期のムラ-松原遺跡 富山県出土の重要考古資料 6,7 埋蔵文化財センター年報 24 年度 「理文とやま」 vol.122・123
十日町市教育委員会 新潟県立歴史博物館	特別展「戦国越中の覇者佐々成政」 館報 24 年度 たより第 354 ～ 357,361 ～ 378 号 「れきはく」 No.102・108 ～ 111
新潟市歴史博物館	阿納塩浜遺跡発掘調査報告書内外海(阿納)漁港整備工事に伴う発掘調査報告書 高塚遺跡発掘調査報告書高塚橋架け替えに伴う住宅移転用造成に係る発掘調査報告書 埋蔵文化財調査報告第 134 ～ 145 集,第 146 集-第 1 分冊遺構編,同-第 2 分冊 遺物編,同-第 3 分冊遺物写真図版・附編,第 147 ～ 152 集,155 ～ 158 集 宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 年報 27,28 紀要 2012,2013 常設展示のご案内図録・ライト版 紀要 2012,2013 館報(平成 24 年度), (平成 25 年度)
16 富山県埋蔵文化財センター	これき人物シリーズ 4,5
富山市郷土博物館	埋蔵文化財調査報告書第 7,9,34,38 集 埋蔵文化財ガイドブック第 3,4 集 遺跡で散歩 VOL.8 てつづげえじゃんけ将棋頭・石積出! 御勅使川(将棋頭・石積出)国指定 10 周年記念シンポジウム記録集 御勅使川旧堤防(将棋頭・石積出)保存管理計画書 文化財年報平成 24 年度 市史研究創刊号 2 ～ 15 号 行政編上・下巻 史料編第 1 ～ 7 巻 通史編第 1 ～ 3 巻 民俗編第 1,2 巻
17 石川県立美術館	
石川県立歴史博物館	
18 小浜市教育委員会	
福井県教育庁埋蔵文化財調査センター	
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	
福井県立若狭歴史民俗資料館	
福井県立こども歴史文化館	
19 南アルプス市教育委員会	
富士吉田市教育委員会	

20 飯田市教育委員会	平成 20・21 年度市内遺跡緊急発掘調査報告書 南本城城跡 飯田古墳群 溝口の塚古墳・宮垣外遺跡 恒川遺跡群総括編 鳥屋平遺跡 特別展「伊那谷の日本画 - 春草没後の求道者たち」 企画展「南信州の煙火 - 芸術に魅せられた男たち」 地域史研究事業民俗報告書 6 研究紀要第 23,24 号 年報第 23,24 号
飯田市美術博物館	「上田藩藩主松平氏時代の名品」 「新収藏品展」 濱村コレクション能面狂言面 市内遺跡発掘調査報告書 (概報) 平成 25 年度広畑遺跡ほか岡谷市内発掘調査報告書 榎垣外遺跡発掘調査報告書
上田市立博物館	「友の会だより」 第 28～31 号
岡谷市教育委員会	埋蔵文化財調査報告第 71～74 集 旧東洋バルヴ諏訪工場調査報告書 紀要第 30,31 集 博物館ノート No.27,28
さらしなの里歴史資料館	研究紀要 6
諏訪市教育委員会	シンポジウムレプリカ法の開発は何を明らかにしたのか - 日本列島 における農耕の伝播と受容の研究への実践 - 予稿集
諏訪市博物館	年報 29,30 「信州の遺跡」 第 3～6 号 「ジュニアこうがく」 第 2・3 号
中沢道彦	研究紀要第 19,20 号 たより vol.75～182
長野県埋蔵文化財センター	文化財調査報告 No. 212,213
長野県立歴史館	特別展「戦争と平和展特攻兵が飛び立つとき - 松本から知覧へ」
松本市教育委員会	「松本城下町の繁栄・祈り・信仰～天神様 400 年」
松本市立博物館	「戦争と平和展近代都市松本 - 戦争と軍体その遺産」 「学都松本の礎 - 近世・近代、学びの場」 年報 2012 「あなたと博物館」 No. 186～195・197
八ヶ岳総合博物館	特別展「八ヶ岳で知る菌類の世界 - きのこ・カビ・酵母を楽しむ」
21 荒川豊蔵資料館	収藏品図録Ⅱ「翁に集ったモノたち～収集とその眼差し」
池田町教育委員会	松原弘典家文書目録
恵那市教育委員会	文化財調査報告書第 42,43 集 重要文化財武並神社本殿保存修理工事報告書
大垣市教育委員会	埋蔵文化財発掘調査報告書第 22,23 集 文化財調査報告書第 48,49 集 埋蔵文化財調査報告書史跡昼飯大塚古墳Ⅲ 「猪熊弦一郎展どんなことをしても僕なんだ」 年報平成 23 年度
大垣市文化事業団	文化財調査報告書第 7 集
大野町教育委員会	館報平成 23,24 年度号
海津市歴史民俗資料館	「かかみがはらの埋文」 第 21・22 号
各務原市埋蔵文化財調査センター	たより第 31 号
各務ヶ原市歴史民俗資料館	各務原縄文五千年の里炉畑遺跡出土品図録
各務原市教育委員会	埋文調査報告 45～47 金山城跡発掘調査報告書
可児市教育委員会	収藏品図録「美濃桃山陶」 たより No. 24
可児市郷土歴史館	岐阜県関市寺前遺跡 - 第 8 次発掘調査報告書
株式会社イビソク	加納城跡 - 岐阜市加納西丸町宅地開発工事に伴う緊急発掘調査
木曾川学研究協議会	木曾川学研究第 11 号
岐阜県博物館	特別展「弥生大集落～荒尾南遺跡が語るモノと心」 「奇なるものへの挑戦明治大正異端の科学」
岐阜県美術館	企画展「鐔の美 - 鐔工・成木・成の挑戦 -」 調査研究報告第 34～37 号
岐阜県文化財保護センター	年報 No. 30,31 調査報告書第 126 (第 1,2 分冊), 127 (第 1,2 分冊), 129 (第 1～4 分冊), 130,131 (第 1～9 分冊), 132,133 集
岐阜市教育委員会	岐阜城下町遺跡 - 都市計画道路岐阜駅高富線道路改良工事に伴う緊急発掘調査 旧柳津町域遺跡詳細分布調査報告書 平成 23,24 年度市内遺跡発掘調査報告書 岐阜城跡 2,3
岐阜市歴史博物館	特別展「岐阜の至宝 - 伝承と創造」 「岐阜の茶の湯」 企画展「古地図にみる江戸時代の美濃」 「ものが語るみの・ひだの歴史」 館藏品図録「提灯」資料選集 研究紀要第 21 号 2013 年 年報 No.27,28 たより No. 83～87
下呂市教育委員会	文化財調査報告書第 3～5 集
関市教育委員会	文化財調査報告第 31 号
多治見市文化財保護センター (多治見市教育委員会)	研究紀要第 12 号 「自然と人の文化」 No. 41～44
垂井町教育委員会	垂井町大石 - 大石古窯跡発掘調査報告 史跡美濃国府跡保存管理計画
土岐市教育委員会	丸石 1～3 号窯跡・穴弘法 1-2 号窯跡等出土遺物整理報告書

土岐市美濃陶磁歴史館	平成 22 ～ 24 年度市内遺跡発掘調査報告書 特別展「織部-ソノ器、ヘウケモノ也」 「消費遺跡からみる美濃桃山陶 - 華やかな ” うつわ ” たちの流行」 「桃山陶を楽しむ - 美と技」
内藤記念くすり博物館	企画展「がん - 古から未来へ」 「漢方の源流をたどる - 中国・韓国・日本の伝統医学」
ネットワーク播隆 飛騨市教育委員会 豊蔵資料館 瑞浪市教育委員会 瑞浪市陶磁資料館	播磨研究第五～十四号 文化財調査報告書第 1,2 集 収蔵品図録「豊蔵志野 - 挑戦から創造へ」 埋蔵文化財調査報告書第 6 集瑞浪市遺跡詳細分布調査報告書, 瑞浪市遺跡地図 特別展「市原土人形の系譜 - 後藤家三代の仕事」 瑞浪市歴史資料集第 2 集 研究紀要第 15 号 年報第 32,33 号 (平成 23,24 年度)
美濃加茂市民ミュージアム	みのかも定住自立園「加茂の古代風景 - 美濃加茂・坂祝・富加」 「加茂の遺跡探訪展」 ミュージアムフォーラム文化遺産と市民 - その関わり合いを考える資料集 紀要第 12,13 集 ふるさとファイル No.16
みのかも文化の森	みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアムミュージアム活用の手引き・活用実践集平成 24 年度版 「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」事業ミュージアムフォーラム文化遺産と市民 - その関わり合いを考える 2015 みのかも定住自立園事業「加茂の遺跡展」 年報 Vol.12 ～ 14 「みのかも文化財ノート」No.9 「MUSEUM NEWS」vol.69 ～ 177
22 本巣市教育委員会 養老町教育委員会 新居関所史料館 磐田市教育委員会	古代と未来のかげ橋船来山古墳群 埋蔵文化財調査報告書第 7 集 旅籠紀伊国屋資料館年報平成 22 ・ 23 年度 御殿・二之宮遺跡発掘調査報告書 - 市道改良工事に伴う第 89・93・94 次発掘調査, 個人住宅建設に伴う第 122 次発掘調査, 集合住宅新築工事に伴う第 124 ・ 125 次発掘調査 高見丘遺跡群発掘調査報告書 - 遠州豊田 PA 周辺土地区画整理事業に伴う調査上, 下巻, 写真図版 特別史跡遠江国分寺跡～平成 25 年度発掘調査のあらまし 平成 24 年度特別史跡遠江国分寺跡発掘調査概報 福王寺境内遺跡発掘調査報告書 平成 23 ・ 24 年度上坂上 I 遺跡 / 上坂上古墳群第 2 ・ 3 次発掘調査報告書 平成 17 年度～ 19 年度, 23,24 年度国庫及び県費補助事業に伴う市内遺跡発掘調査等事業 - 静岡県磐田市市内遺跡確認調査報告書
御前崎市教育委員会 菊川市教育委員会 静岡県立美術館 静岡市東海道広重美術館 静岡市立芹沢銈介美術館	御前崎市の指定文化財 埋蔵文化財調査報告書第 12 ～ 15 集 文化財年報第 6,7 号 「アマリリス」No.108・110～116 平成 23 ～ 25 年度年報 「芹沢銈介 - 静岡が生んだ色ともようの天才芹沢銈介」 「芹沢銈介文集 2013」 「柳宗悦と芹沢銈介 - 美と暮らしがとけあう世界へ」 「50 の作品でたどる芹沢銈介 88 年の軌跡」
静岡市立登呂博物館	特別展「弥生の戦いその時登呂ムラは !?」 「縄文そして登呂 - 八ヶ岳山麓から駿河湾」 お米図鑑農具編「米づくりの今昔 - 見て、触って、動かす農具」
島田市博物館	企画展「山本晶司 - 人生を描きて」 たより vol.17,19 「島田市名誉市民森昌也展 - わが道」 年報第 11,12 号
沼津市明治史料館 沼津市歴史民俗資料館	史料目録 36 沼津測候所文書目録 企画展「沼津の船大工道具」 資料集 27 古文書 (14) 紀要 37,38 たより第 197 ～ 200 号 「資料館だより」 Vol.38 ・ 39
浜松市博物館	特別展初山宝林寺開創 350 年記念「浜松にもたらされた黄檗文化」 「平安時代の陶芸と技」 館報第 25,26 号 「博物館情報」第 242 ～ 252 号 たより第 118 ～ 121 号
浜松市 浜松市教育委員会	浜松城天守門整備工事報告書 浜松城跡 8,9 次 舞阪町天白遺跡 2 次 梶子遺跡 14 次 狐塚古墳 松東遺跡 3 次 梶子遺跡 15 次 北新屋 B 古墳群・大屋敷古窯跡群・北新屋遺跡・讓栄Ⅲ遺跡確認調査報告書 都田山十六遺跡 村上遺跡 吉名古窯跡群 - 1 号窯の発掘調査 平成 23 ～ 25 年度文化財調査報告

- 焼津市歴史民俗資料館  
23 愛甲昇寛  
愛知学院大学  
愛知学院大学大学院  
愛知学院大学文学会  
愛知県教育委員会
- 愛知県教育委員会文化財課  
愛知県公文書館  
愛知県社会科教育研究会尾張支部会  
愛知県生涯学習推進センター  
愛知県総務部法務文書課史編さん室
- 愛知県陶磁美術館  
愛知県埋蔵文化財センター
- 愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所  
愛知県立大学  
愛知淑徳大学  
愛知大学総合郷土研究所  
愛知大学博物館学芸員課程  
あいちトリエンナーレ  
熱田神宮宮庁  
熱田神宮宝物館
- 荒木集成館  
安城市教育委員会  
安城市歴史博物館
- 石井敏昭  
磯貝政司  
一宮空襲と戦争を伝える会  
一宮地場産業ファッションデザインセンター  
一宮市萩原町朝宮郷土誌編纂委員会  
一宮女学園
- 年報 26～28  
歴史考古学第 8 号昭和 57 年 3 月  
考古学発掘調査報告 15,16  
文学研究科文研会紀要第 24,25 号  
考古学発掘調査報告 1 7,18  
愛知学院大学論叢文学部紀要第 42～44 号  
国重要文化財指定記念展「朝日遺跡よみがえる弥生の技」  
愛知県の民俗芸能・愛知県民俗芸能緊急調査報告書  
愛知県生涯学習推進計画 - 自己を高め地域とのつながり未来を築く生涯学習社会  
同 - 自己を高め地域とのつながり未来を築く生涯学習社会概要版  
愛知県の近代化遺産 - 愛知県の近代化遺産 (建造物等) 総合調査報告書  
第 54 回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会記録集  
埋蔵文化財関係統計資料 発掘調査のてびき - 各種遺跡調査編  
「適正な埋蔵文化財行政を担う体制等の構築について」(報告)  
平成 26 年 5 月登録有形文化財建造物目録  
【DVD】第 54 回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会記録集 文化財年報 7,8  
地震から文化財建造物を守ろう! Q&A  
たより第 18・19 号  
かがやく大愛知  
「まなびいあいち」No.40・41・43・45～48  
愛知県史資料編 14 中世・織豊, 資料編 15 近世 I 名古屋・熱田,  
資料編 21 近世 7 領主 1, 資料編 24 近代 1・政治行政 1,  
資料編 31 近代 8・流通・金融・交通  
愛知県史別編文化財 3 彫刻 愛知県史研究第 17,18 号  
企画展「高麗李朝の工芸 - 陶磁器、漆器、金属器」 館報第 20,21 号  
調査報告書第 173～175 集, 第 178～180 集, 第 181 集桑下城跡本文篇,  
図版篇, 第 182～185 集, 186 集 - 遺構編, 同 - 遺物・自然科学分析・総括編,  
第 187～189 集, 第 193,195,196,198,201 集  
【CD-ROM】調査報告書第 173～175 集, 第 178～180 集,  
第 181 集桑下城跡本文篇, 図版篇, 第 182～185 集, 186 集 - 遺構編,  
同 - 遺物・自然科学分析・総括編, 第 187～189 集, 第 193,195,196,198,201 集  
研究紀要第 14,15 号 平成 24～26 年度年報  
文化財保存修復研究所日本画部門  
綿工業地域の形成 - 日本の近代化過程と中小企業生産の成立  
ラブレミューズへのみち増刊号  
紀要第 58,59 輯 ブックレット 23  
年報第 18 号  
アーツチャレンジ 2013 あいちアートプログラム実施報告書  
「あつた」第 242～245 号  
特別展「神剣のふるさと出雲の名宝」 「七福神・幸福・富貴・長寿を願って」  
企画展「うま・午・馬 - 馬の塔を中心に」 たより No. 193～204  
きりん第 17,18 号 パンフレット No. 214～219  
埋蔵文化財発掘調査報告書第 28～33 集 文化財調査報告書第 4 集  
特別展「三州に一揆おこりもうすー三河一向一揆 450 年」  
「南吉が安城にいた頃」 「龍燈の湖 - 油ヶ淵の過去・現在・そして未来へ」  
「安城ゆかりの大名時代を駆け抜けた武将 - 加藤嘉明」  
「大交流時代 - 鹿乗川流域遺跡群と古墳出現前夜の土器交流」  
企画展「千客万来 - 安城を彩った広告」 「安城の文化財 - モノ語り名品展」  
「安城の文化財～モノ語り名品展Ⅱ」 ニュース No. 88～95  
「アッパレ! 宮大工 - 安城の寺社建築を知る」 安城市歴史研究第 38,39 号  
安城市民ギャラリー・安城市埋蔵文化財センター・犬山苑年報第 22,23 号  
一宮市の神社写真集  
長良川漁師口伝 - 僕たあ、長良川の漁師に生まれてよかったなあ  
子どもたちに伝えたい一宮空襲と戦争の記憶  
糸がつむぐお話 一宮のまちと繊維産業 (末松グニエ文著)  
改訂郷土誌朝宮  
地域に根づく教えここに一宮女学園のあゆみ

市橋毛織物工業  
稲沢市荻須記念美術館  
稲沢市教育委員会

INAX ライブミュージアム  
犬山里山学研究所  
犬山市教育委員会  
犬山城白帝文庫

岩井章真  
岩崎城歴史記念館  
岩田洗心館  
大口町教育委員会  
大口町歴史民俗資料館  
大府市歴史民俗資料館  
岡崎市教育委員会

岡崎市美術博物館

尾崎士郎記念館  
尾張小牧歴史文化振興会  
春日井市教育委員会

春日井市道風記念館

春日井未琴  
加藤道隆  
蟹江町教育委員会  
蒲郡市博物館

亀山雪峰  
刈谷市教育委員会  
刈谷市美術館  
北名古屋市  
北名古屋市歴史民俗資料館  
清須市教育委員会  
清須市はるひ美術館

考古学フォーラム  
幸田町教育委員会  
江南市歴史民俗資料館

国際デザインセンター  
後藤順  
古代邇波の里  
小牧市教育委員会

市橋毛織の概況  
年報平成 24,25 年度  
尾張国分寺跡史跡保存整備基本思想  
船橋市場遺跡発掘調査報告書 文化財調査報告 LIX,L VII  
尾張大國霊神社尾張国府跡緊急発掘調査報告書  
稲沢市史資料編長福寺文書 I 稲沢市史資料第 48 編  
2014 歴史と文化のまち稲沢市文化財探訪 X-3  
「NEWS LETTER」 vol.27 ~ 134  
「あいちモリコロ基金」大規模活動助成の成果里山学研究所～生物多様性保全課題～ Vol.1  
埋蔵文化財調査報告書第 11,12 号  
特別展「城主のおもてなし」 「犬山城と成瀬家 - 正成から正肥まで」  
研究紀要第 7,8 号 「歴史文化館だより」 vol.9 ~ 11  
産業遺産研究第 20 号  
特別展「日進歴史探訪 - 日進村から現代へ」  
「今井焼 - 埋もれた創業の記憶」  
No.9 第 2 版「ひなまつり」 研究紀要 X I 年報 15,16  
図録 No.13「むかしなつかし道具たち」 研究紀要 X  
年報第 24 号 (平成 24 年度)  
旧日本多忠次郎邸移築復原工事報告書 旧日本多忠次郎丸山城跡  
一ノ坪遺跡・安藤屋敷跡 民俗文化財調査報告書 I  
瀧山寺日吉山王社総合調査報告 II 史研究第 33,34 号  
企画展「徳川四天王本多忠勝と子孫たち - 岡崎藩主への軌跡」  
「祈・PRAY ~ 古今東西祈りの風景」  
大樹寺文書上岡崎市史料叢書 研究紀要第 5 号  
年報平成 23・24 年度 「アルカディア」 vol.56 ~ 163  
企画展「尾崎士郎と早稲田大学」  
小牧山城秘話 - 信長はなぜ小牧山に城を築いたか  
遺跡発掘調査報告第 13 集 平成 24 年度市内遺跡調査概要報告書  
「春日井シンポジウム 20 年の歩み」 「郷土誌かすがい」 第 72・73 号  
特別展「藤井文庫消息名品展」 「比田井天来の書」  
「道風記念館だより」 第 47・48 号  
織機アルバム  
一宮文学第三七号  
歴史民俗資料館年報第 33・34 冊  
特別企画展「蒲郡のあゆみ」 所蔵文書目録  
埋蔵文化財発掘調査報告書～竹谷城跡・五井城跡・形原城跡  
第三十回記念愛ランド 21 游墨会書道展  
「刈谷城築城 480 年記念展」  
収蔵作品目録 平成 24・25 年度年報  
しむしむき北名古屋彫刻ガイドブック  
埋蔵文化財調査報告 1 研究紀要 7  
埋蔵文化財調査報告 VII 清洲城下町遺跡 VI, VII  
「清須市誕生 7 周年渡辺おさむ - お菓子の美術館」  
「清須市第 7 回はるひ絵画トリエンナーレ」  
「論集馬見塚」  
幸田町社寺文化財調査報告第 1,2 集  
企画展「天神さん人形展 (3) - 西日本を中心にして」  
「戦前の巳年年賀状展」 「尾張名所図会展 (1) 葉栗郡の部」  
「懐かしの時代劇スター写真展」 年報平成 24,25 年度  
「昭和の時代と風景 - 理念・観光たばこの図柄から」  
「戦前の午年年賀状展」 「尾張名所図会展 (2) - 丹羽郡の部」  
2012,2013 国際デザインセンター年次活動報告  
図解河野善龍寺  
研究紀要「邇波」創刊号  
古文書目録シリーズ 7 市内遺跡発掘調査報告書 (21) (22)  
掘の内一丁目地内史跡小牧山主郭地区第 4 次発掘調査概要報告書  
小牧の神社～資料編 まちづくり～新しい時代の扉～ [報告書]

是澤紀子	小牧山城築城 450 年記念事業 - こまき信長・夢フォーラム信長の
産業技術記念館	デフォレスト館建造物調査報告書 建築遺産保存と再生の思考 - 災害・空間・歴史
至学館大学	館報 vol.61 ~ 168
新城市教育委員会	至学館大学公開講座 - 日本の祭シンポジウム報告書
杉本美術館	新城城跡発掘調査報告書Ⅱ,Ⅲ 新城市武田勝頼戦地本陣跡発掘調査報告書
椛山女学園大学学芸員委員会	たより第 104 号~第 111
瀬戸蔵ミュージアム	BSM (Bulletin of Sugiyama Museology) 第 19,20 号
	企画展「瀬戸の植木鉢園芸ブームを支えた江戸・明治のうつわ」
瀬戸市美術館	「陶祖博 - 陶祖伝説とその時代」
瀬戸市文化振興財団	河井寛次郎記念館 40 周年記念 - 河井寛次郎の陶芸~科学者の眼と詩人の心~
	企画展「古瀬戸中期様式の展開」 調査報告第 49,51,52,54 集
	「古瀬戸後期の様相 - 古瀬戸系設釉陶器窯の成立と展開」
高橋記念美術文化振興財団	「VOICE」Vol.15
高浜市	高浜市人形文化活性化シンポジウム吉浜細工人形・菊人形・そして
	まちづくり記録集
	【DVD】伝統技芸吉浜細工人形の世界~その歴史と伝承活動のあらまし~
高浜市やきものの里かわら美術館	特別展「土の物語 - ヒメナ&スティーブン」
	「Dolls Collection 時をかける等身大人形・細工人形・菊人形からマネキン・フィギュア・ロボットまで」
	「鬼と妖怪の造形水木しげるの作品とともに - 同時開催水木しげるの戦争と新聞報道」
	コレクション展「誰もいない世界」鑑賞ガイドブック
	収蔵作品井上博道 木村伊兵衛 芳賀日出男花祭
竹田繁良	伝承地でたどるヤマトタケルの足跡尾張・美濃・近江・伊勢
武豊町教育委員会	知多郡武豊町長尾城跡発掘調査報告書
田中三郎	いちのみやし街の彫刻・オブジェ・モニュメント いちのみやし大和町の史録
	一宮大空襲 1 回目は 7 月 12 日 真清田神社参詣散歩抄
	木曾川畔童ヶ丘雀のお宿と野田素峰氏 木曾川風物紀要河畔の里きたがた補遺版
	日本の美術 4 ~ 6,9 ~ 11 文化財講座日本の美術 2 ~ 9,14,16
谷口宰	太平洋戦争と下飯田国民学校の学童疎開
田原市教育委員会	特別展「渥美窯~国宝を生んだその美と技」
	企画展「渥美線渥美半島と外界をつなぐ鉄道の物語」
	「神様になった伊良湖の歌人糟谷磯丸~まじない歌の世界」
	「渡辺崋山・椿椿山が描く花・鳥・動物の美」
	埋蔵文化財調査報告書第 6,7 集
	研究紀要第 6 号 年報第 20 号 田原の文化第 39,40 号
	「崋山会報」第 30・32・33 号
地域社会研究会	地域社会通巻 67,68 号
知多市教育委員会	知多市文化財資料第 42 集 - 知多市の漁民習俗調査報告書
知多市歴史民俗博物館	特別企画展「山本梅荘一門展 - 尾張南図の美とところ」
	「宮脇綾子アプリケでつづる暮らしの風景」 年報第 14,15 号
中部産業遺産研究会	中部における産業遺産研究のあゆみ - 中部産業遺産研究会創立 20 周年記念誌
中部大学民族資料博物館	「NEWS LETTER」vol.4 ~ 6 企画展「春日井キャンパスの 50 年」
中部古民家再生協会	日本の伝統 2014/1
知立市歴史民俗資料館	企画展「池鯉鮒の馬市」 「荒新切遺跡展 - 西中遺跡群と新出土器」
	「池鯉鮒宿今昔」 収蔵品展「資料館にやってきた農具たち」
	知立のからくりⅡ 年報平成 24,25 年度
東海市教育委員会	東海市畑間・東畑・龍雲院遺跡発掘調査報告
	東海市畑間・東畑・郷中遺跡発掘調査報告 - 平成 11 ~ 19 (1999 ~ 2007) 年度調査
	〈本文編〉〈図版編〉
	平成 24 年度畑間・東畑遺跡発掘調査報告 嚶鳴館遺稿注釈文人編 2
同朋大学仏教文化研究所	展示「続・本能寺教如と三河・尾張・美濃」 紀要第 33 号
	「江戸期宗学から尾張教学へ - 真宗僧侶の学問世界」 所報第 27 号
徳川美術館	「葵」No.86 ~ 93
富板智	新旭町誌
豊川市教育委員会	下六光寺遺跡 - 豊川西部土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書
豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	年報平成 24,25 年度
豊田市教育委員会	埋蔵文化財発掘調査報告書第 52 ~ 61 集
	平成 23,24 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書

	指定有形文化財旧山内家住宅保存修理工事報告書
	指定有形文化財遊佐家長屋門保存修理工事報告書
	指定文化財旧紙屋鈴木家住宅調査報告書
	指定文化財 - 旧紙屋鈴木住宅旦過寮修理工事報告書
	重要文化財旧鈴木家住宅民具調査報告書商家・旧紙屋鈴木家の暮らしと商いの道具
	史跡松平氏遺跡 - 高月院・松平氏館跡保存整備事業報告書
	豊田市遺跡地図 豊田市史研究第 4,5 号 新修豊田市史 15,18
	新修豊田市史 - 資料編近世 I, 同 - 別編～美術・工芸
	「新修豊田市史だより」第 12・13・15 号
豊田市郷土資料館	特別展「一弓入魂 - とよたの弓文化をさぐる」
	「自動車を愛した豊田英二ものづくりのまち豊田市への歩み」
	【DVD】とよたの祭事記録 - 宇内戸の門念仏
	たよりNo.84～90 しりょうかんだより(子ども版)No.28～32
豊田市史編さん室	たより第 14 号
豊田市民芸館	企画展「名誉市民本多静雄コレクションⅡ」
	「名誉市民本多静雄コレクションⅢ」
	「筒描～木綿に描かれた藍のデザイン」 たより第 14～17 号
豊田市美術館	ボイス vol.14
トヨタ博物館	紀要No.19～21 たよりNo.90～93
豊田昌夫	若冲畫譜 西洋名画百選前輯 日本寫真帖 佐分真 麗素 無碍録
	喝山録 織物の知識 (SAMPLE BOOK) 國史肖像集成將軍篇 (第二輯)
	「妙興寺展」名古屋市名所団扇絵集 型染 尾崎久弥コレクション目録第一～三集
豊橋市教育委員会	調査報告書第 121,125,127 集
豊橋市自然史博物館	「はてな?なるほど!ザ・カタツムリ」「大地のめぐみとその魅力」
	研究報告第 24 号 年報第 25 号,26 号
豊橋市地下資源館	年報平成 24,25 年度
豊橋市美術博物館	「鬼・オニ・ONI展」 「渡辺小華とその時代 - 郷土画人展Ⅱ」
	「F氏の絵画コレクション福沢一郎から奈良美智世代」
	特別企画展「近代日本画の名作 - 描かれた日本の美」
	収蔵品目録〔美術Ⅱ〕2000-2010 研究紀要第十七号
	年報平成 22,23 年度 「風伯」第 85 号・88 号～91 号
豊橋市二川宿本陣資料館	「歌麿とその時代展 - 江戸の華・美人画と役者絵の世界」
	「歌麿とその弟子から歌川派勝川派の絵師たちまで - 浮世絵全盛期の珠玉の名品」
	「旅人、川を渡る - 橋・渡船・徒渡し」
	「江戸時代旅の案内書」
	「美濃路展 - 宮・名古屋・清須・稲葉・萩原・起・墨俣・大垣・垂井」
	「旅セヨ乙女江戸時代おんなたちの旅」 絵葉書のなかの豊橋Ⅱ
ナカシャクリエイト株式会社	[DVD] 1. 妙興寺文書荒尾宗顕寄進状 2. 妙興寺文書中島長利寄進状
	3. 三八市高札 4. 真清田神社古絵図 5. 妙興寺文書足利善政御教書
	6. 妙興寺文書豊臣秀吉状断簡
	7. 妙興寺文書減宗宗興自筆圓光寺開山塔天端塔領注文
名古屋画廊	西村千太郎作品集 市野長之介作品集
名古屋経済大学学術研究センター	センター通信No.20
名古屋港水族館	「さかなかな」vol.77～184
名古屋市	パブリックアートマップ - まちなかの彫刻巡り
	名古屋市西区朝日遺跡第 21 次発掘調査報告書
名古屋市教育委員会	文化財叢書第 97 号
名古屋市市政資料館	新修名古屋市史資料編考古 2, 近代 3
	「新修名古屋市史だより」第 31・32 号
名古屋博物館	特別展「奥三河のくらしと花祭・田楽」
	「NIPPON パノラマ大紀行 - 吉田初三郎のえがいた大正・昭和」
	「三英傑と名古屋」 「感じる縄文時代ガイドブック」
	「名古屋城下お調べ帳」 「幽霊・妖怪画大全集」
	「大浮世絵展」 資料図版目録 9「尾張のやきもの(古代・中世)」
	資料叢書 3 猿猴庵の本東街便覧図略巻四
	【DVD】デジタル版名古屋城下お調べ帳 研究紀要第 37 巻 年報No.36
	たより第 205・207・209～212 号 「アートペーパー」第 92～97 号

名古屋市秀吉清正記念館	特別陳列「豊臣秀次」 「秀吉からの手紙」
名古屋市蓬左文庫	「蓬左」No.86～88
名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市-熱田C遺跡株式会社山善社屋建設に伴う埋蔵文化財調査報告書 瑞穂遺跡発掘調査報告書名古屋市瑞穂区豊岡通2丁目4番所在埋蔵文化財調査報告書 名古屋市中区- 竪三蔵通遺跡栄一丁目2207・2208番地内埋蔵文化財調査報告書 名古屋市中区- 富士見町遺跡大井町302番地内埋蔵文化財調査報告書 名古屋市中区- 正木町遺跡正木二丁目3番地内埋蔵文化財調査報告書 名古屋市高蔵遺跡-平成17・18年度マンション建設に伴う発掘調査 名古屋市中区正木町遺跡正木一丁目7番地内埋蔵文化財発掘調査報告書 天白元屋敷遺跡 名古屋市瑞穂区瑞穂遺跡豊岡通2丁目62番地内埋蔵文化財発掘調査報告書 文化財調査報告82～85 研究紀要第13～15号 年報29
名古屋城管理事務所	特別展「天下人への道-信長、秀吉、家康の合戦」 名古屋城三の丸遺跡金シャチ横町事業に伴う発掘調査報告書 報告第28号
名古屋大学博物館	名古屋大学文学部研究論集176,179
名古屋大学文学部考古学研究室	「佐々木豊展震災三部作とそれから薔薇に向かって泳げ」
名古屋日動画廊	博物館資料の再生-自明性への問いとコレクションの文化資源化
南山大学人類学博物館	紀要第31～33号 第25回赤いろろそく
新美南吉記念館	企画展「魚・サカナ・さかな」 たよりNo.37～45
西尾市岩瀬文庫	「殿様は、すごい本を出していた～板倉重矩の知られざる出版活動とその影響」 「書入れ本は語る-紙の本の魅力2」 「中川一政押絵展」 「旅への誘い～江戸時代の旅の本から」 「正月はめでたい！」 「江戸の風景-広重『名所江戸百景』と岩瀬文庫所蔵の江戸風景画」 「こんな本があった！岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告展11」 「こんな本があった！岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告展12」 「珍獣動物園へようこそ～江戸時代の本に見えるふしぎなイキモノたち」 幡豆町史本編編3近代・現代
西尾市教育委員会	幡豆歴史民俗資料館企画展「幡豆地区の城館」 尾崎士郎没50周年記念企画展「尾崎士郎記念館名品展」 吉良家日記吉良町史別冊資料
日進市教育委員会	折戸(0)-110号窯跡発掘調査報告書
日本モンキーセンター	年報平成24,25年度 「NEWS LETTER 第1・2号」
博物館明治村	年報平成24,25年度 たよりvol.71～vol.78
半田市立博物館	日本工芸会東海支部人形部会正会員展「桐塑人形」 特別展「海辺のロマン-知多半島の磯にひろう」 「山本梅荘展」 企画展「内海焼の流れをくむ陶芸展」 「板山の獅子芝居-愛知県半田市」 「内海焼の流れをくむ陶芸展」 日本工芸会東海支部人形部会正会員展「桐塑人形」 写真で見る半田の祭りⅢ 民具図録Ⅱ 半田の気候環境 半田市誌資料篇Ⅵ,同-近現代1,同-宗教編,同-資料編Ⅲ,同-地区誌篇亀崎地区 新修半田市誌本文篇上、中、下巻 研究紀要No.21 たより第9～12号 年報・紀要(平成24,25年度) 「友の会だより」第28～30号
東車維持財団	叢書九伊勢の神宮と式年遷宮-日本文明の継承
土方峰子	軍隊生活(海軍)の追憶階級元海軍二等兵曹(小島晃著)
尾州織物工業共同組合	織物紀行 織物道中記
尾北善隣史研究会	「温故」第150,152号
船橋正員	さみだれの記
碧南海浜水族館	年報第25,26号
碧南海浜水族館	「マリンドリーム」No.70・71・73・75
碧南市教育委員会	碧南市史料第69,70集
碧南市藤井達吉現代美術館	企画展「原裕治展-かたちとしての奔流と止水」 「碧南が生んだ戦国武将永井直勝とその一族」 「もうひとつの『絵の話』伊藤廉」 名品展「墨色の輝き」 年報平成22・23年度/研究紀要No.2
鳳来寺山自然科学博物館	館報第42,43号

前田新生	大口・五条川「歴史と現況を探る」
松坂屋	企画展 Vol.1 ～ 16
萬葉公園顕彰会	一宮市萬葉公園顕彰会 50 年のあゆみ
南知多町教育委員会	南知多町指定文化財尾州廻船内海船船主内田佐七家保存修理工事報告書
三輪盈夫	中国收藏中国青瓷 中国民間個人收藏名硯珍藏
みよし市	新編三好町誌古窯跡調査報告書 本文編
みよし市立歴史民俗資料館	特別展「生誕 160 年記念みよしの "イ" 人酒井利泰」 「100 年間のコレクション～石川家に伝わるモノたち」
メナード美術館	「舟越桂 2012 永遠をみるひと」KATSURA-FUNAKOSHI2012SEEING ETERNITY
野外民族博物館リトルワールド	年報第 26 号 (2003 年度～ 2012 年度)
弥富市歴史民俗資料館	企画展「没後五十年漢詩人服部擔風」
24 桑名市教育委員会	竹内聰子氏寄贈資料目録 今村功昆虫標本目録第 1 集 桑名市内所在資料目録 1 新桑名市誕生 10 周年記念シンポジウム「戦国・織豊期@桑名」資料集 国名勝旧諸戸氏庭園土堀修理工事報告書 文化財調査報告書(平成 22,23 年度) 特別企画展「葛飾・広重・国芳 - 浮世絵に見る東海道五十三次・桑名一」 企画展「武門の縁 - 忍・桑名・白河、幕末～の軌跡」 館報第 24 号 紀要第 1 号 年報第 1 号 特別展「齋宮誕生」 「伊勢と熊野の歌」 史跡齋宮跡平成 23 年度発掘調査概報 たより No. 70 ～ 73 式年遷宮記念神宮美術館第三輯 特別展「伊勢湾をめぐる交流」 「優品でみる鈴鹿の遺跡」 速報展「発掘された鈴鹿 2012」 「発掘された鈴鹿 2013」 伊勢国府跡 15,16 磐城山遺跡(第 4・5 次)・須賀遺跡(第 5 次)・平田遺跡(第 19・22 次)発掘調査報告書 保子里遺跡発掘調査報告書Ⅱ 年報第 14,15 号
桑名市博物館	鈴屋学会報第 30,31 号 「ふみの森探検隊」No. 7・9 ～ 14 開館 40 周年記念図録「新版本居宣長の不思議」 松坂の一夜 250 年記念「宣長の世界」 宣長の版本 埋蔵文化財調査報告書 31 ～ 34, 文化財年報 7 ～ 9 「まいぶん津」第 11・12 号 尾鷲の古文書(4) 埋蔵文化財報告書 14 平成 24 年度年報 ニュース第 12 ～ 15 号 「みえんしす」1 ～ 3 号 埋蔵文化財調査報告 115-30 同 115-32 同 115-33 埋蔵文化財調査報告 334 ～ 336, 338 ～ 341, 343 ～ 363 水と大地といにしえの人びと - 松阪市浅見地区の発掘調査 研究紀要第 23 号 埋蔵文化財発掘調査概報 25 (平成 24・25 年度調査) 近畿自動車道名古屋神戸線(四日市 JCT ～ 亀山西 JCT) 建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ,Ⅳ 平成 23 ～ 24 年度埋蔵文化財年報 度会郡日向村中野家資料目録 三重の軽便鉄道 - 廃線の痕跡調査 子どもが主役の博物館づくり事業実施報告書 「アジアをつなぐ～境界を生きる女たち 1984-2012」 「平柳田中展ひらくしでんちゅう」 「八島正明展」 「極小の宇宙手わざの粹 - 伊勢型紙の歴史と展開」30 周年記念特別号 齋宮跡埋蔵文化財調査報告 29 ～ 31 「さいくうあと通信」(1) 第 11 ～ 15 号 一般国道 1 号北勢バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅹ I 埋蔵文化財発掘調査報告書 44,45,46,46 科学分析・総括編,46 写真図版編, 46 遺構編,46 遺物編,47 ～ 49 「久留倍官衛遺跡整備ニュース」vol.1 ～ 3 Shinkirou NaokiHonjo 愛知の力石 埋蔵文化財発掘調査報告書 44 ～ 50 平成 23,24 年度文化財年報
皇学館大学	
皇学館大学研究開発推進センター	
斎宮歴史博物館	
神宮美術館	
鈴鹿市考古博物館	
鈴屋学会	
本居宣長記念館	
津市教育委員会	
津市埋蔵文化財センター	
尾鷲古文書の会	
松阪市教育委員会	
松阪市文化財センター	
三重県新県立博物館	
三重県総合博物館	
三重県埋蔵文化財センター	
三重県立博物館	
三重県立美術館	
明和町	
四日市市教育委員会	
四日市市立博物館	
四日市大学 高島慎助	
25 近江八幡市教育委員会	

<p>大津市歴史博物館 草津市教育委員会 滋賀県立大学人間文化学部 滋賀県立琵琶湖文化館</p>	<p>たよりNo.89・91・93・94・96・97 史跡草津宿本陣(長屋ほか2棟)保存修理工事報告書 学芸員課程報告書第15,16号 研究報告-人間文化33,33別冊34~37号 「受け継がれゆくいにしへの美~よみがえった琵琶湖文化館収藏品」 紀要第29,30号</p>
<p>長浜城歴史博物館 長浜市教育委員会 彦根城博物館 守山市教育委員会</p>	<p>たより第38・39号 "埋蔵文化財調査資料第140~146,149集 壹史跡小谷城跡保存管理計画書 たよりNo.101~108 伊勢遺跡確認調査報告書Ⅷ 下之郷遺跡発掘調査報告書Ⅶ 古高城遺跡発掘調査報告書 山田町遺跡発掘調査報告書 史跡伊勢遺跡保存管理計画書 伊勢遺跡確認調査報告書Ⅷ 文化財調査報告書平成22・23年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書 下之郷遺跡確認調査報告書Ⅷ 企画展「登場!大型建物-近江の弥生集落」 埋蔵文化財調査報告2012(平成24年度)年報 文化財修理報告書vol.12(2014) 特別陳列「琵琶湖文化館秘蔵品で味わう錦秋から白銀へ」 文化財調査の舞台裏 「技術者の系譜古代近江の金属生産」 「幻の白鳳寺院-逸名の寺をさぐる」 埋蔵文化財調査報告2010,2011年度年報 はっくつ2011~2013 栗東発掘再発見Vol.2~4 遺跡めぐりマップVOL.2</p>
<p>守山市埋蔵文化財センター 栗東歴史民俗博物館</p>	<p>東近江市埋蔵文化財調査報告書第20~25集 東近江市史能登川の歴史第2巻中世・近世編</p>
<p>栗浪文化財修理所 安土城考古博物館 栗東市出土文化財センター</p>	<p>埋蔵文化財調査報告書第2集 伊吹町文化財調査報告書第3,4,10集 伊吹町内遺跡分布調査報告書 杉沢遺跡発掘調査概要報告書 「佐加太」第37~41号 研究紀要第16,17号 埋蔵文化財発掘調査報告書第13集 竜王町文化財資料集第3集 埋蔵文化財調査報告書(59),(62),(64)~(68),(70)~(77) 埋蔵文化財調査報告書石山国分遺跡発掘調査報告書Ⅱ 埋蔵文化財調査年報平成23年度 紀要第4~6号 「Shangri-La」vol.31・33 埋蔵文化財調査報告書第14集 特別展「宇治電-水力の時代へ」 新宇治の碑-路傍の語り部たち 初三郎式鳥瞰図「誕生」100年「日本パノラマ大図鑑」 収蔵資料調査報告書15,16 年報平成23,24年度 年報(平成21・22年度) 「リーフレット京都」No.255~No.278 京都市一乗向畑町遺跡出土縄文時代資料~資料編,考察編 年報平成23~25年度 「ニュースレター」No.28~33 歴史遺産調査報告2012,2013" 紀要朱雀第25,26集 2012,2013年度年報 「館報」第95・97~100号 調査研究報告第12集 館報第16,17号 企画展「向日里人物志の世界-近世乙訓の文化サロン」 「むこうし・おとくにの絵図・地図・写真-うつりかわる景観」 学芸員課程研究報告第14冊 「学芸員NEWS LETTER」第25~27号 威信財としての袈裟-南浦招明所用袈裟をめぐって 市制施行70周年記念写真集 平成24年度文化庁ミュージアム活性化支援事業ふるさとの民具 ふるさとの民具-泉大津市立織編館収蔵民具 志学台考古第14号 文化財研究第14号 報告書第60,61冊 たよりNo.113~116 調査研究報告書第1冊 志学台考古第13号 文化財研究第13号 ニュースvol.47~154</p>
<p>東近江市教育委員会</p>	
<p>米原市教育委員会</p>	
<p>野洲市歴史民俗博物館 竜王町教育委員会 大津市教育委員会</p>	
<p>成安造形大学 MIHO MUSEUM 多賀町教育委員会</p>	
26	<p>宇治市歴史資料館</p>
<p>京都市考古資料館 京都大学考古学研究室 京都大学総合博物館 京都橘大学 京都文化博物館 高麗美術館 同志社大学歴史資料館 向日市文化資料館</p>	
27	<p>立命館大学文学部 山川 暁 泉大津市教育委員会</p>
<p>大阪大谷大学 大阪大谷大学博物館 大阪大谷大学文化財学科 大阪くらしの今昔館</p>	
<p>大阪大学埋蔵文化財調査委員会 大阪府立狭山池博物館</p>	<p>待兼山遺跡Ⅴ 埋蔵文化財調査室年報3 特別展「近世狭山池の水利変革~番水と水利技術~」 研究報告2014/8</p>

大阪大学大学院 大阪市立美術館 大阪文化財研究所	文化庁文化遺産地域活性化推進事業 - 町中古墳と「倭の五王」の時代 たより vol.179 ~ 183 大坂城跡XVI, XVII 大阪城下町跡III 旭区森小路遺跡発掘調査報告III 住吉区山之内遺跡発掘調査報告VI, VII 生野区細工谷遺跡B地点発掘調査報告 生野区生野東遺跡発掘調査報告 西成区長橋遺跡発掘調査報告 中央区森の宮遺跡III 鶴見区横堤遺跡発掘調査報告 天王寺区北河堀町所在遺跡発掘調査報告 東成区大今里遺跡発掘調査報告 東住吉区矢田遺跡C地点, D地点発掘調査報告 東淀川区井高野遺跡発掘調査報告 東淀川区三宝寺跡伝承地D地点発掘調査報告 東淀川区崇禅寺遺跡発掘調査報告III, 同遺跡B地点発掘調査報告 東淀川区西淡路1丁目所在遺跡発掘調査報告書III 東淀川区東中島遺跡B地点発掘調査報告 東淀川区豊里遺跡, 豊里遺跡B地点発掘調査報告 平野区・東住吉区・瓜破・住道矢田・矢田遺跡発掘調査報告本文, - 同図版 平野区加美遺跡発掘調査報告IV, V 平野区喜連西遺跡発掘調査報告III 平野区長原遺跡発掘調査報告第26,27冊 北区長柄西遺跡B地点発掘調査報告 浪速区日本橋東遺跡発掘調査報告 浪速区浪速西遺跡発掘調査報告 平成21~25年度(独)日本學術振興會-科学研究費補助金基盤研究(A)大阪上町台地の総合的研究 難波宮址の研究第19,20 紀要第14~16号 「葦火」第163~174号 年報平成23~25年度 特別展図録「貝塚御坊願泉寺と平成の大修理」 「水間寺の歴史と寺室」 文化財年報9~12 「ゴンドラ」No10・11 企画展「河内大橋」 「難波より京に至る大道を置く」 「縄文から弥生へ-船橋遺跡の縄文絵画土器が語るもの」 古文書調査報告書第九集 高井田横穴群 館報第25,26号 文化財調査報告書55~57輯 くろまる館(ふるさと歴史学習館)常設展示のご案内 「みんぱく」第427~430・432~450号 「友の会ニュース」第212~217・219~222・224・225号 【DVD】新兵庫史を歩く官兵衛の夢に思いを馳せて~姫路市 文化財調査報告第46集 奈良井遺跡発掘調査概要報告書 特別展「交通の20世紀-吹田操車場と名神高速」 「近代趣味人の美意識-第十一代西尾興右衛の世界」 「一片の瓦から~東アジアにふれる~」 埋蔵文化財発掘調査報告集2 五反島遺跡の発掘調査 北泉遺跡発掘調査報告書 旧中西家住宅庭園調査報告書 館報14 平成24,25年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報 たよりNo.54~56・59・60 遺跡群発掘調査報告書XXX, XXXI 文化財年報平成23,24年度 国史跡高宮廢寺跡内容確認発掘調査概要I 「考古資料からみる八尾の歴史-旧石器時代~中世まで」 平成24,25年度(公財)事業報告 文化財調査報告第67,71,74集 文化財年報34,35 企画展「くらしのうつりかわり展-戦時下のくらしと復興」 「くらしのうつりかわり展~昭和の食と台所」 特別展「忠臣蔵の本尽くし」 「歌川国貞の忠臣蔵浮世絵」 特別展「下東条地区西部のくらしと祭り~江戸から昭和へ」 地球の宝を探そう!下東条区「地域調べ」記録集3 たよりNo.74~79 館藏品目録美術の部29,30,同-考古・歴史の部29,30 研究紀要第29,30号 たよりNo.103~106 「生活文化史」第41・42号 「NEWS」vol.30~32 西宮市現代史第一巻I, II, 同-第二, 三巻 特別展示展示案内図録「西宮の前方後円墳~津門稲荷山古墳をさぐる~」 「西宮の古文書~岡本家文書の世界」 研究報告第十集 西宮歴史調査団年報2012年版 ニュース第37・40号 百年史
大阪歴史博物館 貝塚市教育委員会	
柏原市立歴史資料館	
河内長野市教育委員会	
国立民族学博物館	
株式会社ニューヨーカー 四条畷市教育委員会 吹田市立博物館	
泉南市教育委員会 高槻市教育委員会 寝屋川市教育委員会 八尾市文化財調査研究会	
枚方市文化財研究調査会 28 明石市立文化博物館	
赤穂市立歴史博物館 小野市立好古館	
神戸市立博物館	
神戸深江生活文化資料館 竹中大道工道具館 西宮市 西宮市立郷土資料館	
日本毛織	

<p>姫路市立美術館 たつの市立龍野歴史文化資料館 多可町教育委員会 兵庫県立考古博物館</p>	<p>たより vol.118～125 特別展「豪農に伝来する絵画」 「トンボの文化史 - 童謡の里たつのにいて」 多可町文化財報告 20～22,25 特別展「鉄道がきた! 舟運・海運・馬車道・鉄道」 「後期古墳の世界 - 横穴式石室と木棺直葬」 「卑弥呼がいた時代」 「動乱! 播磨の中世 - 赤松円心から黒田官兵衛まで」 ふるさと発展展「邪馬台国時代の摂津と播磨」 「後期古墳の世界 - 横穴式石室と木棺直葬」 「NEWS」 vol.11～15 企画展「ひょうごの遺跡 Vol.5」, 同 -2014 展示解説図録「古代山陽道と野磨駅家」 古代体験交流事業全国古代体験フェスティバル 2014 事業実施報告書 研究紀要第 6,7 号 館報 vol13～15 「ひょうごの遺跡」第 85～91 号</p>
<p>神戸大学大学院 大手前大学史学研究所 神戸ファッション美術館 29 飛鳥資料館</p>	<p>ニューズレター 2 号 オープン・リサーチ・センター研究報告第一 「日本の男服 - メンズファッションの源泉」 特別展「はぎとり・きりとり・かたどり大地にきざまれた記憶」 企画展「飛鳥の考古学 2014- 縄文・弥生古墳から飛鳥へ」 「飛鳥・藤原京を考古科学する」</p>
<p>宇陀市教育委員会</p>	<p>史跡宇陀松山城跡出土資料展「鬼面百相」 文化財調査報告書第 3 集 文化財調査概要 8,10</p>
<p>橿原市教育委員会 クテ打組紐技法研究会 元興寺文化財研究所 香芝市二上山博物館 桜井市教育委員会 桜井市文化財協会</p>	<p>平成 20,21,22 年度〔2010 年度〕文化財調査年報 クテ打組紐技法入門応用編 研究報告 2013 特別展「葛城・広瀬考古学～古墳時代とその文化～」 埋蔵文化財発掘調査報告書第 39～41 集 特別展「HASHIHAKA- 始まりの前方後円墳」 企画展「金属利用の歴史～桜井市内出土遺物から～」 発掘調査速報展 19,20 発掘調査報告書 2011,2012 年度 大福遺跡を歩く II</p>
<p>桜井市纏向学研究センター 桜井市立埋蔵文化財センター</p>	<p>研究紀要纏向学研究第 1,2 号 桜井市纏向学研究センター年報第 0,1 号 特別陳列「山の辺の万葉歌碑をたずねて」 企画展「魅惑の玉」 纏向考古学通信 Vol.5・16</p>
<p>田原本町教育委員会</p>	<p>唐古・鍵考古学ミュージアム企画展 Vol.15「たわらもと 2013 発掘速報展」, 同 -Vol.16「弥生遺産～唐古・鍵遺跡の土器」, 同 -vol.17「弥生弥生遺産 II～唐古・鍵遺跡の木製品」 遺跡 6「弥生の王都 - 唐古・鍵」 文化財調査報告書第 6 集 年報 21,22</p>
<p>帝塚山大学考古学研究所 帝塚山大学附属博物館 天理大学附属天理参考館 奈良県立民俗博物館</p>	<p>研究報告 XVI, XV シンポジウム報告書論戦有間皇子を考える 館報 IX 館報第 26,27 号</p>
<p>奈良大学考古学研究室</p>	<p>企画展「大和の祭りと芸能」 たより第 104・105 号 玄関ホール写真集第 13 回「私がとらえた大和の民俗」図録 発掘調査報告書第 17 集本文編, 同 -図版編, 18 集</p>
<p>奈良文化財研究所</p>	<p>日本西アジア考古学会第 5 回総会・大会要旨集 飛鳥資料館特別展「飛鳥寺 2013」 「飛鳥・藤原京への道」 「いにしへの匠たち - ものづくりからみた飛鳥時代」 カタログ第 29 冊「キトラ古墳壁画発見三〇周年記念白虎玄武朱雀青龍」, 第 30 冊「飛鳥の考古学 2013」 第 1 回～第 4 回写真コンテスト作品集「飛鳥」 遺跡情報交換標準の研究第 3 版 紀要 2013,2014 概要 2013,2014 埋蔵文化財ニュース 150～157</p>
<p>奈良大学文化財学科 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館</p>	<p>學報第 31,32 集 特別展「5 世紀のヤマト - まほろばの世界」 「美酒発掘」 「弥生時代の墓 - 死者の世界」 「飛鳥宮と難波宮・大津宮」 特別陳列図録第 19 冊「東海地方からの新しい風 - 古墳出現期の東海系遺物」 同第 20 冊「大和の豪族たちと藤ノ木古墳」 大和を掘る 31,32 発掘調査速報展 資料集第 3 冊古代墓誌の三次元計測と太安萬呂墓出土資料の分析</p>
<p>30 有田川町教育委員会</p>	<p>企画展展示案内「有田川の地宝 - 地中に埋もれた有田川の歴史」 文化財調査報告書第 9～11 集</p>
<p>橋本市教育委員会 和歌山市立博物館</p>	<p>東家遺産・東家館跡発掘調査報告書橋本市こども園新築工事に伴う発掘調査 特別展「海人の世界 - 発掘された海辺の暮らし」</p>

- 和歌山県文化財センター  
 「市電が走っていた街 - 開業から廃止まで」  
 「江戸時代を観光しよう - 城下町和歌山と寺社参詣 -」 「荘園の景観と絵図」  
 研究紀要第 28,29 号 館報No.28,29  
 地宝のひびき - 和歌山県内文化調査報告会 - 資料集  
 和歌山県内文化財調査報告会資料「地宝のひびき」  
 公開シンポジウム熊野三山の考古学～発掘調査から見た信仰の始まりと展開～発表資料集  
 公開シンポジウム和歌山城と城下町の風景資料集  
 公開シンポジウム紀の川北岸も古墳文化資料集～初期須恵器・埴輪・陶棺からみた地域の歴史  
 たよりNo.18～20
- 31 和歌山県立博物館  
 鳥取県埋蔵文化財センター  
 「青谷上寺地遺跡の木製農具・漁撈具」 調査報告 52,53,59  
 青谷上寺地遺跡の骨角器 青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報 2012,2013  
 青谷上寺地遺跡フォーラム 2013 日本海を行き交う弥生の宝石～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる  
 平成 23,24 年度やまびこ館年報  
 平成 23,24,25 年度年報  
 埋蔵文化財調査報告書 7  
 平成 23 年度石見銀山遺跡関連講座記録集  
 ニュース vol.128～133  
 「八雲立つ風土記の丘」No.210・213・214
- 32 鳥取市歴史博物館  
 出雲弥生の森博物館  
 雲南市教育委員会  
 島根県教育委員会  
 島根県立古代出雲歴史博物館  
 八雲立つ風土記の丘  
 「八雲立つ風土記の丘」No.210・213・214  
 研究紀要第 27,28 巻 「ラピス」No.34  
 発掘調査報告第 15 集 年報 14  
 特別展「土の棺に眠る - 美作の陶棺」 「大博物館だより津博」No.75～82  
 「津山の商家が伝えた文人画～広瀬台山と飯塚竹斎～苅田家コレクションより」  
 紀要第 27,28 号 年報 (平成 24,25 年度)  
 発掘調査年報 21,22
- 33 岡山市立オリエント美術館  
 倉敷市埋蔵文化財センター  
 津山郷土博物館  
 総社市教育委員会  
 沢田山恩徳寺寺史編纂室  
 34 広島県立文書館  
 庄内半島 (香川県三豊市詫間) の中世史学館院記録所文所調査報告書Ⅱ  
 収蔵文書展「海の道の近世 - 瀬戸内の景観と生活・交流の歴史」  
 「広島藩士三好家文書展 - 三好長慶から信長・秀吉・浅野長勲まで」  
 資料集 8 紀要第 12 号 たよりNo.37～39  
 特別展「江の川大図鑑」 年報第 31 号  
 帝釈城遺跡群発掘調査 50 周年記念シンポジウム 50 年間の調査研究成果と将来への展望要旨集  
 紀要第 5,6 号 年報XXVII, XXVIII  
 文化財調査報告書 27  
 抜萃のつづりその 73,74  
 東広島市教育文化振興事業団文化財センター  
 東広島市西条町寺家 - 横田 1 号遺跡発掘調査報告書  
 調査報告書第 76～78 冊,80 冊 文化財調査報告書第 40 集  
 「安岐のまほろば」Vol.42～45
- 35 下関市立考古博物館  
 特別展「くらしとまつりの家 - 弥生時代から古墳時代の建物」  
 「青銅器と弥生人のまつり～祭具からみた祭りのすがた～」  
 研究紀要第 17,18 号 年報 18,19  
 年報平成 23,24 年度 「天花」119～122 号  
 研究報告第 39,40 号 館報 35,36  
 企画展「海をみつめる弥生人 - 土井ヶ浜の人類学誌」 研究紀要第 8,9 号  
 企画展「いただきま～す！食の生活史と自然誌」  
 「天下の台所大阪と徳島 - 江戸時代の交流史」 たより第 34・35 号  
 四国霊場開創一二〇〇年記念四県連携事業「空海の足音四国へんろ展【徳島編】」  
 研究報告第 23,24 号 年報第 22,23 号 ニュースNo.90～97
- 36 徳島県立博物館  
 徳島県立文書館  
 企画展「広告・ポスターの社会史」  
 「高校生のカメラが捉えた昭和 30 年代の徳島～石丸洋が撮った徳島～」  
 「高校生のカメラが捉えた昭和 30 年代の徳島～石丸洋が撮った徳島～」  
 「岩村武勇収集資料展」 「徳島の養蚕と製糸」 年報第 16,17 号  
 「木田英之が撮った徳島のくらし - 忘れがたき子どもの情景」  
 特別展「四国の大名 - その美と心」 「狩野栄川院と徳島藩の画人たち」  
 企画展「鐵絢爛漫郷土刀の美」 「蜂須賀家立目録の世界」  
 「珉平焼と蜂須賀家」 「殿様の時代徳島藩主蜂須賀家の政治と文化」  
 「描かれた祈り - 奥深き絵馬の魅力」 「蜂須賀家の装い吉祥」  
 「英雄幻想 - 館蔵浮世絵展Ⅱ」 「ひな人形の世界 10,11」 年報第 21,22 号  
 徳島新聞社寄贈資料展「人形芝居の幕が開く - 阿波木偶名品展」

徳島県立鳥居龍藏記念博物館 阿波木偶箱廻し実行委員会	企画展「鳥居龍藏の国内調査～沖縄・南九州」 研究報告第1号 年報第3,4号 文化庁文化芸術振興費補助金成果報告書調査報告書 「阿波木偶箱廻し」「三番叟まわし」「えびすまわし」
37 香川県立ミュージアム	" 特別展「丸亀京極家-名門大名の江戸時代」 「いとるわし。日本の美京都国立博物館名品展」 「たのしむ日本美術-サントリー美術館コレクション」 高松松平家博物図譜-写生画帖雑草 収蔵資料目録5,6 ミュージアム調査研究報告第5号 年報第5,6号(平成24年度) 企画展示解説シート Vol.55～168・特別号 「ニュース」vol.20～28 埋蔵文化財調査報告第146集
高松市教育委員会	
38 愛媛県歴史文化博物館	特別展「三瀬諸淵シーボルト最後の門人」 企画展「四国遍路ぐるり今昔」 テーマ展「レトロ広告図鑑」 資料目録21,22集 研究紀要第18,19号 「歴博だより」No.73・75～78・80
松山市子規記念館	子規会誌第116号
39 高知県立歴史民俗資料館	企画展「命の碑土佐の地震・津波碑過去からの警鐘先人たちの経験を未来に」 「田辺寿男の民俗写真4たくましの四季」 「空海の足音四国へんろ展高知編」 おもちゃの牧場一千支の馬 年報平成23～25年度 「岡豊風日」第81・83～88号
土佐山内家宝物資料館	研究紀要第11,12号 年報第11,12号 「海南千里」第40～45号
40 糸島市教育委員会	図録「糸島平家物語-糸島地方における武士の出現と平家落人伝説」 「志摩の歴史と文化財-志摩歴史資料観見学の手引き」 文化財調査報告書第8～10,12集 二丈町文化財調査報告書第17,19,21集 紀要第7集 年報7
北九州市立自然史・歴史博物館	特別展「北九州市の宝もの」 市制50周年記念「邪馬台国が見える!! 古代日本の原風景」 いのちのたび博物館ミュージアムガイド 研究報告B類歴史第10,11号 年報平成23,24年度 「Asiage」vol.28～32・34 年報平成24年度 「九歴だより」No.36～40 小都市史第四巻資料編原始・古代 【CD-ROM】福岡市公文書資料目録平成25年度版 特別展「玄海灘の江戸時代-黒船・廻船・異国船」 企画展「風俗展」 「はるかなる千年の歴史平戸・松浦家眼名宝展」「大顔展」 「対外交流史I—大航海時代と博多」 「栄西と中世博多展」別冊付録「こんなにすごい! 栄西さんのヒミツ」 収集収蔵品目録27,28 年報19,20 研究紀要第22,23号 年報第31～33号
九州国立博物館	
九州歴史資料館	
小都市埋蔵文化財調査センター	
福岡市総合図書館	
福岡市博物館	
福岡市埋蔵文化財センター	
柳川市	柳川市文化資料集成第二,三集
43 熊本市立熊本博物館	館報No.25,26
44 大分県公文書館	たより第20・21号
大分県立歴史博物館	企画展「サムライの姿」 「ムラのお医者さま-近代の地域医療と社会」 総合案内 研究紀要14,15 年報2012,2013
大分市歴史資料館	特別展「大分どんなどここんなどこ世界図・日本図の中の大分」 「南蛮屏風の世界～描かれた都市の賑わい～」 ニュースNo.99～104
中津市教育委員会	文化財調査報告書第57～59,61,62,64集
佐伯市教育委員会	佐伯藩史料温故新録十 文化財調査報告書第3～5集

## Ⅱ 文化財事業

### 1 文化財保護審議会

#### (1) 文化財保護審議会の記録

平成 25 年度

第 1 回 平成 25 年 5 月 30 日 (木)

1.平成 24 年度文化財保護事業報告について

- ①平成 24 年度文化財保護事業
- ②文化財関係補助事業

2.平成 25 年度文化財保護事業及び主要予算について

- ①主な事業及び主要予算
- ②各種補助事業 文化財保護補助金、民俗芸能伝承保存補助金、郷土史関係出版奨励事業補助金
- ③第 49 回市民文化財めぐり
- ④優良文化財調査・研修会
- ⑤文化財防火デー (文化財防火パトロール、防火訓練・文化財管理者研修)
- ⑥市指定無形民俗文化財石刀祭の県指定事前調査
- ⑦その他
  - 登録文化財墨会館公開活用事業【文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業】
  - 一宮市埋蔵文化財分布 (包蔵地) 詳細調査【国庫補助事業、昨年度より継続】
  - 一宮市埋蔵文化財調査報告書刊行
  - 民俗芸能伝承推進事業
  - あいち文化遺産保存活用推進事業/愛知県民俗芸能大会 10 月から開始
  - 愛知県民俗芸能大会 9 月 8 日 (日) 春日井市にて
  - 木曾川イタセンバラ保護協議会第 5 回合同パトロール及び第 6 回協議会

3.その他

第 2 回 平成 25 年 7 月 12 日 (金)

1.第 49 回市民文化財めぐりについて

2.優良文化財調査・研修会について

3.6 月までの活動について

- ①市指定文化財「妙興寺仏殿ほか (16 棟)」うち明暢亭の調査について
- ②市指定無形民俗文化財「石刀祭」の県指定事前調査
- ③文化財標柱について
- ④木曾川イタセンバラ保護協議会第 5 回合同パトロール及び第 6 回協議会

4.今後の予定について

5.その他

第 3 回 平成 25 年 12 月 19 日 (木)

1.文化財防火デー関連行事について

2.郷土史関係出版物奨励事業について

3.中嶋宮所蔵鱈口について

4.石刀祭について

5.その他

- ①第 49 回市民文化財めぐり (報告)
- ②優良文化財調査・研修会 (報告)
- ③その他

優良文化財調査・研修 平成 25 年 11 月 7 日 (木)・8 日 (金) 京都市

公益財団法人美術院国宝修理所 (妙興寺木造釈迦三尊坐像修復状況調査)、登録有形文化財建造物 (河井寛次郎記念館・京都市学校歴史博物館・並河靖之七宝記念館)、祇園新橋伝統的建造物都保存地区、祇園町南歴史的景観保全修景地区、産寧坂伝統的建造物都保存地区、京都国立博物館、京都市無形文化遺産展示室

平成 26 年度

第 1 回 平成 26 年 6 月 4 日 (水)

- 1.平成 25 年度文化財保護事業報告について
  - ①平成 25 年度文化財保護事業
  - ②文化財関係補助事業一覧
- 2.平成 26 年度文化財保護事業及び主要予算について
  - ①主な事業及び主要予算
  - ②各種補助事業 文化財保護補助金、民俗芸能伝承保存補助金、郷土史関係出版奨励事業補助金
  - ③第 50 回市民文化財めぐり
  - ④優良文化財調査・研修会
  - ⑤文化財防火デー (文化財防火パトロール、防火訓練・文化財管理者研修)
- 3.4 月～5 月の文化財保護
  - ①国指定名勝及び天然記念物木曾川堤 (サクラ)
  - ②4 月 20 日 (日) 市指定無形民俗文化財石刀祭 (鬼頭委員)
  - ③国指定史跡富田一里塚西塚 (左塚)
- 4.その他

第 2 回 平成 26 年 7 月 9 日 (水)

- 1.審議事項
  - ①一宮市文化財保護審議会会長の選出について
- 2.協議事項
  - ①第 50 回市民文化財めぐりについて
  - ②優良文化財調査・研修会について
- 3.報告事項
  - ①木曾川堤 (サクラ) の現状変更について
  - ②市内の祭り等開催予定
  - ③その他
- 4.その他

第 3 回 平成 27 年 1 月 8 日 (木)

- 1.審議事項
  - ①文化財指定候補物件について
    - (1)中嶋宮所蔵鱧口
    - (2)仁王胴具足
    - (3)その他
- 2.報告事項
  - ①第 61 回文化財防火デー関連行事について
  - ②その他
- 3.その他
  - ①研修について
  - ②その他
  - ③国登録有形文化財「墨会館」見学

第 4 回 平成 27 年 3 月 31 日 (火)

- 1.審議事項
  - ①市指定文化財 (植物) の指定解除申請について
- 2.その他

優良文化財調査・研修 平成 26 年 11 月 27 日 (金)・28 日 (土) 兵庫県姫路市  
姫路市書写山円教寺調査・視察、国宝姫路城修復調査・視察、兵庫県立歴史博物館視察

## (2) 文化財の指定・解除

重要文化財指定

種別	名称	員数	所有者等	指定日
工芸	九条袈裟 田相薄茶地四葉花文顕文紗 条葉紺地四葉花折枝文顕文紗	1 領	宗教法人妙興寺	平成 26 年 8 月 21 日
工芸	九条袈裟 田相黄地桐竹鳳凰麒麟文綾 条葉薄茶地二重蔓牡丹唐草文綾	1 領	宗教法人妙興寺	平成 26 年 8 月 21 日

## 2 文化財保護事業

### (1) 市民文化財めぐり

文化財は、私たちの過去の歴史や遠い祖先の生活を身近なものとして感じさせてくれる、大切な文化遺産である。こうした文化財に触れることにより、先人を偲び、大切な文化財を愛護する心を培うために開催した。

主催 一宮市教育委員会  
講師 一宮市文化財保護審議会委員  
対象 市内在住・在勤の方  
定員 33名（定員を超えた場合は抽選）  
参加費 昼食代 1,000円、その他実費  
移動 一宮市生涯学習バス

平成 25 年度第 49 回市民文化財めぐり

日時 平成 25 年 11 月 12 日（火）

行程 浮野古戦場跡→浄蓮寺→慶圓寺→〔昼食〕→禅林寺→常保寺→馬見塚遺跡石碑  
→博物館（特別展「縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代」）

参加者 33 人、一宮市文化財保護審議会委員 5 人

平成 26 年度第 50 回市民文化財めぐり

日時 平成 26 年 11 月 5 日（火）

行程 輻江神社→県営西中野渡船場（乗船）→佐吾平遭難碑→市川房枝生家跡→〔昼食〕→妙興寺  
→博物館（特別展「妙興寺展」）

参加者 15 人、一宮市文化財保護審議会委員 4 人

### (2) 民俗芸能公演

現在でも活動を続け継承されている無形（民俗）文化財の公演を行い、伝統芸能の保存継承に貢献するために開催した。

平成 25 年度

平成 26 年 3 月 9 日（日）	島文楽「壺坂霊験記」	鑑賞者 63 人	会場 博物館講座室
	ばしょう踊	鑑賞者 46 人	
	宮後住吉踊	鑑賞者 39 人	

平成 26 年度

平成 27 年 2 月 1 日（日）	島文楽「傾城阿波の鳴門～順礼歌の段」	鑑賞者 60 人	会場 博物館講座室
平成 27 年 2 月 8 日（日）	宮後住吉踊	鑑賞者 25 人	会場 博物館講座室
平成 27 年 3 月 8 日（日）	ばしょう踊	鑑賞者 78 人	会場 博物館講座室

### (3) 文化財防火パトロール

平成 25 年度第 60 回文化財防火デー関連行事

日時 平成 26 年 1 月 16 日 (木)

査察内容 文化財管理状況等点検、文化財周辺環境の点検・防火指導、防火用設備等の点検指導

査察者 消防本部予防課予防グループ 2 名、博物館事務局博物館グループ 1 名

場所 地藏寺、常念寺、福寿院、観音寺 (萩原町)、旧蓮入寺、宝光寺

平成 26 年度第 61 回文化財防火デー関連行事

日時 平成 27 年 1 月 15 日 (木)

査察内容 文化財管理状況等点検、文化財周辺環境の点検・防火指導、防火用設備等の点検指導

査察者 消防本部予防課予防グループ 1 名、博物館事務局博物館グループ 1 名

場所 宝光寺 (木曾川町黒田)、釈迦寺 (木曾川町玉ノ井)、法信寺 (北今)、頓聴寺 (小信中島)、墨会館 (小信中島)、  
富田一里塚 (富田)

### (4) 文化財防火訓練

平成 25 年度第 60 回文化財防火デー関連行事

日時 平成 26 年 1 月 23 日 (木)

場所 賀茂神社境内 (一宮市木曾川町玉ノ井字穴太部 4 番地)

参加者 157 人

平成 26 年度第 61 回文化財防火デー関連行事

日時 平成 27 年 1 月 23 日 (金)

場所 堤治神社境内 (一宮市小信中島字宮浦地内)

参加者 68 人

### (5) 文化財管理者研修会

平成 25 年度第 60 回文化財防火デー関連行事

日時 平成 26 年 1 月 23 日 (木)

内容 防火訓練参加及び熱田神宮宝物館見学

参加者 文化財管理者 20 人、文化財保護審議会委員 4 人

平成 26 年度第 61 回文化財防火デー関連行事

日時 平成 27 年 1 月 23 日 (金)

内容 防火訓練参加及び熱田神宮宝物館見学

参加者 文化財管理者 18 人、文化財保護審議会委員 1 人

## (6) 文化財保護補助事業

### 目的

市指定文化財並びに国及び県指定文化財（以下「指定文化財」という。）で市内に存ずる文化財の保護、保存に必要な事業を実施するのに要する経費の一部を補助することにより、指定文化財を保護することを目的とする。

### 補助事業者等

補助事業者は、市指定文化財並びに国及び県指定文化財の所有者及び管理者とする。

平成 25 年度

文化財名称	申請者	補助事業内容
甘酒祭	重吉甘酒祭保存会	保存伝承
小塞神社社叢	小塞神社	清掃・除草
島文楽	島文楽保存会	保存伝承
長誓寺本堂	長誓寺	消防用設備等点検
七つ石	七つ石保存会	清掃・除草
野見神社のスタジイ	野見神社	施肥・消毒
ばしょう踊	ばしょう踊保存会	保存伝承
水法芝馬祭	水法芝馬祭保存会	保存伝承
宮後住吉踊	宮後住吉踊保存会	保存伝承
妙興寺建造物	妙興寺	消防用設備等点検
白台祭	瀬部山車・白台祭保存会	保存伝承
石刀祭	石刀まつり山車保存会	保存伝承
起六齋ばやし	起六齋ばやし保存会	保存伝承
小原の千体地藏	小原町内会	火災保険加入
西五城木遣り及び棒振り	西五城木遣り及び棒振り保存会	保存伝承
鞆江神社の参道・黒松の並木共	鞆江神社	剪定・消毒
玉ノ井清水	賀茂神社	清掃
刀剣	賀茂神社	維持管理
木造釈迦三尊坐像（本尊）	妙興寺	保存修理（三年度）
妙興寺仏殿ほか 16 棟	妙興寺	消防用設備修繕
長誓寺のシダレザクラ	長誓寺	樹木剪定・支柱取替工事
富塚古墳	富塚町内会	樹木剪定
白台祭	瀬部山車・白台祭保存会	備品（太鼓）購入
正福寺山門	正福寺	消火器購入
小塞神社社叢	小塞神社	倒木処理
稲荷山古墳（含む陪塚）	稲荷三ツ井町内会	剪定
妙興寺仏殿ほか 16 棟	妙興寺	消防用設備修繕

平成 26 年度

文化財名称	申請者	補助事業内容
甘酒祭	重吉甘酒祭保存会	保存伝承
小塞神社社叢	小塞神社	清掃・除草
島文楽	島文楽保存会	保存伝承
長誓寺本堂	長誓寺	消防用設備等点検
七つ石	七つ石保存会	清掃・除草
野見神社のスタジイ	野見神社	施肥・消毒
ばしょう踊	ばしょう踊保存会	保存伝承
水法芝馬祭	水法芝馬祭保存会	保存伝承
宮後住吉踊	宮後住吉踊保存会	保存伝承
妙興寺建造物	妙興寺	消防用設備等点検
白台祭	瀬部山車・白台祭保存会	保存伝承
石刀祭	石刀まつり山車保存会	保存伝承
起六斎ばやし	起六斎ばやし保存会	保存伝承
小原の千体地藏	小原町内会	火災保険加入
西五城木遣り及び棒振り	西五城木遣り及び棒振り保存会	保存伝承
玉ノ井清水	賀茂神社	清掃
刀剣	賀茂神社	維持管理
妙興寺仏殿ほか 16 棟、妙興寺総門	宗教法人妙興寺	保存修理
木造大日如来坐像	宗教法人耕雲院	保存修理
木造地藏菩薩立像	宗教法人地藏寺	保存修理
重吉のケヤキ	個人	樹木剪定
白台祭	瀬部山車・白台祭保存会	備品（太鼓・専用台）購入
白台祭	瀬部山車・白台祭保存会	山車修繕
稲荷山古墳（含む陪塚）	稲荷三ツ井町内会	石垣修繕

## (7) 民俗芸能伝承保存事業

### 事業の目的

市内の民俗芸能及び地域に伝わる伝統行事の保存団体が、伝承保存事業を実施するのに要する経費の一部を補助することにより、本市における民俗芸能及び伝統行事を保護することを目的とする。

### 補助事業の内容

民俗芸能及び伝統行事の伝承保存事業で、毎年4月から翌年3月までに実施される事業。ただし、無形文化財並びに無形民俗文化財として指定を受けている事業は除く。

### 補助対象事業者

補助事業を実施する保存団体で、一宮民俗芸能連盟加盟団体及び必要と認める団体とする。ただし、文化財として指定を受けている団体は除く。

### 平成 25 年度

民俗芸能名称	申請者	補助事業内容
木遣音頭	馬寄木遣音頭保存会	保存伝承
祇園祭囃子	黒岩山車保存会	保存伝承
機織唄	機織唄保存会	保存伝承
里神楽	一宮真清伶人会	保存伝承
草笛太鼓打囃子	馬場獅子屋形打囃子保存会	保存伝承
北今太鼓	笛太鼓保存会	保存伝承

### 平成 26 年度

民俗芸能名称	申請者	補助事業内容
木遣音頭	馬寄木遣音頭保存会	保存伝承
祇園祭囃子	黒岩山車保存会	保存伝承
機織唄	機織唄保存会	保存伝承
里神楽	一宮真清伶人会	保存伝承
草笛太鼓打囃子	馬場獅子屋形打囃子保存会	保存伝承
北今太鼓	笛太鼓保存会	保存伝承

## (8) 民俗芸能伝承推進事業

無形文化財である民俗芸能を広く後世に継承していくため、公演機会の提供を図り、出演謝礼の補助を実施した。

### 平成 25 年度

日時	保存団体	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 25 年 6 月 22 日 (土)	島文楽	一宮駅ビル (i ビル) / 私学をよくする愛知父母懇談会一宮ブロック	100 人
平成 25 年 9 月 22 日 (日)	島文楽	島村公民館 / 島村町内会	170 人
平成 25 年 11 月 14 日 (木)	島文楽	一宮市立葉栗小学校 / 同	700 人
平成 25 年 11 月 17 日 (日)	島文楽	佐千原公民館 / 佐千原町内会	140 人
平成 26 年 1 月 31 日 (金)	島文楽	一宮市立貴船小学校 / 同	289 人
平成 26 年 2 月 5 日 (水)	宮後住吉踊	一宮市立今伊勢西小学校 / 同	64 人

### 平成 26 年度

日時	保存団体	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 26 年 6 月 12 日 (木)	島文楽	一宮市立丹陽西小学校 / 同	280 人
平成 26 年 8 月 17 日 (日)	島文楽	笹野公民館 / 笹野町内会	100 人
平成 26 年 9 月 15 日 (月・祝)	島文楽	葉栗公民館 / 葉栗公民館女性学習部	70 人
平成 26 年 9 月 21 日 (日)	島文楽	島村公民館 / 島村町内会	100 人
平成 26 年 9 月 24 日 (水)	島文楽	奥公民館 / 社会福祉協議会奥町支会	100 人
平成 26 年 10 月 9 日 (木)	島文楽	一宮市立葉栗中学校 / 同	587 人
平成 26 年 10 月 15 日 (水)	島文楽	介護老人保健施設ちあき / 同	100 人
平成 26 年 11 月 9 日 (日)	島文楽	一宮市立朝日東小学校 / 同	600 人
平成 27 年 2 月 4 日 (水)	宮後住吉踊	一宮市立今伊勢西小学校 / 同	68 人
平成 27 年 2 月 14 日 (土)	島文楽	大毛公民館 / 西大毛町内会	100 人

## (9) 郷土史関係出版物奨励事業

郷土史研究活動の振興に資することを目的に、一宮地方の郷土史に関する研究成果をまとめたもののうち、自費出版に対して印刷に要する経費の一部を補助した。

対象 一宮地方の歴史、考古、民俗、自然などに関する研究、成果をまとめたもの。

平成 25 年度

『萬葉公園顕彰会－50年の歩み－』

『鎌倉街道 中世紀行文 海道記／東関紀行／十六夜日記の舞台を楽しむ』

平成 26 年度

該当なし

## (10) 文化財標柱の設置

平成 25 年度

新規設置 なし

銘板取替 なし

平成 26 年度

新規設置 駒塚の渡し跡 一宮市富田字砂原地内

高木一里塚跡 一宮市萩原町高木字蟹子地内

銘板取替 禅林寺 一宮市浅野字前林 12

檜の木文化資料館 一宮市萩原町高松字川田 4

## (11) 木曾川堤桜管理委託事業

国指定名勝および天然記念物「木曾川堤（サクラ）」の保護および樹勢の回復を図るため、防虫剤散布、下枝剪定、施肥、樹木調査を実施した。

## (12) 埋蔵文化財の発掘調査

### 埋蔵文化財包蔵地

種別	現存	滅失
貝塚	0	1
集落跡	18	0
遺物散布地	159	15
古墳	31	92
古窯跡	0	0
社寺跡	9	3
城跡	1	27
祭祀遺跡	3	0
その他の墓	3	0
その他の遺跡	4	0
不明	0	41
合計	228	179
総計	407	

平成 27 年 3 月 31 日現在

### 試掘調査

平成 25 年度

該当なし

平成 26 年度

該当なし

### 確認調査

平成 25 年度

該当なし

平成 26 年度

調査日	遺跡名	原因	遺物	遺構	所見
26.12.8・26.12.19	馬見塚遺跡	個人住宅新築	縄文土器・山茶碗	なし	耕作土の下に包含層

# 工事立会調査

平成 25 年度

届出日	遺跡名	保護法	原因
25.4.5	愛宕塚古墳 (浅井 20 号墳)	93	個人住宅建設
25.4.10	池之上遺跡	93	ガス管
25.4.13	馬見塚遺跡	93	個人住宅建設
25.4.16	三ツ井城之越遺跡	93	ガス管
25.4.26	妙興寺境内地遺跡	93	その他建物改修
25.5.24	毛受遺跡	93	個人住宅建設
25.6.7	加納馬場集落東遺跡	93	個人住宅建設
25.6.7	加納馬場集落東遺跡	93	個人住宅建設
25.6.8	田所遺跡	93	個人住宅建設
25.6.13	戸塚集落東遺跡	93	個人住宅建設
25.6.14	馬寄集落南遺跡	93	個人住宅建設、 宅地造成
25.6.14	高木遺跡	93	個人住宅建設
25.6.19	妙興寺集落東遺跡	93	宅地造成
25.7.26	笹野二本茶木遺跡	94	農業関連
25.7.25	高木遺跡	93	ガス管
25.7.20	瀬部上之郷集落南遺跡	93	個人住宅建設
25.7.26	森本薬師遺跡	93	集合住宅建設
25.7.26	東出野立遺跡	94	農業関連
25.7.26	東高見遺跡	94	農業関連
25.7.31	門間遺跡	93	ガス管
25.8.13	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅建設
25.8.14	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅建設
25.8.12	田所遺跡	93	電気
25.8.22	森本集落東遺跡	93	個人住宅建設
25.8.30	門間遺跡	93	ガス管
25.9.5	大毛池田遺跡	93	ガス管
25.9.6	伝法寺本郷遺跡	93	その他建物
25.9.10	門間遺跡	94	下水道
25.9.25	加納馬場集落北遺跡	94	道路
25.9.26	加納馬場遺跡	94	下水道
25.9.25	馬見塚遺跡	93	個人住宅
25.9.26	森本集落東遺跡	94	公園造成
25.9.26	五輪ヶ淵遺跡	94	公園造成
25.10.2	福塚前遺跡	93	集合住宅建設
25.10.7	妙興寺集落東遺跡	94	道路
25.10.8	馬見塚遺跡	94	道路

届出日	遺跡名	保護法	原因
25.10.11	仏供田遺跡	93	ガス管
25.10.11	仏供田遺跡	93	ガス管
25.10.18	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
25.10.23	仏供田遺跡	93	個人住宅
25.10.22	佐千原集落東遺跡	94	下水道
25.10.20	南小淵集落東遺跡	93	電信電話
25.10.29	馬寄集落北遺跡	93	個人住宅
25.10.29	小山集落西遺跡	93	個人住宅
25.11.8	馬寄集落南遺跡	93	電気
25.11.12	佐野集落西遺跡	93	ガス管
25.11.13	西浅井集落北遺跡	93	電気
25.11.14	河端集落南遺跡	94	水道
25.11.14	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
25.11.8	馬寄集落東遺跡	93	電気
25.11.19	光明寺権現塚遺跡	93	道路
25.11.29	佐千原集落東遺跡	93	個人住宅
25.11.26	大毛五百入塚遺跡	94	道路
25.11.19	馬見塚遺跡	93	電気
25.12.3	小山集落西遺跡	93	ガス管
25.12.19	小赤見集落南遺跡	93	個人住宅
25.12.20	森本薬師遺跡	93	集合住宅
25.12.20	江森東之森遺跡	94	道路
25.12.25	馬見塚遺跡	93	個人住宅
25.12.24	伝法寺野田遺跡	93	電気
26.1.7	光明寺神宮遺跡	93	個人住宅
26.1.10	小山集落西遺跡	93	電気
26.1.23	西大海道集落北遺跡	93	ガス管
26.1.24	福塚前遺跡	93	ガス管
26.2.15	森本集落東遺跡	93	宅地造成
26.2.19	妙興寺集落東遺跡	93	ガス管
26.2.19	河端集落南遺跡	93	個人住宅
26.2.18	森本集落東遺跡	93	個人住宅
26.2.26	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
26.3.3	光明寺丈六遺跡	94	道路
26.3.19	浅野集落北遺跡	94	道路
26.3.19	長福寺廃寺	93	電気
26.3.25	妙興寺集落東遺跡	93	ガス管
26.3.27	小山集落北遺跡	93	ガス管

平成 26 年度

届出日	遺跡名	保護法	原因
26.4.2	馬見塚遺跡	93	集合住宅
26.4.2	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.4.17	町屋集落南遺跡	93	個人住宅
26.5.12	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
26.5.14	荏安賀遺跡	94	水道
26.5.16	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
26.5.19	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.5.26	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.5.29	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.5.29	真清田神社境内地遺跡	94	公園造成
26.5.30	薬師堂跡	93	個人住宅
26.6.3	町屋竹ヶ鼻遺跡	93	電気
26.6.6	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
26.6.12	伝法寺廃寺	93	個人住宅
26.6.16	荏安賀遺跡	93	個人住宅
26.6.17	稲荷山古墳	93	石垣修理
26.6.17	名栗集落北遺跡	93	ガス管
26.6.17	小山集落北遺跡	93	個人住宅
26.6.18	馬見塚遺跡	93	電気
26.6.18	妙興寺集落東遺跡	93	電気
26.6.18	神戸廃寺	93	電気
26.6.23	時之島集落南遺跡	93	基地局
26.6.24	西上免遺跡	93	個人住宅
26.7.2	玉ノ井城跡	93	ガス管
26.7.8	中島往還添西切遺跡 ・東川田遺跡	94	水道
26.7.8	開明新田郷集落東遺跡	94	水道
26.7.8	門間遺跡	94	水道
26.7.8	浅野集落北遺跡	94	水道
26.7.8	浅野福寿庵遺跡	94	水道
26.7.7	浅野集落北遺跡	94	下水道
26.7.7	下浅野集落東遺跡	94	下水道
26.7.10	稲荷山古墳	93	電気
26.7.17	中島往還添西切遺跡	93	ガス管
26.7.17	馬見塚遺跡	93	ガス管
26.7.22	浅野集落北遺跡	93	個人住宅
26.7.25	門間遺跡	94	下水道
26.7.29	開明郷集落東遺跡	93	ガス管
26.7.29	畑添遺跡	94	下水道

届出日	遺跡名	保護法	原因
26.7.29	宮新田遺跡	94	下水道
26.7.29	廻畑遺跡	94	下水道
26.7.29	中島廃寺	94	下水道
26.7.29	四反田遺跡	94	下水道
26.7.29	開明新田郷集落東遺跡	94	下水道
26.7.29	中島往還添西切遺跡	94	下水道
26.8.12	森本集落東遺跡	93	個人住宅
26.8.12	荏安賀遺跡	93	個人住宅
26.8.18	馬見塚遺跡	93	電気
26.8.21	浅野福寿庵遺跡	94	下水道
26.8.21	浅野正木山遺跡	94	下水道
26.8.21	浅野集落北遺跡	94	下水道
26.8.28	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.8.27	芝原古井戸遺跡	94	下水道
26.8.29	九日市場集落南遺跡	93	個人住宅
26.8.29	宮後七ツ塚古墳	94	上水道
26.9.3	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	個人住宅
26.9.5	二夕子遺跡	93	個人住宅
26.9.8	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.9.4	重吉鋳物師海道遺跡	94	下水道
26.9.10	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電気
26.9.18	浅野城跡	94	下水道
26.9.18	浅野集落北遺跡	94	下水道
26.9.18	浅野福寿庵遺跡	94	下水道
26.9.18	浅野集落北遺跡	94	下水道
26.9.18	浅野集落北遺跡	94	下水道
26.9.18	浅野福寿庵遺跡	94	下水道
26.9.26	馬見塚遺跡	93	ガス管
26.9.29	飯守神遺跡	93	個人住宅
26.9.29	加納馬場集落北遺跡	94	下水道
26.9.29	加納馬場集落北遺跡	94	下水道
26.9.20	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
26.9.27	妙興寺集落南遺跡	93	個人住宅
26.10.1	浅野大茶木遺跡	94	下水道
26.9.26	氏永集落東遺跡	93	電気
26.10.1	浅野大茶木遺跡	94	下水道
26.10.1	浅野大茶木遺跡	94	下水道
26.10.2	内割田城跡	93	電気
26.10.9	小山集落北遺跡	93	電気

届出日	遺跡名	保護法	原因
26.10.16	門間遺跡	93	個人住宅
26.10.16	雀戸遺跡	93	ガス管
26.10.19	西大門遺跡	93	ガス管
26.10.10	森本集落東遺跡	93	個人住宅
26.10.18	江森東之森遺跡	93	電気
26.10.24	西大海道集落北遺跡	93	ガス管
26.10.29	妙興寺集落東遺跡	93	ガス管
26.10.29	馬寄集落南遺跡	93	宅地造成
26.10.30	馬見塚遺跡	93	宅地造成
26.10.31	馬見塚遺跡	93	ガス管
26.11.4	時之島集落南遺跡	94	水道
26.11.10	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.11.18	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.11.18	妙興寺集落南遺跡	93	ガス管
26.11.18	馬見塚遺跡	93	ガス管
26.11.19	堂裏遺跡	93	個人住宅
26.11.22	開明新田郷集落東遺跡	93	ガス管
26.11.29	北小淵集落西遺跡	93	個人住宅
26.12.5	森本薬師寺遺跡	94	水道
26.12.5	四之宮遺跡	93	個人住宅
26.12.5	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.12.5	妙興寺集落南遺跡	93	個人住宅
26.12.11	毛受遺跡	93	水道

届出日	遺跡名	保護法	原因
26.12.11	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
26.12.11	小日比野北ノ切遺跡	93	個人住宅
26.12.11	妙興寺集落西遺跡	93	ガス管
26.12.12	馬見塚遺跡	93	個人住宅
26.12.20	高木遺跡	93	ガス管
26.12.23	飯守神遺跡	93	個人住宅
27.1.8	妙興寺集落南遺跡	93	ガス管
27.1.16	馬寄集落東遺跡	93	個人住宅
27.1.28	門間島海遺跡	93	個人住宅
27.1.26	下渡遺跡	93	個人住宅
27.1.30	大野南一色遺跡	93	個人住宅
27.2.13	妙興寺境内地遺跡	93	個人住宅
27.2.17	河端集落南遺跡	93	個人住宅
27.2.17	河端集落南遺跡	93	個人住宅
27.2.20	時之島城跡	93	電気
27.2.20	妙興寺集落南遺跡	93	電気
27.3.12	江森東之森遺跡	93	個人住宅
27.3.9	丹羽大塚古墳	93	電気
27.3.10	馬寄集落南遺跡	93	電気
27.3.19	九日市場集落円之内遺跡	93	電気
27.3.24	西大海道集落北遺跡	93	ガス管
27.3.27	苅安賀遺跡	93	個人住宅

## 慎重工事

平成 25 年度

該当なし

平成 26 年度

届出日	遺跡名	保護法	原因
26.10.22	元屋敷遺跡	93	個人住宅
27.1.21	池之上遺跡	93	ガス管
27.1.28	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
27.1.28	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
27.2.3	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
27.2.16	大毛明王寺遺跡	93	電気
27.2.16	森本集落東遺跡	93	電気
27.2.16	町屋竹ヶ鼻遺跡	93	電気

届出日	遺跡名	保護法	原因
27.2.25	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
27.3.3	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
27.3.5	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.3.10	於保集落南遺跡	93	個人住宅
27.3.17	門間島海遺跡	93	個人住宅
27.3.13	門間遺跡	93	事務所
27.3.24	馬見塚遺跡	93	個人住宅

### (13) 一宮市埋蔵文化財包蔵地詳細分布調査

平成 24 年度から 26 年度の 3 か年計画で、国庫補助を受けて埋蔵文化財包蔵地分布調査を行った。平成 24 年度の市内東半域の調査に引き続き、平成 25 年度は市内西半域の調査を行い、西半域の遺跡は現存 64 遺跡、滅失 60 遺跡となった。平成 26 年度には、一宮市遺跡分布地図の刊行・頒布、および一宮市地域ポータルサイトでの公開を行った。

### (14) 文化財解説ボランティア

市内に所在する文化財全般についての知識・理解を深め、より高度な解説能力を醸成し、史跡案内をできるような人材育成をめざすとともに、学習意欲を持った文化財解説ボランティアの養成を図る講座を、平成 12 年～平成 21 年まで実施した。

養成講座修了生の活動として、博物館に隣接し愛知県指定史跡でもある妙興寺境内地を案内する活動を平成 18 年 4 月から実施しており、団体等からの要望に応じて随時解説活動を行っている。

### (15) 刊行物

一宮市埋蔵文化財調査報告Ⅸ 馬見塚遺跡発掘調査報告書Ⅰ	平成 26 年 3 月 31 日発行	800 部	
一宮市遺跡分布地図	平成 27 年 3 月 31 日発行	300 部	600 円

### Ⅲ 組織と運営

## 1 博物館運営等指導委員会

平成25年4月1日現在

氏名	所属
塩澤 君夫	名古屋大学名誉教授
飯田 喜四郎	愛知工業大学客員教授・名古屋大学名誉教授・愛知県文化財専門委員
岩野 見司	元一宮市博物館長・元東海学園大学人文学部教授
新井 喜久夫	南山大学名誉教授
渡邊 誠	名古屋大学名誉教授・山梨県埋蔵文化財センター所長

## 2 常設展示リニューアル小委員会

任期 平成25年4月1日～平成26年3月31日

氏名	分野	所属
塩澤 君夫	経済史	名古屋大学名誉教授
岩野 見司	考古学	元一宮市博物館長・元東海学園大学人文学部教授
遠藤 恒雄	美術史	愛知県立芸術大学名誉教授・三岸節子記念美術館運営協議会委員
山口 泰弘	近世絵画史	三重大学教育学部教授・前三重県立美術館学芸員

## 3 文化財保護審議会

任期 平成23年7月1日～平成26年6月30日

任期 平成26年7月1日～平成29年6月30日

氏名	分野	略歴
平田 伸夫	考古	
小川 一郎	古文書	愛知県史特別調査員
中川原 育子	仏教美術	名古屋大学助教
近藤 修	植物	環境省環境カウンセラー
富田 悦子	染織	染織作家
菅野 良司	建築	設計事務所代表取締役
愛甲 昇寛	工芸	愛知県史特別調査員
鬼頭 秀明	民俗	民俗芸能研究家
是澤 紀子	景観	名古屋工業大学大学院准教授

氏名	分野	略歴
小川 一郎	古文書	愛知県史特別調査員
中川原 育子	仏教美術	名古屋大学助教
近藤 修	植物	環境省環境カウンセラー
富田 悦子	染織	染織作家
菅野 良司	建築	設計事務所代表取締役
愛甲 昇寛	工芸	愛知県史特別調査員
鬼頭 秀明	民俗	民俗芸能研究家
是澤 紀子	景観	名古屋工業大学大学院准教授

## 4 職員組織

平成 27 年 3 月 31 日現在



平成 25 年度

館長 土本 典生  
 事務局長 神田 尚幸  
 副主監 蜂須賀 哲雄  
 主査 (学芸員) 神田 年浩  
 主事 加藤 京子  
 学芸員 成河 端子  
 松本 彩  
 石黒 智教

常勤臨時学芸員 名和 奈美 (～平成 25 年 5 月 31 日)

平成 26 年度

館長 吉川 宏之  
 事務局長 伊藤 和彦  
 副主監 神田 年浩  
 主事 加藤 京子  
 学芸員 成河 端子  
 松本 彩 (～平成 27 年 3 月 31 日)  
 石黒 智教  
 藤井 雅大

囑託職員 土本 典生

## 5 歳出予算

平成 25 年度

費目（節）	合計	博物館運営事業	文化財保護事業	木曾川資料館運営事業
01 報酬	321,000	0	321,000	0
04 共済費	619,000	575,000	44,000	0
07 賃金	19,264,000	15,165,000	4,099,000	0
08 報償費	3,930,000	3,117,000	813,000	0
09 旅費	1,469,000	1,041,000	428,000	0
11 需用費	41,841,000	39,174,000	2,022,000	645,000
12 役務費	14,008,000	12,544,000	1,294,000	170,000
13 委託料	44,989,000	36,695,000	4,717,000	3,577,000
14 使用料及び賃借料	6,641,000	6,358,000	110,000	173,000
15 工事請負費	627,000,000	62,700,000	0	0
16 原材料費	40,000	40,000	0	0
18 備品購入費	13,156,000	12,489,000	0	667,000
19 負担金補助及び交付金	9,016,000	116,000	8,900,000	0
合計	217,994,000	190,014,000	22,748,000	5,232,000

平成 26 年度

費目（節）	合計	博物館運営事業	文化財保護事業	木曾川資料館運営事業
01 報酬	321,000	0	321,000	0
04 共済費	594,000	564,000	30,000	0
07 賃金	16,418,000	13,672,000	2,746,000	0
08 報償費	3,670,000	2,977,000	693,000	0
09 旅費	1,227,000	794,000	433,000	0
11 需用費	49,975,000	48,204,000	1,108,000	663,000
12 役務費	17,768,000	16,284,000	1,311,000	173,000
13 委託料	304,678,000	294,074,000	6,945,000	3,659,000
14 使用料及び賃借料	6,423,000	6,136,000	110,000	177,000
15 工事請負費	58,000,000	58,000,000	0	0
16 原材料費	40,000	40,000	0	0
18 備品購入費	1,268,000	1,268,000	0	0
19 負担金補助及び交付金	10,760,000	116,000	10,644,000	0
合計	471,142,000	442,129,000	24,341,000	4,672,000

## IV 条例・規則

### 一宮市博物館条例

#### (設置)

第1条 郷土の歴史、文化遺産等に関する市民の理解と認識を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、博物館を設置する。

#### (名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 一宮市博物館

位置 一宮市大和町妙興寺字妙興寺境内 2390 番地

#### (事業)

第3条 一宮市博物館(以下「博物館」という。)は、考古、歴史、美術工芸、織物工業、民俗等に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保管及び展示並びに資料の調査及び研究その他教育委員会規則で定める事業を行う。

#### (職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

#### (博物館運営協議会)

第4条の2 法第20条第1項の規定により、一宮市博物館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とし、その任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 前2項に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(平27条例14・追加)

#### (休館日)

第5条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる場合を除く。

(2) 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たる場合を除く。

(3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

(平17条例71・一部改正)

#### (開館時間等)

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、臨時に開館時間等を変更することができる。

#### (観覧料)

第7条 常設展示の観覧料(以下「常設観覧料」という。)は、別表第1に定めるとおりとする。

2 特別展示の観覧料(以下「特別観覧料」という。)は、800円を超えない範囲でその都度教育委員会が定める。

3 常設観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料」という。)の額には、消費税法(昭和63年法律第108号)の規定による消費税及び地方税法(昭和25年法律第226号)の規定による地方消費税(以下「消費税等」という。)の額が含まれるものとする。

#### (年間観覧券等)

第7条の2 教育委員会は、観覧者の利便を図るため、次に掲げる観覧券(以下「年間観覧券等」という。)を発行することができる。

- (1) 年間観覧券
- (2) 常設展示共通観覧券
- (3) 年間共通観覧券

2 年間観覧券等は、次の各号に掲げる観覧券の区分に応じ、当該各号に定める観覧に利用することができる。ただし、団体による観覧には利用することができない。

- (1) 年間観覧券 博物館における常設展示及び特別展示に係る観覧
- (2) 常設展示共通観覧券 次に掲げる施設における常設展示に係る観覧

#### ア 博物館

イ 一宮市三岸節子記念美術館条例(平成17年一宮市条例第68号)に規定する一宮市三岸節子記念美術館(以下「美術館」という。)

(3) 年間共通観覧券 前号ア及びイに掲げる施設における常設展示及び特別展示に係る観覧

3 年間観覧券等に係る使用料の額、有効期間及び有効利用回数は、別表第1の2に定めるとおりとする。この場合において、使用料の額には、消費税等の額が含まれるものとする。

4 年間観覧券等は、再発行しない。ただし、汚損等による場合で、年間観覧券等の記載内容が確認でき、かつ、これを回収することができるときは、この限りでない。

5 年間観覧券及び年間共通観覧券は、その購入の際あらかじめ教育委員会に届け出て登録された者(以下この項において「登録者」という。)1名のみが利用することができる。この場合において、登録者を変更しようとするときは、教育委員会に届け出なければならない。

(平 21 条例 31・追加)

(観覧料の納入)

第 8 条 観覧料は、入館のときに納入しなければならない。ただし、年間観覧券等による観覧その他教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 市長は、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、観覧料の全部又は一部を還付することができる。ただし、年間観覧券等については、この限りでない。

(平 21 条例 31・一部改正)

(観覧料の減免)

第 9 条 市長は、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(施設の使用等)

第 10 条 特別展示室(小展示室を含む。以下同じ。)、講座室、和室、屋外展示場又はギャラリー(以下「特別展示室等」という。)を使用しようとする者は、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

2 資料の模写、模造、撮影等しようとする者は、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

3 他の博物館、図書館、研究機関その他教育委員会が適当と認めるもののうち資料の館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

4 館長は、前 3 項の許可をする際、資料の管理上必要な指示又は条件を付すことができる。

(平 26 条例 53・一部改正)

(使用料)

第 11 条 前条第 1 項の許可を受けようとする者は、別表第 2 に定める使用料を納付しなければならない。

2 前項に定める使用料は、許可を受ける時に納入しなければならない。

3 市長は、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、第 1 項の使用料を減免し、又は還付することができる。

(使用の取消し等)

第 12 条 館長は、第 10 条第 1 項から第 3 項までの許可を受けた者(以下「使用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、その許可を取り消し、又は使用の停止若しくは資料の返還を命ずることができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。

(2) 許可の内容又は条件に違反したとき。

(3) 偽りその他の不正な行為により許可を受けたことが明らかになったとき。

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、館長が管理上支障があると認めるとき。

(平 17 条例 71・平 21 条例 31・一部改正)

(原状回復義務)

第 13 条 使用者は、第 10 条第 1 項から第 3 項までの使用を終了したときは、直ちに当該展示室等又は資料を原状に復さなければならない。前条の規定により許可を取り消され、又は使用の停止若しくは資料の返還を命ぜられたときも、同様とする。

(秩序維持)

第 14 条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、博物館への入館を拒絶し、又は退去を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑をかけ、若しくは博物館の施設、設備、資料等を汚損し、き損し、若しくは滅失した者又はそのおそれがあると認められる者

(2) 館長の許可なく資料の模写、模造、撮影等の行為をした者

(3) 博物館又は資料の管理上必要な指示に従わない者

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、館長が入館を不相当と認める者

(平 17 条例 71・一部改正)

(損害の賠償等)

第 15 条 観覧者又は使用者は、博物館の施設、設備、資料等を汚損し、き損し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

(平 17 条例 71・平 21 条例 31・一部改正)

(教育委員会規則への委任)

第 16 条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和 62 年 11 月 2 日から施行する。

(議会の議決に付すべき公の施設に関する条例の一部改正)

2 議会の議決に付すべき公の施設に関する条例(昭和 39 年一宮市条例第 5 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

付 則(平成 4 年 3 月 3 日条例第 16 号)

1 この条例は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の一宮市博物館条例の規定は、この条例の施行の日以後にその使用を許可するものについて適用し、同日前にその使用を許可したものについては、なお従前の例による。

付 則(平成 9 年 3 月 28 日条例第 3 号)抄

1 この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

2 この条例(第 1 条、第 5 条、第 9 条、第 10 条、第 12 条、第 14 条、第 17 条、第 20 条及び第 24 条から第 26 条までを除く。)の規定による改正後の各条例の規定は、この条例

の施行の日（以下「施行日」という。）以後にその使用を許可するものについて適用し、施行日前にその使用を許可したのものについては、なお従前の例による。

付 則（平成 17 年 3 月 24 日条例第 71 号）

この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 21 年 6 月 26 日条例第 31 号）

この条例は、平成 21 年 7 月 1 日から施行する。

付 則（平成 26 年 12 月 16 日条例第 53 号）

（施行期日）

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の第 10 条第 1 項及び別表第 2 に規定するギャラリーの使用に係る手続は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

付 則（平成 27 年 3 月 24 日条例第 14 号）

（施行期日）

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

（地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に関する条例の一部改正）

2 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に関する条例（平成 24 年一宮市条例第 2 号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

（一宮市報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）

3 一宮市報酬及び費用弁償に関する条例（昭和 31 年一宮市条例第 32 号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

#### 別表第 1（第 7 条関係）

個人・団体の別区分	個人 (1 人 1 回)	20 人以上の団体 (1 人 1 回)
一般	200 円	160 円
高校生・大学生	100 円	80 円
小学生・中学生	50 円	40 円

#### 備考

- この表において、「一般」とは、小学生、中学生、高校生及び大学生以外の者を言う。ただし、未就学児を除く。
- 未就学児は、無料とする。

#### 別表第 1 の 2（第 7 条の 2 関係）

（平 21 条例 31・追加）

区分	年間観覧券	常設展示 共通観覧券	年間共通 観覧券
一般	800 円	400 円	2,000 円
高校生・大学生	400 円	200 円	1,000 円
小学生・中学生	200 円	100 円	500 円

#### 備考

- 別表第 1 備考第 1 項及び第 2 項の規定は、この表について適用する。
- 年間観覧券及び年間共通観覧券は、発行の日から 1 年間有効とする。ただし、有効期間の末日が博物館又は美術館の休館日に当たるときは、同日後最初に到来する休館日でない日まで有効とする。
- 常設展示共通観覧券は、施設ごとに観覧 1 回まで有効とする。

#### 別表第 2（第 11 条関係）

（平 26 条例 53・一部改正）

使用時間区分	午前	午後	午前・午後
特別展示室	3,100 円	3,600 円	6,700 円
講座室	3,000 円	3,500 円	6,500 円
和室	2,000 円	2,400 円	4,400 円
屋外展示場	900 円	1,100 円	2,000 円
ギャラリー	400 円	500 円	900 円

#### 備考

- 使用時間は、次による。
  - 「午前」とは、午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分までをいう。
  - 「午後」とは、午後 1 時から午後 4 時 30 分までをいう。
  - 「午前・午後」とは、午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までをいう。
- 利用者が入場料または入場料に類するものを徴収する場合における使用料の額は、所定の使用料に当該使用料の 5 割に相当する額を加えた額とする。
- 使用料の額には、消費税等の額が含まれるものとする。

## 一宮市博物館条例施行規則

### (趣旨)

第1条 この規則は、一宮市博物館条例(昭和62年一宮市条例第26号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この規則における用語の意義は、別段の定めがあるものを除き、条例に規定する用語の例による。

(平21教委規則6・全改)

### (事業)

第3条 条例第3条の教育委員会規則で定める事業は、次のとおりとする。

- (1) 資料の専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (2) 資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (4) 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国又は他の地方公共団体の施設等と緊密に情報の交換、資料の相互貸借等を行うこと。
- (5) 学校、図書館、研究機関、公民館等教育又は文化に関する諸施設と協力すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

### (一宮市博物館観覧券等の交付)

第4条 観覧料を徴収する際には、一宮市博物館観覧券を交付する。

2 前項の規定にかかわらず、団体20人以上で観覧しようとするときは、その代表者は、あらかじめ一宮市博物館団体観覧券交付申込書を教育委員会に提出したうえ、観覧料を納入して、一宮市博物館団体観覧券の交付を受けなければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、年間観覧券等で観覧しようとするときは、あらかじめ一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等交付・登録申込書を教育委員会に提出したうえ、観覧料を納入して、年間観覧券等の交付を受けなければならない。

4 条例第7条の2第5項後段の規定による登録者の変更の届出は、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等登録者変更届出書を教育委員会に提出して行わなければならない。

5 教育委員会が特に必要と認めるときは、第1項から第3項までに定める観覧券に代えて別の様式を定めることができる。

(平17教委規則32・平21教委規則6・一部改正)

### (観覧料の還付)

第5条 条例第8条第2項本文の特別の理由は、次のとおりとする。

- (1) 天災地変その他の入館しようとする者の責めに帰することのできない理由により入館できないとき。
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

(平21教委規則6・一部改正)

### (観覧料の減免理由)

第6条 条例第9条の特別の理由は、次のとおりとする。

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校のうち小学校、中学校又は特別支援学校の学齢児童又は学齢生徒及びその引率教職員が教育活動の一環として学年単位で展示品を観覧するとき。
- (2) 次に掲げる者が展示品を観覧するとき。

ア 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条の規定に基づく身体障害者手帳の交付を受けている者及びその付添人(1人に限る。)

イ 戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳の交付を受けている者及びその付添人(1人に限る。)

ウ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその付添人(1人に限る。)

エ 厚生労働大臣の定めるところによる療育手帳の交付を受けている者及びその付添人(1人に限る。)

オ 市内に在住又は在学の小学生又は中学生

カ 市内に在住する年齢満65歳以上の者

- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

(平17教委規則32・平19教委規則3・平20教委規則9・平21教委規則6・一部改正)

### (観覧料減免申請の手続)

第7条 前条第1号及び第3号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、一宮市博物館観覧料減免申請書を市長に提出しなければならない。

(平17教委規則32・平21教委規則6・一部改正)

### (優待券等)

第8条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

### (損傷の届出等)

第9条 入館者は、入館に際し、博物館の施設、設備、資料等を汚損し、又は滅失させたときは、その旨を係員に届け出て、その指示に従わなければならない。

(平 21 教委規則 6・一部改正)

(入館者の遵守事項)

第 10 条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示資料（館長が特に指定した展示品を除く。）に触れないこと。
- (2) 所定の場所以外において喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。
- (3) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (4) 係員の指示に従うこと。

(販売行為の禁止)

第 11 条 何人も博物館において、物品等の販売、金品の寄付募集等を行い、又は行わせてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(平 21 教委規則 6・一部改正)

(特別展示室等の使用)

第 12 条 条例第 10 条第 1 項の規定に基づき特別展示室等を使用する場合は、その用途が条例第 3 条の事業にふさわしいものでなければならない。

2 特別展示室等を使用しようとする者は、一宮市博物館特別展示室等使用申請書を館長に提出しなければならない。

3 前項の申請書は、使用しようとする日の属する月の 6 月前に相当する月の初日から使用しようとする日前 10 日までに提出しなければならない。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

4 館長は、第 2 項の規定による申請を許可するときは、一宮市博物館特別展示室等使用許可書を交付する。

5 次に掲げる場合には、前項の許可をしない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設又は設備が損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 管理上支障があると認められるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、館長がその使用を不適当と認めるとき。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・平 24 教委規則 8・一部改正)

(模写、模造、撮影、閲覧等)

第 13 条 条例第 10 条第 2 項の規定に基づき、資料の模写、模造、撮影、閲覧等（以下「模写等」という。）をしようとする者は、あらかじめ一宮市博物館模写等許可申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定による申請を許可するときは、一宮市博物館模写等許可書を交付する。

3 模写等は、館内の所定の場所において係員の指示に従っ

て行わなければならない。

4 次に掲げる場合には、第 1 項の許可をしない。

- (1) 資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるとき。
- (2) 寄託者又は著作権者の同意を得ていないとき。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、館長がその利用を不適当と認めるとき。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・一部改正)

(使用料の減免)

第 14 条 条例第 11 条第 3 項の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事に使用するとき。
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

2 前項第 1 号に該当する場合の使用料の額は、条例別表第 2 に定める使用料の額の 50 パーセントに相当する額とする。この場合において、10 円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・一部改正)

(使用料減免申請の手続)

第 15 条 前条の規定により使用料の減免を受けようとする者は、一宮市博物館使用料減免申請書を市長に提出しなければならない。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・一部改正)

(使用料の還付)

第 16 条 条例第 11 条第 3 項の規定により使用料を還付することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 使用料の許可を受けた者の責めによらない理由で使用することができないとき。
- (2) 公益上又は博物館の都合により使用の許可を取り消したとき。
- (3) 使用前 7 日（この日が休館日に当たるときは、その前日）までに使用の取消しの申出があり、教育委員会が相当の理由があると認めるとき。

2 前項各号に該当する場合において還付する使用料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額とする。この場合において、10 円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

(1) 前項第 1 号及び第 2 号に該当する場合 納付すべき使用料の額の 100 パーセントに相当する額

(2) 前項第 3 号に該当する場合 納付すべき使用料の額の 50 パーセントに相当する額

3 使用料の還付を受けようとする者は、第 12 条第 4 項の使用許可書を添付して、一宮市博物館使用料還付申請書を市長に提出しなければならない。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・一部改正)

(名誉館長及び副館長の設置)

第 17 条 博物館に名誉館長及び副館長を置くことができる。

(平 14 教委規則 5・全改、平 17 教委規則 32・旧第 18 条繰上)

(職務)

第 18 条 館長は、上司の命を受け、博物館の管理運営を掌握し、所属職員を指揮監督する。

2 副館長は、上司の命を受け、館長を補佐する。

3 名誉館長は、館長から博物館の運営等について相談を受けた場合、意見を述べるものとする。

(平 14 教委規則 5・全改、平 17 教委規則 32・旧第 19 条繰上)

(処務)

第 19 条 この規則で定めるもののほか、博物館の処務に関し必要な事項は、一宮市教育委員会事務局処務規則(昭和 45 年一宮市教委規則第 2 号)の例による。

(平 17 教委規則 32・旧第 20 条繰上、平 21 教委規則 6・一部改正)

(帳票)

第 20 条 この規則の施行に関し必要な帳票の名称は、次のとおりとし、その様式は、教育委員会が別に定める。

- (1) 一宮市博物館観覧券
- (2) 一宮市博物館団体観覧券交付申込書
- (3) 一宮市博物館団体観覧券
- (4) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等交付・登録申込書
- (5) 一宮市博物館年間観覧券(一宮市博物館年間パスポート)
- (6) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館常設展示共通観覧券
- (7) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間共通観覧券(一宮市ミュゼカード)
- (8) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等登録者変更届出書
- (9) 一宮市博物館観覧料減免申請書
- (10) 一宮市博物館特別展示室等使用申請書
- (11) 一宮市博物館特別展示室等使用許可書
- (12) 一宮市博物館模写等許可申請書
- (13) 一宮市博物館模写等許可書
- (14) 一宮市博物館使用料減免申請書
- (15) 一宮市博物館使用料還付申請書

(平 17 教委規則 32・追加、平 21 教委規則 6・一部改正)

(委任)

第 21 条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

付 則

この規則は、昭和 62 年 11 月 2 日から施行する。

付 則(昭和 63 年 9 月 13 日教委規則第 7 号)

この規則は、昭和 63 年 10 月 1 日から施行する。

付 則(平成元年 3 月 9 日教委規則第 5 号)

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 3 年 9 月 26 日教委規則第 7 号)

この規則は、平成 3 年 9 月 29 日から施行する。

付 則(平成 5 年 3 月 25 日教委規則第 2 号)

この規則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 14 年 3 月 27 日教委規則第 5 号)抄  
(施行期日)

1 この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 16 年 11 月 1 日教委規則第 5 号)

1 この規則は、平成 16 年 11 月 1 日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の各規則の規定に基づき作成されている帳票は、改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

付 則(平成 17 年 3 月 24 日教委規則第 32 号)

この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 19 年 3 月 28 日教委規則第 3 号)

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 20 年 3 月 28 日教委規則第 9 号)

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 21 年 6 月 26 日教委規則第 6 号)

この規則は、平成 21 年 7 月 1 日から施行する。

付 則(平成 24 年 12 月 27 日教委規則第 8 号)  
(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(一宮市尾西歴史民俗資料館条例施行規則の一部改正)

2 一宮市尾西歴史民俗資料館条例施行規則(平成 17 年一宮市教委規則第 33 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

(一宮市三岸節子記念美術館条例施行規則の一部改正)

3 一宮市三岸節子記念美術館条例施行規則(平成 17 年一宮市教委規則第 34 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

# V 施設と沿革

## 施設概要

1. 名称	一宮市博物館	12. 展示設計	昭和 62 年度	日本エキジビジョン
2. 所在地	愛知県一宮市大和町妙興寺 2390		平成 25・26 年度	丹青社
3. 開館年月日	昭和 62 年 11 月 13 日	13. 設計期間	昭和 60 年 2 月～昭和 60 年 8 月	
4. 博物館登録	平成 2 年 3 月 5 日	14. 施工期間	昭和 60 年 11 月～昭和 62 年 10 月	
5. 構造設計	青木繁研究室	15. 敷地面積	9,241㎡	
6. 設備設計	建築設備設計研究所	16. 建築面積	2,550㎡ (平成 9 年度 54㎡増築 平成 26 年度 10㎡増築)	
7. 植栽計画	野沢・鈴 W 造園設計事務所	17. 延床面積	4,690㎡ 1 階 2,273㎡ (平成 9 年度 54㎡増築 平成 26 年度 10㎡増築)	
8. テキスタイルデザイン	内井乃生		2 階 1,596㎡ (平成 26 年度 10㎡増築)	
9. サイン計画	ディスプレイハウス		地下 797㎡ 塔屋 4㎡	
10. 設計管理	昭和 62 年度 内井昭蔵建築設計事務所 一宮市建設部建築住宅課 平成 25・26 年度 内井建築設計事務所 一宮市建設部建築住宅課	18. 構造	RC 造、一部 SRC 造	
11. 施工	昭和 62 年度	19. 規模	地下 1 階、地上 2 階、塔屋 1 階	
	(1) 本体 竹中・中村工業建設共同企業体	20. 受賞	照明学会東海支部表彰 (1987)	
	(2) 電気設備 弘電社・東邦建設共同企業体		第 20 回中部建築賞 (1988)	
	(3) 衛生設備 川崎・大興建設共同企業体		一宮市建築賞入賞 (1991)	
	(4) 空調設備 ダイダン・村川建設共同企業体		第 4 回公共建築賞優秀賞 (1993)	
	平成 9 年度			
	展示室増築 大和建设			
	平成 25・26 年度			
	(1) エレベーター・喫茶設備 カネショウ工務店			
	(2) 電気設備 東海電設			

## 主要各室面積

### 展示空間

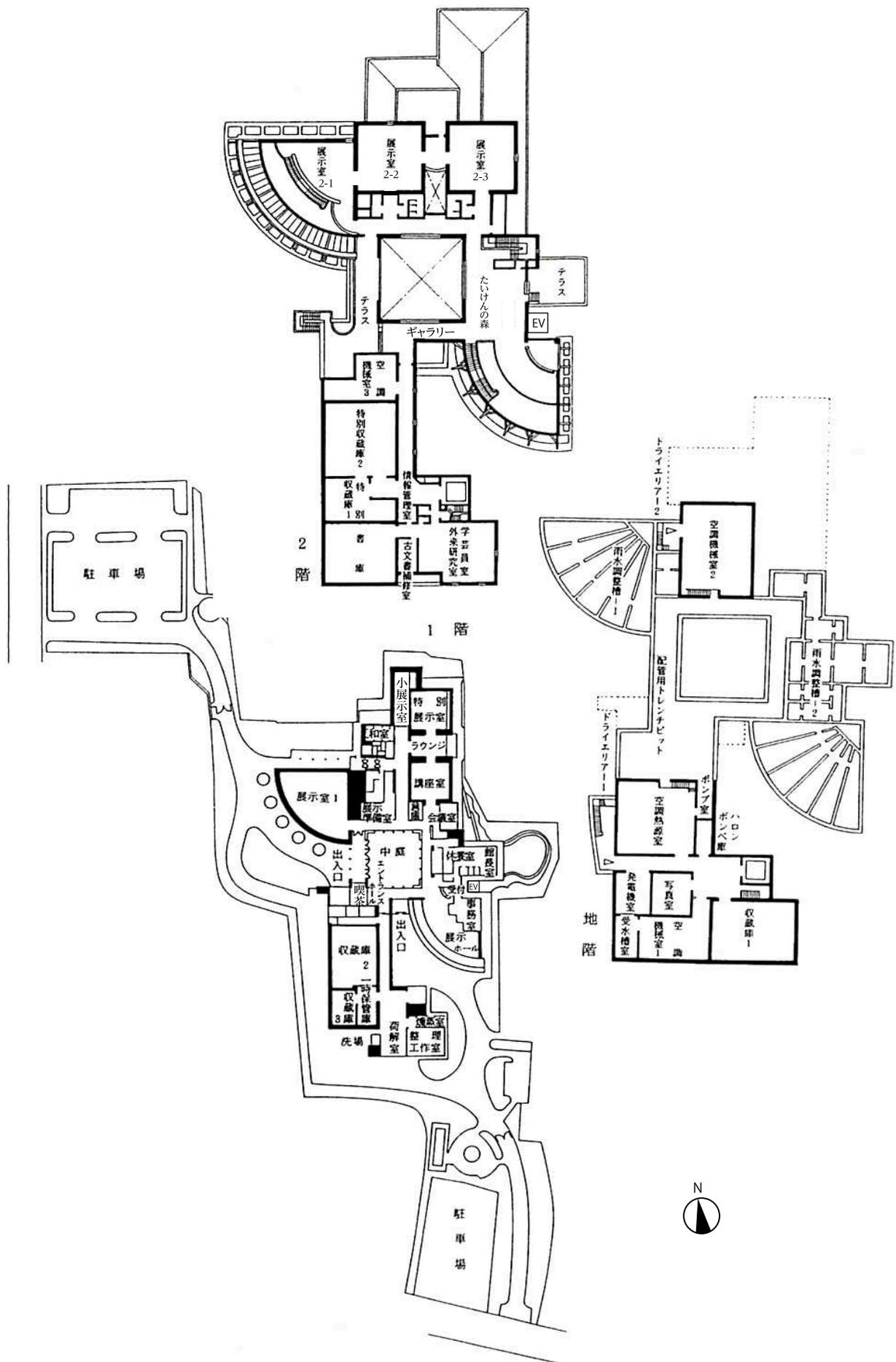
展示ホール	126㎡	小展示室	46㎡	学習室 (たいけんの森)	197㎡
展示室 1	352㎡	特別展示室	131㎡	中庭 (屋外展示場)	189㎡
展示室 2	132㎡	講座室	126㎡	和室	71㎡
展示室 3	132㎡	ギャラリー (2 階)	44㎡	喫茶コーナー	38㎡

### 学芸空間

特別収蔵庫 1	67㎡	収蔵庫 2	191㎡	学芸員室	127㎡
特別収蔵庫 2	142㎡	収蔵庫 3	63㎡	整理工作室	67㎡
特別収蔵庫前室	23㎡	一時保管庫	61㎡	写真室	43㎡
収蔵庫 1	131㎡	書庫	113㎡	燻蒸庫	20㎡

### 管理空間

事務室	59㎡	会議室	33㎡
館長室	31㎡	機械室	538㎡



沿革

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

25. 4. 27	企画展「近代の洋装と毛織物」開幕	25.10. 19	博物館キッズクラブ第 3 回
25. 5. 5	講演会「日本の洋装化」	25.10. 20	講演会「馬見塚遺跡から広がった話」
25. 5. 9	玉堂記念展示室展示替え	25.10. 26	体験講座「縄文のアクセサリ-勾玉をつくろう！」
25. 5. 11	古文書講座第 1 回	25.11. 3	講演会「馬見塚遺跡 H 地点の発掘調査」
25. 5. 13	企画展展示替え	25.11. 7	優良文化財調査・研修 (1 泊 2 日)
25. 5. 19	体験講座「社交ダンスで文明開化♪」	25.11. 9	体験講座「アンギン編みでコースターをつくろう！」
25. 4. 30	文化財保護審議会第 1 回		古文書講座第 7 回
25. 6. 2	企画展「近代の洋装と毛織物」開幕	25.11. 12	第 49 回市民文化財めぐり
25. 6. 8	古文書講座第 2 回	25.11. 13	講演会「川合玉堂の風景画の展開」
25. 6. 15	企画展「阿弥陀信仰と木曾川流域」開幕		「川合玉堂生誕 140 周年記念特別展」閉幕
25. 6. 23	博物館キッズクラブ第 1 回	25.11. 14	玉堂記念展示室展示替え
	講演会「阿弥陀信仰の展開」	25.11. 16	考古学シンポジウム 1 日目
25. 7. 4	博物館実習オリエンテーション	25.11. 17	考古学シンポジウム 2 日目
25. 7. 7	講演会「一宮の浄土真宗の展開」		特別展「縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代～」
25. 7. 11	玉堂記念展示室展示替え		閉幕
25. 7. 12	文化財保護審議会第 2 回	25.11. 30	企画展「2013 一宮市現代作家美術秀選展」
25. 7. 13	古文書講座第 3 回		開会式・開幕
25. 7. 15	講演会「愛知の仏教美術」	25.12. 1	博物館キッズクラブ第 4 回
25. 7. 21	講演会「絵解き 善光寺如来絵伝」	25.12. 14	古文書講座第 8 回
25. 7. 28	企画展「阿弥陀信仰と木曾川流域」閉幕	25.12. 15	企画展「2013 一宮市現代作家美術秀選展」
25. 8. 3	夏休み子ども展示開幕		閉幕
25. 8. 8	玉堂記念展示室展示替え	25.12. 19	文化財保護審議会第 3 回
25. 8. 9	自然観察会「妙興寺の森たんけん！」	26. 1. 11	企画展「暮らしの中の民具」開幕
25. 8. 10	古文書講座第 4 回		古文書講座第 9 回
25. 8. 11	「挑戦！自由研究の"タネ"～自然編～」	26. 1. 12	暮らし体験講座「おりとあみのひみつ」
25. 8. 18	自然観察会「妙興寺の森たんけん！」	26. 1. 16	文化財防火パトロール
25. 8. 20	インターンシップ初日 (6 日間)	26. 1. 19	暮らし体験講座「うすのいろいろ」
25. 8. 23	自然観察会「妙興寺の森たんけん！」	26. 1. 23	文化財防火訓練・文化財管理者研修会
25. 8. 25	「挑戦！自由研究の"タネ"～自然編～」	26. 1. 26	暮らし体験講座「大根切干のつくりかた」
25. 8. 25	夏休み子ども展示閉幕	26. 2. 2	「尾張平野を語る 18」第 1 回
25. 8. 31	企画展「2013 一宮美術作家協会展」開幕	26. 2. 8	古文書講座第 10 回
25. 9. 14	古文書講座第 5 回	26. 2. 9	「尾張平野を語る 18」第 2 回
25. 9. 16	企画展「2013 一宮美術作家協会展」閉幕	26. 2. 13	玉堂記念展示室展示替え
25. 9. 19	企画展「一宮写真協会選抜写真展」開幕	26. 2. 16	「尾張平野を語る 18」第 3 回
26. 9. 23	博物館キッズクラブ第 2 回	26. 2. 23	「尾張平野を語る 18」第 4 回
25. 9. 29	企画展「一宮写真協会選抜写真展」閉幕	26. 3. 2	「尾張平野を語る 18」第 5 回
25.10. 10	玉堂記念展示室展示替え	26. 3. 9	民俗芸能公演
25.10. 11	「川合玉堂生誕 140 周年記念特別展」開幕		企画展「暮らしの中の民具」閉幕
25.10. 12	特別展「縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代～」		常設展示リニューアルのため臨時休館
	開会式・開幕	26. 3. 27	一宮市博物館運営等指導委員会
	古文書講座第 6 回		常設展示リニューアル小委員会

26. 5. 8	玉堂記念展示室展示替え	26.11. 27	優良文化財調査・研修（1泊2日）
26. 5. 10	古文書講座第1回	26.11. 29	企画展「2014一宮市現代作家美術秀選展」 開会式・開幕
26. 6. 4	文化財保護審議会第1回	26.12. 13	古文書講座第8回
26. 6. 14	古文書講座第2回	26.12. 14	企画展「2014一宮市現代作家美術秀選展」 閉幕
26. 6. 22	博物館キッズクラブ第1回	27. 1. 8	玉堂記念展示室展示替え
26. 7. 9	文化財保護審議会第2回		文化財保護審議会第1回
26. 7. 10	玉堂記念展示室展示替え	27. 1. 10	企画展「暮らしの中の民具」開幕
26. 7. 12	古文書講座第3回		古文書講座第9回
26. 7. 23	博物館キッズクラブ第2回	27. 1. 15	文化財防火パトロール
26. 8. 9	古文書講座第4回	27. 1. 18	暮らし体験講座「もちつき大会」
26. 8. 14	玉堂記念展示室展示替え	27. 1. 23	文化財防火訓練・文化財管理者研修会
26. 9. 6	博物館キッズクラブ第3回	27. 1. 25	暮らし体験講座「民族衣装でファッションショー！」
26. 9. 13	古文書講座第5回	27. 2. 1	民俗芸能公演「島文楽」
26.10. 11	古文書講座第6回	26. 2. 8	民俗芸能公演「宮後住吉踊」
26.10. 14	玉堂記念展示室展示替え	26. 2. 11	暮らし体験講座「むかしのおやつ・せんばやき」
26.10. 15	特別展「北原白秋と『雀のお宿』」開幕	27. 2. 14	古文書講座第10回
26.10. 17	特別展「妙興寺展」開会式・内覧会	27. 2. 15	「尾張平野を語る19」第1回
26.10. 18	リニューアルオープン 特別展「妙興寺展」開幕	27. 2. 22	「尾張平野を語る19」第2回
26.10. 19	講演会「妙興寺の今昔」	27. 3. 1	「尾張平野を語る19」第3回
26.10. 26	体験講座「妙興寺で禅体験！」	27. 3. 8	民俗芸能公演「ばしょう踊」
26.11. 2	体験講座「妙興寺の森で遊ぼう！」		企画展「暮らしの中の民具」閉幕
26.11. 4	特別展展示替え	27. 3. 12	玉堂記念展示室展示替え
26.11. 5	第50回市民文化財めぐり	27. 3. 14	企画展「一宮美術作家協会展」開幕
26.11. 8	古文書講座第7回	27. 3. 22	企画展「一宮美術作家協会展」閉幕
26.11. 9	講演会「妙興寺の仏像・頂相彫刻をめぐって」	27. 3. 25	企画展「一宮写真協会選抜写真展」開幕
26.11. 12	特別展「北原白秋と『雀のお宿』」閉幕	27. 3. 31	文化財保護審議会第4回
26.11. 13	玉堂記念展示室展示替え		企画展「一宮写真協会選抜写真展」閉幕
26.11. 15	博物館キッズクラブ第4回		
26.11. 16	講演会「妙興寺の絵画について」 特別展「妙興寺展」閉幕		

一宮市博物館年報(14)  
平成 25・26 年度事業報告

編集・発行 一宮市博物館  
〒 491-0922  
一宮市大和町妙興寺 2390  
TEL 0586-46-3215  
FAX 0586-46-3216  
発行日 平成 28 年 3 月 31 日  
印刷 三井堂株式会社